



茨城大学
Ibaraki University

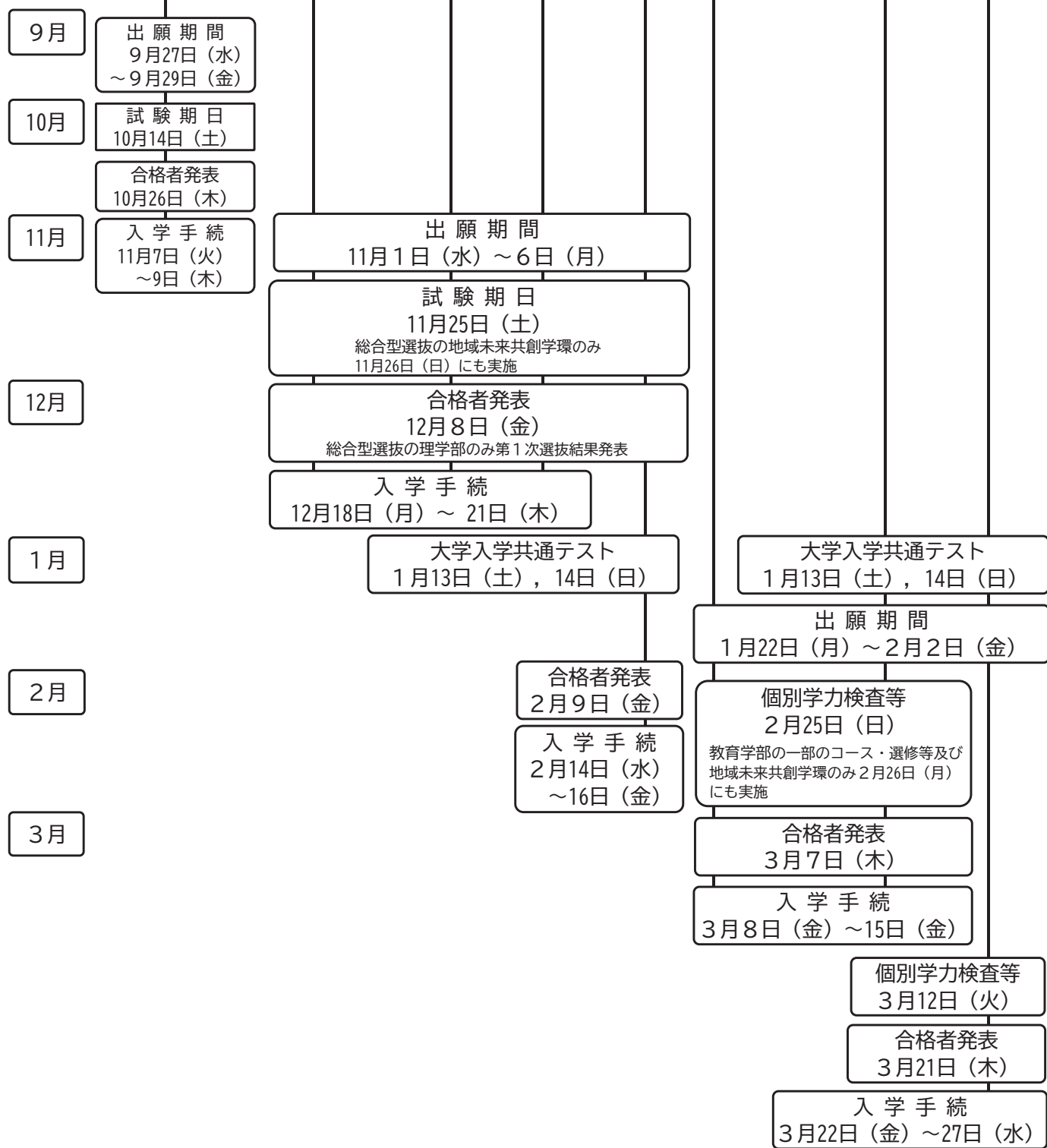
2024

令和6年度
(2024年度)

入学者選抜要項

令和6年度（2024年度）茨城大学入学者選抜関係日程

私費外国人 留学生選抜	学校推薦型選抜	総合型選抜			帰国生徒選抜	一般選抜	
		工学部	地域未来 共創学環	理学部		前期日程	後期日程
全学部 <small>（教育学部の一部及び 地域未来共創学環を除く）</small>	全学部 <small>（理学部の一部の コース及び地域未来 共創学環を除く）</small>	工学部 <small>都市システム工 学科（建築デザ インプログラム 志望者向け）</small>		理学部 <small>化学コース 生物科学コース 地球環境科学コース 学際理学コース</small>	農学部	全学部 <small>（地域未来共 創学環含む）</small>	全学部 <small>（地域未来共 創学環含む）</small>



《お知らせ》

この冊子で説明している「令和6年度（2024年度）入学者選抜」は、令和6年（2024年）4月入学者が対象です。

■ インターネット出願について

本学では、すべての入学者選抜でインターネット出願を実施しています。

詳細は、今後本学ホームページで公表する各選抜の学生募集要項等を参照してください。

～インターネット出願とは～

- ・茨城大学インターネット出願サイトにアクセスして、出願学部、学科・課程等や志願者情報等を登録し、検定料を支払った後、**出願書類を印刷して大学に郵送する方法**で出願を受け付けます。
- ・各自で印刷することになりますので、紙の願書の取り寄せは不要です。
- ・インターネットでのWeb入力と検定料支払いは、出願期間の1週間前から可能です。
- ・クレジットカード、コンビニ、銀行ATM等で、検定料が支払い可能です。
- ・インターネット環境が必要です。志願者本人がパソコンやスマートフォン等のインターネット環境を持たない場合は、学校等のインターネット環境を利用して出願してください。

■ 不測の事態が発生した場合の対応について

災害や感染症のまん延等の不測の事態が発生した場合は、出願期間や選抜日程、選抜方法等を変更することがあります。

その際は、本学ホームページ【<https://www.ibaraki.ac.jp/>】にて適宜お知らせしますので、出願・受験前等に必ず確認してください。

茨城大学のアドミッション・ポリシー

茨城大学では、以下の4つの能力と資質を有する多様な志願者に対して、適切な方法の選抜を行って入学者を決定します。なお、それらの内容の詳細は、学部・学科（課程・コース等）毎に異なります。

1. **（知識・技能）** 大学における専門分野の学修に必要な基礎学力を有していること
2. **（知的関心）** 自分の身近な事柄だけでなく、地域の事象、自然環境、国際社会、人間と多様な文化等の広い分野に対する知的関心を有していること
3. **（思考力・判断力・表現力）** これまでの学習と生活において他者と共に課題解決をめざした経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** これまでの学習と生活において、多様な人々とコミュニケーションを取りながら協働して主体的に活動した経験があること、あるいはそのような活動をする意欲を有していること

◆各学部・学科等のアドミッション・ポリシー◆

人文社会科学部

【入学者に求める能力・資質】

人文社会科学部では、文系総合学部としての特徴を生かし、主専攻であるメジャーと副専攻であるサブメジャーの複合による学修を通じて、人間の文化と社会活動に関する専門性を持ちながら、世界のさまざまな「地域」で生き生きと働き、活躍できる人材を育成します。

したがって、人文社会科学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. **（知識・技能）** 人文社会科学部における専門分野の学修に必要な基礎学力
2. **（知的関心）**
 - ア) 現代における地域・国際社会とメディア、法律と経済、人間と多様な文化などの広い分野についての知的関心
 - イ) 大学での学びを通じてこれらを探究し、自らを高め、成長したいという積極的な意欲
3. **（思考力・判断力・表現力）**
 - ア) さまざまな課題を他者ととともに解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力
 - イ) さまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** 自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲

人文社会科学部 現代社会学科	
入学者に求める能力・資質	<p>現代社会学科には「メディア文化メジャー」「国際・地域共創メジャー」があります。そこでは、現代のさまざまなメディアの特質についての学びを通じて表現力・発信力を鍛えるほか、社会学、地理学、政治学、国際学などのアプローチによる国内外の地域課題の調査から、解決策を提案する力を養います。</p> <p>それにより、多様な人々との対話と協働をとおして現代社会におけるさまざまな課題を見だし、地域活性化や文化の創造に携わっていけるような人材を育成します。</p> <p>したがって、現代社会学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. （知識・技能） 現代社会学科における専門分野の学修に必要な基礎学力 2. （知的関心） <ul style="list-style-type: none"> ア) 現代社会におけるメディア、地域または国際社会についての広い知的関心 イ) 現代社会における諸問題を、社会学、地理学、政治学、国際学などの手法を通じて自ら発見し、解決しようとする積極的な意欲 3. （思考力・判断力・表現力） <ul style="list-style-type: none"> ア) 現代社会におけるさまざまな課題を他者ととともに解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 イ) 現代社会におけるさまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎 4. （主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度） 自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲

<p>入学者選抜 において 評価する 能力・成果</p>	<p>1) 専門分野の学修に必要な国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力 2) 文献・資料の読解のための英語に関する基礎学力 3) 現代社会におけるメディア、地域及び国際社会に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 5) これまでの学習や生活において、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験、あるいは探究活動の経験</p>
<p>評価方法</p>	<p>【学校推薦型選抜】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 小論文（英語課題文） 主に2), 3) 及び4) を評価します。 ウ 面接 主に3), 4) 及び5) を評価します。</p> <p>【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。 イ 個別学力検査等（英語） 主に2) 及び4) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。 イ 個別学力検査等（英語） 主に2) 及び4) を評価します。</p>

<p>人文社会科学部 法律経済学科</p>	
<p>入学者に 求める能力 ・ 資質</p>	<p>法律経済学科には「法学メジャー」「経済学・経営学メジャー」があります。そこでは、法学、経済学、経営学を中心に関連する学問分野を総合的に学び、生活者や企業の抱えるさまざまな問題に法的アプローチによって対応したり、市場の役割・企業活動の意義を認識し経済政策やマネジメントを構想したりすることにより、地域の持続的発展に貢献できる理論的・実践的な課題解決能力を持つ人材を育成します。</p> <p>したがって、法律経済学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。</p> <p>1. （知識・技能）法律経済学科における専門分野の学修に必要な基礎学力 2. （知的関心） ア) 法、行政、経済、経営が果たす社会的な役割についての広い知的関心 イ) 社会における諸問題を、法学、行政学、経済学、経営学などの手法を通じて自ら発見し、解決しようとする積極的な意欲 3. （思考力・判断力・表現力） ア) 法、行政、経済、経営をめぐるさまざまな課題を他者ととも解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 イ) 法、行政、経済、経営をめぐるさまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎 4. （主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲</p>
<p>入学者選抜 において 評価する 能力・成果</p>	<p>1) 専門分野の学修に必要な国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力 2) 文献・資料読解のための英語に関する基礎学力 3) 法、行政、経済、経営が果たす社会的な役割に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 5) これまでの学習や生活において、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験、あるいは探究活動の経験</p>
<p>評価方法</p>	<p>【学校推薦型選抜】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 小論文（英語課題文） 主に2), 3) 及び4) を評価します。 ウ 面接 主に3), 4) 及び5) を評価します。</p> <p>【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。 イ 個別学力検査等（英語） 主に2) 及び4) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。 イ 個別学力検査等（英語） 主に2) 及び4) を評価します。</p>

人文社会科学部 人間文化学科	
入学者に求める能力・資質	<p>人間文化学科には「文芸・思想メジャー」「歴史・考古学メジャー」「心理・人間科学メジャー」があります。そこでは、人文諸科学の幅広い学びを基礎とし、心やことばの問題をとおりて人間の本質を探究するとともに、日本および世界の諸地域の歴史や文化についての理解を深めることにより、人間とその文化の深層を見抜き、よりよい人生、よりよい社会の構想を提案できる力を身に付けた人材を育成します。</p> <p>したがって、人間文化学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (知識・技能) 人間文化学科における専門分野の学修に必要な基礎学力 2. (知的関心) <ol style="list-style-type: none"> ア) 文芸や思想, 日本を含む世界の歴史, 人間の心理や文化についての広い知的関心 イ) 人間文化の諸問題を, 文学, 哲学, 言語学, 史学, 考古学, 心理学, 文化人類学などの手法を通じて自ら発見し, 解決しようとする積極的な意欲 3. (思考力・判断力・表現力) <ol style="list-style-type: none"> ア) 人間文化に関わるさまざまな課題を他者ととともに解決していくための基礎的な思考力, 判断力, 表現力 イ) 文芸や思想, 日本を含む世界の歴史, 人間の心理や文化を深く理解するための読解力や分析力, 自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎 4. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 自主的・主体的に, さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら, 協働して活動する意欲
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 専門分野の学修に必要な国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 外国語に関する基礎学力 2) 文献・資料の読解のための英語に関する基礎学力 3) 文芸や思想, 日本を含む世界の歴史, 人間の心理や文化に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力, 判断力, 表現力 5) これまでの学習や生活において, さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験, あるいは探究活動の経験
評価方法	<p>【学校推薦型選抜】</p> <ol style="list-style-type: none"> ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に3) 及び4) を評価します。 ウ) 面接 主に3), 4) 及び5) を評価します。 <p>【一般選抜(前期日程)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ア) 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。 イ) 個別学力検査等(英語) 主に2) 及び4) を評価します。 <p>【一般選抜(後期日程)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ア) 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。 イ) 個別学力検査等(小論文) 主に1), 3) 及び4) を評価します。

教育学部

【入学者に求める能力・資質】

教育学部では、実践的指導力のある教員を養成することをめざしています。私たちを取りまく世界は目まぐるしく変化しています。このような現代の社会にあって、教員に求められていることは、人間・社会・自然についての知的探求心を基礎にした確かな教育的実践力です。教育学部では、十分な専門的知識と子どもの成長や発達に対応した教育的方法を身に付け、さらに教育に関わる幅広い視野をもった、人としての魅力と実力のある教員を養成します。

したがって、教育学部においては、全学のアドミッション・ポリシーで示される4つの能力ないし資質に加え、以下の能力・資質を入学者に求めます。

1. 教員になるための学修に必要な、各教科についての幅広い知識
2. 教育への関心と教員になりたいという強い意欲

さらに、学校教育教員養成課程の各コースでは、学部全体で求める能力・資質に加え、それぞれ以下のような資質・能力を身に付けていることを求めます。

- ・（教育実践科学コース）学校や子どもを巡る問題についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力
- ・（教科教育コース）各選修の教科についての関心とその内容の探究に必要な思考力・判断力・表現力
- ・（特別支援教育コース）障害のある子どもとその教育を巡る問題についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力

また、養護教諭養成課程では、学部全体で求める能力・資質に加え、以下のような資質・能力を身に付けていることを求めます。

- ・健康や病気についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力

教育学部 学校教育教員養成課程 教育実践科学コース

入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 学校や子どもを巡る問題の探究に必要な思考力・判断力・表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
--------------------------------	--

評価方法	<p>【学校推薦型選抜】</p> <p>ア 調査書 主に1) を評価します。 イ プレゼンテーション 主に2), 3) 及び4) を評価します。</p> <p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（小論文） 主に2) 及び3) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。</p>
------	---

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 国語選修

入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 国語の内容を深め、活用していくための思考力、判断力、言語表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
--------------------------------	--

評価方法	<p>【学校推薦型選抜】</p> <p>ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 小論文 主に2) 及び3) を評価します。 ウ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。</p> <p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（小論文） 主に2) 及び3) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。</p>
------	--

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 社会選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 社会科・地理歴史科・公民科の内容についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 小論文 主に3) を評価します。 ウ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（小論文） 主に3) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 英語と日本語で他者とコミュニケーションする能力と基礎的な英語力 4) 異文化を積極的に理解し学ぼうとする意欲
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 理数教育系 数学選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 数学の内容についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学） 主に3) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び3) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 理数教育系 理科選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 理科及び周辺教科の内容についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（理科） 主に3) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育系 音楽選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 音楽やその指導・教育を巡る問題についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力 5) 音楽実技の能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 実技検査 主に5) を評価します。 ウ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（実技検査） 主に5) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（実技検査） 主に5) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育系 美術選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 美術及び美術教育を巡る問題についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力 5) 美術実技の能力あるいは活動実績
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。 ウ ポートフォリオ・付属資料 主に3) 及び5) を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（実技資料検査） 主に5) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3), 4) 及び5) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3), 4) 及び5) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 保健体育教育系 保健体育選修	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 保健体育についての関心と、保健体育に関する知識・技能を深めていくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力 5) 体育実技の能力あるいは活動（競技又は指導等）の実績
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 面接 主に2)、3) 及び4) を評価します。 ウ 運動特技に関する調書 主に5) のうち「特定の運動種目における実技能力」を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（実技検査） 主に5) のうち「全般的な運動実技の能力」を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2)、3) 及び4) を評価します。 エ 運動特技に関する調書 主に5) のうち「特定の運動種目における実技能力」を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2)、3)、4) 及び5) を評価します。 ウ 運動特技に関する調書 主に5) のうち「特定の運動種目における実技能力」を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 技術教育系 技術選修	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 技術科教育についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜（一般）】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 面接 主に1) のうち数学、理科、外国語（英語）の基礎学力並びに2)、3) 及び4) を評価します。 【学校推薦型選抜（専門高校）】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 面接 主に1) のうち数学、理科、外国語（英語）の基礎学力並びに2)、3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2)、3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2)、3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 生活科学教育系 家庭選修	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 生活科学や家庭科の内容についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ プレゼンテーション 主に2)、3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（小論文） 主に2) 及び3) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2)、3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2)、3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 障害のある子どもとその教育を巡る問題についての関心とその探究に必要な思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ プレゼンテーション 主に2) , 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（集団活動） 主に4) , 同時に2) 及び3) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 同時に3) 及び4) を評価します。

教育学部 養護教諭養成課程	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 養護教諭になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、子どもの発育・発達や健康への関心と養護教諭になりたいという強い意欲 3) 子どもの健康や病気についての基本的な知識とその向上に必要な思考力、判断力、表現力 4) 協働して問題解決に取り組むためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 面接 主に2) , 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（小論文） 主に2) 及び3) を評価します。 ウ 個別学力検査等（プレゼンテーション） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。

理学部

【入学者に求める能力・資質】

理学部は、自然科学に関する真理、原理、理論を論理的、かつ、合理的に理解することを目指す学部です。本学部は、1学科6コース制を導入しており、理学科の中に数学・情報数理、物理学、化学、生物科学、地球環境科学、学際理学の6コースがあります。理学部では、各専門分野の学修を通して得られる高い専門知識だけでなく、幅広い知識と能力を身に付けるとともに、柔軟な思考力及び問題解決能力を有する「理学スペシャリスト」として、社会が直面する諸課題に積極的に取り組み、広く社会の発展に貢献することができる人材の育成を目指しています。

したがって理学部入学者には、以下の能力を求めます。

1. (知識・技能) 数学、理科の基礎知識及び論理的思考力を身に付けていること
国語、外国語、地理歴史又は公民の基礎的な知識も有し、論理的な文章を作成できること
2. (知的関心) 自然及び社会に起きている出来事に対する幅広い関心を有していること
3. (思考力・判断力・表現力) これまでの学習と生活において、課題解決をめざして思考力・判断力・表現力を用いた経験がある、あるいはそのような経験をしたという意欲を有していること
4. (主体性) 自然科学の分野において探究活動を行う意欲と主体性を有していること

理学部 理学科 数学・情報数理コース	
入学者に求める能力・資質	理学科数学・情報数理コースでは、数学を基礎として論理的思考力を養うとともに情報科学の手法も学び、真の分析能力・問題解決能力を持つ人材の育成を目指しています。 したがって、理学部アドミッション・ポリシーの内容に加え、特に数学Ⅲまでの内容をしっかり学んでいることを求めます。表面的な解法パターンを覚えるのではなく、なぜそうなるかを粘り強く考え、その上で他の人に数式を用いて説明できる力を養うことが大切です。このような努力を積むことで数学自体の理解が自然に深まると考えています。
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 数学Ⅲまでの内容の理解度と数式を用いて説明する能力 3) 数学・情報数理に対する関心の深さ、思考力、判断力、表現力 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、数学や理科に関する課題研究などの経験
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 小論文 主に2) 及び3) を評価します。 ウ 面接 主に3) 及び4) を評価します。 【一般選抜(前期日程)】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等(数学) 主に2) 及び3) を評価します。 【一般選抜(後期日程)】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等(数学) 主に2) 及び3) を評価します。

理学部 理学科 物理学コース	
入学者に求める能力・資質	物理学は、物質の性質をはじめ、物質のミクロな根源である素粒子からマクロな宇宙まで、幅広い対象を扱います。 したがって、理学部アドミッション・ポリシーの内容に加え、これらを深く学ぶ際の原動力となる、自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考能力を、様々な教科を通じて育てていることを求めます。また、物理学は、物理現象の定式化とその検証による精密化を通じて発展してきた積み上げ型の学問です。その修得には、目の前の困難に向き合ってねばり強く取り組む姿勢が必要です。
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 物理学の基本的知識、基礎的素養及び数学的思考力 3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考能力、判断力、表現力 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験

評価方法	【学校推薦型選抜】
	ア 調査書 主に1) を評価します。
	イ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。
	【一般選抜（前期日程）】
ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。	
イ 個別学力検査等（数学、理科） 主に2) 及び3) を評価します。	
【一般選抜（後期日程）】	
ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。	
イ 個別学力検査等（総合） 主に2) 及び3) を評価します。	

理学部 理学科 化学コース	
入学者に求める能力・資質	<p>化学は、原子・分子・化合物など、物質を通して自然現象の理解とその応用を行う学問です。化学コースでは、種々の物質の構造、反応、性質及び自然界における循環などのしくみを化学的に理解し、化学の知識と技術を活かして社会に貢献する意欲を有することを求めます。</p> <p>したがって、理学部アドミッション・ポリシーの内容に加え、理系科目全般を学び、自然現象に対する論理的思考力と知的好奇心を育てていることを求めます。化学については基本的な概念や原理を理解し、化学の法則に従って観測される現象を説明できることが求められます。また、自分の考えを正確に伝えるための言語力と表現力を身に付けていることが必要です。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<p>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。</p> <p>2) 化学の基本的知識と思考力</p> <p>3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力、判断力、表現力</p> <p>4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験</p>
評価方法	<p>【総合型選抜】</p> <p>ア 調査書 主に1) を評価します。</p> <p>イ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。</p> <p>ウ 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p>

理学部 理学科 生物科学コース	
入学者に求める能力・資質	<p>今日、社会のいたる所で生物学に関する知識と思考力が求められています。生物科学コースでは、さまざまな生命現象や生物の多様性への強い興味と関心、それらに関する未知の課題に積極的に取り組む姿勢を求めています。また、柔軟な思考力を持ち、科学技術や社会の発展に貢献する意欲を有することを求めます。</p> <p>したがって、入学者には特に、大学での学修に必要な基礎学力と論理的思考力を備えていることを求めます。「生物基礎」の全ての範囲及び「物理」、「化学」、「生物」のいずれかの科目を学び、理学分野の基礎を確実に身に付けていることが必要です。また、論理的思考及びコミュニケーションのために必要な言語力を身に付けていることを求めます。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<p>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。</p> <p>2) 理科の基本的知識と思考力</p> <p>3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力、判断力、表現力</p> <p>4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力。理科や数学に関する課題研究などの経験</p>
評価方法	<p>【総合型選抜】</p> <p>ア 調査書 主に1) を評価します。</p> <p>イ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。</p> <p>ウ 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（総合・理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p>

理学部 理学科 地球環境科学コース	
入学者に求める能力・資質	<p>理学科地球環境科学コースでは、地球及び太陽系の起源・歴史やそこで生じる様々な現象に加え、社会に直接関係するグローバル及び地域的な環境問題や様々な自然災害などについて学び、研究します。</p> <p>したがって、入学者には特に、地球・太陽系における様々な現象や環境問題・自然災害に対する強い興味・関心、自ら学んでいく意欲及びそれを理解するために必要となる基礎学力を求めます。さらに、地球環境科学の課題に取り組むためには、論理的思考力・判断力及び広い視野が必要です。また、自分の考えを正確に伝えるための言語力と表現力を身に付けていることが必要です。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<p>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。</p> <p>2) 理科の基本的知識と思考力</p> <p>3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力、判断力、表現力</p> <p>4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験</p>
評価方法	<p>【総合型選抜】</p> <p>ア 調査書 主に1) を評価します。</p> <p>イ 面接 主に2)、3) 及び4) を評価します。</p> <p>ウ 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（総合・理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p>

理学部 理学科 学際理学コース	
入学者に求める能力・資質	<p>自然界の様々な現象は、物理・化学・生物・地学・数学という基本的な学問分野に留まらず、それらの分野の間に横断的に広がっています。学際理学コースでは、複数分野の基礎を体系的に学ぶことにより、学際的視点を獲得し、自然界の様々な現象に果敢に挑戦できる能力の育成を目指しています。</p> <p>したがって、入学者には、幅広い自然科学現象、特に学際性の高い科学領域に関する強い興味・関心、自ら学んでいく意欲及びそれを理解するために必要となる基礎学力が求められます。さらに、科学的な課題に取り組むためには、論理的な思考力・判断力及び広い視野が必要です。また、自分の考えを正確に伝えるための言語力と表現力を身に付けていることが必要です。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<p>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。</p> <p>2) 理科の基本的知識と思考力。</p> <p>3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力、判断力、表現力。</p> <p>4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験</p>
評価方法	<p>【総合型選抜】</p> <p>ア 調査書 主に1) を評価します。</p> <p>イ 面接 主に2)、3) 及び4) を評価します。</p> <p>ウ 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（総合・理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p>

工学部

【入学者に求める能力・資質】

工学部では、世界的視野で未来に向かってはばたく科学技術を創造する拠点として絶えず前進しながら、工学系専門技術者として、人々と協働して課題解決をめざし、社会の持続的な発展に貢献し、地域の活性化に自ら進んで取り組む、高度科学技術を実践する人材を育成しています。

したがって、工学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. **（知識・技能）**工学部における専門分野での学修に必要な基礎学力
2. **（知的関心）**工学及びその周辺分野における地域から地球に至るまでの様々な規模での社会の課題に対する幅広い知的関心
3. **（思考力・判断力・表現力）**これまでの学習と生活において、工学について他者と共に課題解決をめざした経験及びそのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいはそれらを身に付けたいという意欲
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）**これまでの学習と生活において、工学に関して多様な人々とコミュニケーションを取りながら協働して主体的に活動した経験、あるいはそのような活動をしたという意欲

上記でいう工学には、数学・理科・情報などの工学の基礎も含まれます。

工学部 機械システム工学科	
入学者に求める能力・資質	<p>機械システム工学は従来の機械工学と情報工学の高度な融合により、自動車・鉄道などの交通機械や火力・風力・水力・原子力発電システムなどの社会インフラを支えるエネルギー機械、人工知能・ロボット・医療機器・介護機器などの人の活動を支援する機械、これらの機械を作り出すための材料加工や設計・製造システムなど、わたしたちの生活に役立つ最先端の機械システム技術を創造する学問です。機械システム工学科では、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での機械システム工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って機械システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。 2) 機械システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたという意欲
評価方法	<p>【学校推薦型選抜（一般）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 調査書 主に1) 及び4) を評価します。 イ 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ 面接 主に2) , 3) 及び4) を評価します。 <p>【学校推薦型選抜（専門高校）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 調査書 主に1) 及び4) を評価します。 イ 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ 面接 主に2) , 3) 及び4) を評価します。 <p>【一般選抜（前期日程）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学、理科、英語） 主に3) を評価します。 <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学、英語） 主に3) を評価します。

工学部 電気電子システム工学科	
入学者に求める能力・資質	<p>電気電子システム工学は、目に見えない電子や電磁波を高度にコントロールして、電子デバイスや電気機器の開発・設計、電力や情報の創生・伝送・蓄積・制御などに応用する学問分野です。電気電子システム工学科では、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での電気電子システム工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って電気電子システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>

<p>入学者選抜において評価する能力・成果</p>	<p>1) 国語，地理歴史又は公民，数学，理科，英語の基礎学力。特に数学，理科，英語を重視します。 2) 電気電子システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験，あるいはそのような活動をしたいという意欲</p>
<p>評価方法</p>	<p>【学校推薦型選抜（一般）】 ア 調査書 主に1) 及び4) を評価します。 イ 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ 面接 主に2) ， 3) 及び4) を評価します。 【学校推薦型選抜（専門高校）】 ア 調査書 主に1) 及び4) を評価します。 イ 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ 面接 主に2) ， 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学，理科，英語） 主に3) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学，英語） 主に3) を評価します。</p>

<p>工学部 物質科学工学科</p>	
<p>入学者に求める能力・資質</p>	<p>物質科学工学科では，金属，有機・無機物質，セラミックス，半導体，高分子，医薬，農薬，生体物質，生体材料，医用材料など多岐にわたる物質の構造と機能を原子・分子レベルで理解することで，新しい物質や材料の設計・製造およびハイブリッド化への応用を可能にし，世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。 したがって，大学での物質科学工学分野の学修を行うための基礎学力，特に十分な数学，理科，英語の学力を持ち，主体性を持って物質科学工学に関する問題を発見し，解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力，協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
<p>入学者選抜において評価する能力・成果</p>	<p>1) 国語，地理歴史又は公民，数学，理科，英語の基礎学力。特に数学，理科，英語を重視します。 2) 物質科学工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験，あるいはそのような活動をしたいという意欲</p>
<p>評価方法</p>	<p>【学校推薦型選抜（一般）】 ア 調査書 主に1) 及び4) を評価します。 イ 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ 面接 主に2) ， 3) 及び4) を評価します。 【学校推薦型選抜（専門高校）】 ア 調査書 主に1) 及び4) を評価します。 イ 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ 面接 主に2) ， 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学，理科，英語） 主に3) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学，英語） 主に3) を評価します。</p>

<p>工学部 情報工学科</p>	
<p>入学者に求める能力・資質</p>	<p>コンピュータとインターネットは流通・金融・製造など社会のさまざまな分野で必要不可欠であり，これらを合理的に扱うためにソフトウェアが必要です。情報工学は，情報の発生・伝達・収集・蓄積・処理を扱い，情報を体系的に管理する総合的な学問です。情報工学科では，世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。 したがって，大学での情報工学分野の学修を行うための基礎学力，特に十分な数学，理科，英語の学力を持ち，主体性を持って情報工学に関する問題を発見し，解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力，協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>

<p>入学者選抜 において 評価する 能力・成果</p>	<p>1) 国語, 地理歴史又は公民, 数学, 理科, 英語の基礎学力。特に数学, 理科, 英語を重視します。 2) 情報工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験, あるいはそのような活動をしたという意欲</p>
<p>評価方法</p>	<p>【学校推薦型選抜（一般）】 ア 調査書 主に1) 及び4) を評価します。 イ 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【学校推薦型選抜（専門高校）】 ア 調査書 主に1) 及び4) を評価します。 イ 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学, 理科, 英語） 主に3) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学, 英語） 主に3) を評価します。</p>

<p>工学部 都市システム工学科</p>	
<p>入学者に 求める能力 ・資質</p>	<p>理想の都市は「安全」で「環境」に優しく「快適」な空間であることが望まれます。都市システム工学科では、この「安全」「環境」「快適」の3要素をシステムとして扱うため、土木工学, 環境工学, 建築学および都市計画学などを学修します。そして、地域から世界まで幅広い分野で活躍できる技術者の育成を目指した教育を行います。 したがって、大学での都市システム工学分野の学修を行うための基礎学力, 特に十分な数学, 理科, 英語の学力を持ち、主体性を持って都市システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力, 協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
<p>入学者選抜 において 評価する 能力・成果</p>	<p>1) 国語, 地理歴史又は公民, 数学, 理科, 英語の基礎学力。特に数学, 理科, 英語を重視します。 2) 都市システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験, あるいはそのような活動をしたという意欲</p>
<p>評価方法</p>	<p>【総合型選抜】 ア 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 イ 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 ウ プレゼンテーション 主に2), 3) 及び4) を評価します。 エ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【学校推薦型選抜（一般）】 ア 調査書 主に1) 及び4) を評価します。 イ 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【学校推薦型選抜（専門高校）】 ア 調査書 主に1) 及び4) を評価します。 イ 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ 面接 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学, 理科, 英語） 主に3) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学, 英語） 主に3) を評価します。</p>

農学部

[入学者に求める能力・資質]

農学部では、グローバル社会における農業・食料問題を理解して、国際的な視点から食料・食品の高度化、農業を核とした新産業の創出に主体的かつ意欲的に取り組み、地域の農業と地域コミュニティの活性化を支える実務型農学系人材を育成します。

したがって、農学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. (知識・技能) 農学部における専門分野での学修に必要な基礎学力
2. (知的関心) 農学及びその周辺分野のみならず、社会の課題全般に対する幅広い知的関心
3. (思考力・判断力・表現力) これまでの学習と生活において、農業、環境、食料の課題について他者と共に課題解決を目指した経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
4. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) これまでの学習と生活において、農業体験やボランティア活動などに参加し、世代や国籍を超えた多様な人々と協働して主体的に活動した経験があること、あるいはそのような活動をする意欲を有していること

農学部 食生命科学科	
入学者に求める能力・資質	食生命科学科では、生命科学や食品の加工、流通、安全性に関する知識や技能を修得し、食料・食品分野で国際的に活躍できる人材を育成します。 したがって、食品科学と生命機能を学ぶ基礎学力を持ち、農業、環境、食料についての課題を理解し、主体性を持って解決へ導く意欲を持つ学生を求めます。国内外の多様な人々と協働しながらグローバルな視点で課題を探究する場もありますので、自分の考え方を整理して伝える力と英語力を身に付けてきてほしいと願います。
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な生物・化学、英語における十分な学力 3) 安全な食の実現と生命機能の解明に対する関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題と向き合う協働体験や意欲
評価方法	【学校推薦型選抜（一般）】 ア 小論文 主に1)の一部、英語を除く2)及び4)を評価します。 イ 面接 3)から5)までを評価します。 【学校推薦型選抜（専門高校）】 ア 小論文 主に1)の一部、英語を除く2)及び4)を評価します。 イ 面接 3)から5)までを評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1)を評価します。 イ 個別学力検査等（理科、英語） 主に2)を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1)を評価します。 イ 個別学力検査等（英語） 主に生物、化学を除く2)を評価します。

農学部 地域総合農学科 農業科学コース	
入学者に求める能力・資質	地域総合農学科農業科学コースでは、農作物の栽培や品種改良、病気や害虫の防除に関する知識や技能を主に修得し、農産物の国際競争力の強化や高品質・高付加価値生産などに対応した、新しい時代の農業技術の発展に貢献する人材を育成します。 したがって、生物学を中心とした「農学」の幅広い基礎学力・興味を持ち、地域の発展や農業の国際化に、主体的に取り組む意欲を持った学生を求めています。世代や国境を超え人々と議論しながらの実践的な学びもありますので、自分の考えを伝える表現力と英語力を身に付けてきてほしいと願います。
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な生物又は化学、英語における十分な学力 3) 地域の発展に貢献する新しい時代の農業技術に対する関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題に向き合う協働体験や意欲

<p>評価方法</p>	<p>【学校推薦型選抜（一般）】 ア 小論文 主に1)の一部、化学、英語を除く2)及び4)を評価します。 イ 面接 3)から5)までを評価します。 【学校推薦型選抜（専門高校）】 ア 小論文 主に1)の一部、化学、英語を除く2)及び4)を評価します。 イ 面接 3)から5)までを評価します。 ウ 英語資格・検定試験 主に1)の一部及び生物、化学を除く2)を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1)を評価します。 イ 個別学力検査等（理科、英語） 主に2)を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1)を評価します。 イ 個別学力検査等（英語） 主に生物、化学を除く2)を評価します。</p>
-------------	--

<p>農学部 地域総合農学科 地域共生コース</p>	
<p>入学者に求める能力・資質</p>	<p>地域総合農学科地域共生コースでは、美しい農村の景観をまもり、地域・農産物のブランド力を高め、災害に強い地域をデザインする技術や政策に関する知識・技能を修得し、豊かな地域の未来を創造できる人材を育成します。 したがって、理系科目、文系科目を問わない幅広い基礎学力・興味を持ち、未来に向けた地域づくりと、世界に羽ばたく農業の実現に意欲を持つグローバル志向の学生を求めます。世代や国境を超えた人々と議論や協働をおこなう学びもありますので、自分の考えを伝える表現力と英語力を身に付けてきてほしいと願います。</p>
<p>入学者選抜における評価する能力・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国語，地理歴史，公民，数学，理科，英語の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な物理又は化学又は生物，英語における十分な学力 3) 地域の発展に貢献する技術や政策に対する幅広い関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題に向き合う協働体験や意欲
<p>評価方法</p>	<p>【学校推薦型選抜（一般）】 ア 小論文 主に1)の一部、英語を除く2)及び4)を評価します。 イ 面接 3)から5)までを評価します。 【学校推薦型選抜（専門高校）】 ア 小論文 主に1)の一部、英語を除く2)及び4)を評価します。 イ 面接 3)から5)までを評価します。 ウ 英語資格・検定試験 主に1)の一部及び物理、化学、生物を除く2)を評価します。 【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1)を評価します。 イ 個別学力検査等（理科、英語） 主に2)を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1)を評価します。 イ 個別学力検査等（英語） 主に物理、化学、生物を除く2)を評価します。</p>

地域未来共創学環

[入学者に求める能力・資質]

地域未来共創学環では、ビジネスとデータサイエンスを中心とした分野・文理横断の学びから、地域課題の解決や、新たな価値創出に挑戦する実践的な人材を育成します。

したがって、地域未来共創学環において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. (知識・技能) 地域未来共創学環における分野・文理横断的な学修に必要な基礎学力を有していること
2. (知的関心) 社会や地域における様々な課題の背景や解決に対する知的関心を有していること
3. (思考力・判断力・表現力) これまでの学習と生活において、多様な人々と共に課題解決をめざした経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
4. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) これまでの学習と生活において、多様な人々とコミュニケーションを積極的に行い、地域課題の解決を意識して主体的に活動した経験があること、あるいは地域課題の解決に向けて探究する意欲を有していること

地域未来共創学環

入学者選抜において評価する能力・成果	1) 分野・文理横断的な学修に必要な国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 社会や地域における様々な課題の背景や解決に対する関心と学修意欲 3) 多様な人々と協働して地域課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力、あるいは、それらを身に付ける意欲 4) 多様な人々と協働するために必要なコミュニケーション能力と、地域課題の解決を意識して主体的に活動した経験、あるいは地域課題の解決に向けて探究する意欲
評価方法	【総合型選抜】 ア 調査書 主に1) を評価します。 イ 集団活動 主に3) 及び4) を評価します。 ウ 面接 主に2) , 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜(前期日程)】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等(数学又は英語) 主に1) の一部を評価します。 ウ 個別学力検査等(面接) 主に2) , 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜(後期日程)】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等(面接) 主に2) , 3) 及び4) を評価します

目 次

茨城大学のアドミッション・ポリシー

I. 入学定員（募集人員）	1
II. 一般選抜	2
1. 選抜日程	2
2. 注意事項	2
3. 出願資格	2
4. 入学者の選抜方法等	3
(1) 入学者選抜の実施教科・科目及び配点等	3
(2) 個別学力検査等の各教科・科目及び小論文等の出題意図	19
○ 主体性評価	26
○ 教育学部実技検査等の課題	27
○ 工学部の個別学力検査の外国語（英語）における 英語資格・検定試験のみなし得点	29
(3) 成績評価及び合否判定	30
(4) 理学部（後期日程）及び工学部（後期日程）の第2志望制について	30
(5) 追加合格及び欠員補充第2次募集	31
(6) 「入試過去問題活用宣言」への参加について	31
III. 学校推薦型選抜（一般推薦，専門高校推薦）	32
IV. 総合型選抜	57
V. 帰国生徒選抜	62
VI. 私費外国人留学生選抜	64
VII. 個別の入学資格審査の申請について	69
VIII. 災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除について	70
IX. 障害等のある入学志願者の事前相談について	71
X. 情報提供	72
XI. 個人情報の取扱いについて	73
XII. 令和7年度（2025年度）入学者選抜について（予告）	73
XIII 試験場	73
XIV. 不正行為・迷惑行為	73

※本文中にある「各学部，学科・課程等」などの表現には，
「地域未来共創学環」も含まれます。

(このページは空白ページです)

I. 入学定員（募集人員）

（単位：人）

学部	学科・課程等		入学定員	募集人員							
				一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜	帰国生徒選抜	私費外国人留学生選抜	
				前期日程	後期日程	一般推薦	専門高校推薦				
科人文 学社 会部	現代社会科学		130	65	40	25				若干名	
	法律経済学		120	65	35	20				若干名	
	人間文化学		110	65	25	20				若干名	
	計		360	195	100	65					
教 育 部	教育実践科学コース		26	13	6	7					
	校 教 育 教 員 養 成 課 程	言語・社会教育系	国語選修	26	17	5	4				
			社会選修	23	13	5	5				
			英語選修	16	10	3	3				若干名
	 ス	理数教育系	数学選修	31	22	5	4				
			理科選修	24	17	4	3				
		音楽教育系	音楽選修	13	6	4	3				
		美術教育系	美術選修	12	6	3	3				
		保健体育教育系	保健体育選修	18	9	6	3				
	特 別 支 援 教 育 コ ー ス	技術教育系	技術選修	17	9	5	3	若干名			
			生活科学教育系	家庭選修	14	8	3	3			
特別支援教育コース			20	12	5	3					
小計		240	142	54	44						
養護教諭養成課程		35	17	10	8					若干名	
計		275	159	64	52						
理 学 部	理学科		数学・情報数理コース	205	15	14	6				若干名
			物理学コース		19	10	5				若干名
			化学コース		19	10			5		若干名
			生物科学コース		19	10			5		若干名
			地球環境科学コース		19	10			5		若干名
			学際理学コース		19	10			5		若干名
	計		205		110	64	11		20		
工 学 部	機械システム工学科		130	70	46	14	若干名			若干名	
	電気電子システム工学科		125	68	46	11	若干名			若干名	
	物質科学工学科		110	60	40	10	若干名			若干名	
	情報工学科		80	45	30	5	若干名			若干名	
	都市システム工学科		60	30	17	8	若干名	5		若干名	
	計		505	273	179	48		5			
農 学 部	食生命科学科		80	50	18	12	若干名		若干名	若干名	
	地域総合農学科	農業科学コース	80	24	10	6	2		若干名	若干名	
		地域共生コース		32		6	若干名				
計		160	106	28	24	2					
地域未来共創学環		40	24	12 (数) 12 (外)	7			9			
合計		1,545	867	442	200	2	34				

（備考）

1. 学校推薦型選抜並びに理学部及び地域未来共創学環の総合型選抜において入学手続きが募集人員（若干名は除く）に満たなかった場合は、一般選抜前期日程の合格者で補充します。
2. 工学部の総合型選抜において入学手続きが募集人員に満たなかった場合は、一般選抜後期日程の合格者で補充します。
3. 地域未来共創学環の一般選抜前期日程は個別学力検査で選択する教科で選抜区分を設け、募集人員（24人）の内訳を数学選択者（12人）、外国語（英語）選択者（12人）とします。

II. 一般選抜

1. 選抜日程

本学は、全学部とも分離・分割方式により次の日程で試験を実施します。

	前 期 日 程	後 期 日 程
出 願 期 間	令和6年1月22日（月）から2月2日（金）まで	
個別学力検査等 実 施 日	令和6年2月25日（日） ※教育学部の一部のコース・選修等及び 地域未来共創学環のみ 2月26日（月）にも実施します。	令和6年3月12日（火）
合格者発表日	令和6年3月7日（木）	令和6年3月21日（木）

2. 注意事項

- (1) 志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部等から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部等から一つ、合計二つまで出願することができます。
- (2) 本学では、同一学部、異なる学部、学科・課程等を問わず、「前期日程」と「後期日程」に併願することができます。
- (3) 本学では、全ての学部、学科・課程等で2段階選抜は実施しません。
- (4) 本学では、大学入学共通テストの過年度成績は利用しません。
- (5) 後期日程の理学部（数学・情報数理コースを除く）への出願にあたっては、同学部内で第1志望とするコースの他に第2志望のコースを選択し出願することができます。ただし、第1志望・第2志望のどちらかは学際理学コースを選択している必要があり、さらに、個別学力検査の受験科目に関して、第1志望・第2志望の両方のコースの出願要件を満たす科目を選択しなければ出願することはできません（詳細はp. 30～31参照）。
- (6) 後期日程の工学部への出願にあたっては、同学部内で第1志望とする学科の他に第2志望の学科を選択し出願することができます。（詳細はp. 31参照）。

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、令和6年度大学入学共通テストの教科・科目のうち、本学が指定した教科・科目（p. 3～18参照）をすべて受験した者としてします。

なお、**本学が指定した教科・科目を一つでも受験しなかった者は無資格者となり、本学に出願することはできませんので注意してください。**

- (1) 高等学校又は中等教育学校（以下、「高等学校等」という）を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和6年3月31日までに合格見込みの者（同規則附則の規定による廃止前の大学入学資格検定期程により大学入学資格検定に合格した者を含む）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和6年3月31日までに18歳に達するもの

※ 上記出願資格（8）で出願する者は、本学における個別入学資格審査が必要となりますので、p. 69を参照してください。

4. 入学者の選抜方法等

(1) 入学者選抜の実施教科・科目及び配点等

本学の一般選抜において各学部、学科・課程等が課す大学入学共通テスト及び個別学力検査等の実施教科・科目及び配点を、p. 6以降に示します。

なお、表を参照する際には以下の点に注意してください。

【大学入学共通テストに関する注意事項】

○全学部共通注意事項

地理歴史，公民

- 1) 「地理歴史，公民」からは、最大2科目を選択し受験可能ですが、以下のような「同一名称を含む科目同士」の選択はできません。

〔「世界史A」と「世界史B」，「日本史A」と「日本史B」，「地理A」と「地理B」，
「倫理」と「倫理，政治・経済」，「政治・経済」と「倫理，政治・経済」〕

- 2) 「地理歴史，公民」において2科目を受験する場合、試験時間130分（うち解答時間120分）の前半に受験した科目を“第1解答科目”，後半に受験した科目を“第2解答科目”とします。
- 3) 「地理歴史，公民」で1科目のみに配点する学部、学科・課程等において、2科目を受験した場合は、“第1解答科目”として受験した科目の成績を利用します。

数学

- 1) 「数学」において「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校等においてこれらの科目を履修した者（見込みを含む）及び専修学校の高等課程の修了者（見込みを含む）に限ります。
- 2) 「数学」において、学部、学科・課程等が指定する科目数を超えて受験した場合には、高得点科目の成績を利用します。

理科

- 1) 「理科」において、「理科①」，「理科②」とは、以下の科目を指します。

〔理科①：「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」〕
〔理科②：「物理」，「化学」，「生物」，「地学」〕

- 2) 「理科」において、「同一名称を含む科目同士」とは、以下の組み合わせをいいます。

〔「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，〕
〔「生物基礎」と「生物」，「地学基礎」と「地学」〕

- 3) 「理科①」を選択した場合は選択した2つの科目の合計得点を利用します。
- 4) 「理科②」において2科目を受験する場合、試験時間130分（うち解答時間120分）の前半に受験した科目を“第1解答科目”，後半に受験した科目を“第2解答科目”とします。

外国語（英語）

- 1) 「外国語」の「英語」には、その一領域として実施される「リスニング」を含みます。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの100点のみを学部、学科・課程等が指定する配点に換算します。
- 2) 「外国語」の「英語」の配点は、まず、リーディング（100点）を200点に、リスニング（100点）を50点に換算し（合計250点）、それを学部、学科・課程等が指定する配点に換算します。

○人文社会科学部注意事項

地理歴史，公民

- 1) 現代社会学科の前期日程において、「地理歴史，公民」で少なくとも1科目は「世界史A」，「世界史B」，「日本史A」，「日本史B」，「地理A」，「地理B」のいずれかを選択していないと出願することはできません。
- 2) 法律経済学科の前期日程において、「地理歴史，公民」で少なくとも1科目は「世界史B」，「日本史B」，「地理B」，「倫理，政治・経済」のいずれかを選択していないと出願することはできません。
- 3) 人間文化学科の前期日程において、「地理歴史，公民」で少なくとも1科目は「世界史B」，「日本史B」，「地理B」のいずれかを選択していないと出願することはできません。
- 4) 法律経済学科及び人間文化学科の後期日程において、「地理歴史，公民」で2科目を選択する場合は「世界史B」，「日本史B」，「地理B」，「現代社会」，「倫理」，「政治・経済」，「倫理，政治・経済」のいずれかを“第1解答科目”として選択していないと出願することはできません。

数学及び理科

- 1) 現代社会学科及び法律経済学科の前期日程において、「理科」で同一名称を含む科目同士を選択した場合は、「理科①2科目の合計得点」と「理科②1科目の得点」のうち高得点科目の成績のみが有効となるため、「数学」を2科目選択する必要があります。
- 2) 現代社会学科及び法律経済学科の前期日程において、「数学」及び「理科」で学科が指定する科目数を超えて選択した際の成績は以下のとおり利用します。

受験者が選択した科目数			合否判定に利用する成績
数学	理科①	理科②	
2	—	2	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の高得点科目の成績 ・理科②の第1解答科目の成績 ・数学の低得点科目と理科②の第2解答科目のうち、高得点の成績
2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の高得点科目の成績 ・理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち、高得点の成績 ・数学の低得点科目と理科の低得点の成績のうち、高得点の成績 ※ 理科において同一名称を含む科目同士を選択した場合、成績は以下のとおり利用します。 <ul style="list-style-type: none"> ・数学2科目の成績 ・理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち、高得点科目の成績

- 3) 人間文化学科の前期日程並びに全学科の後期日程において、「理科」で学科が指定する科目数を超えて選択した際の成績は以下のとおり利用します。

受験者が選択した科目数		合否判定に利用する成績
理科①	理科②	
2	1	理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち、高得点の成績
—	2	理科②の第1解答科目の成績

外国語

全学科の前期日程及び後期日程において、「外国語」の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」及び「韓国語」のいずれかを受験した場合の配点は、筆記の200点のみを学科が指定する配点に換算します。

○教育学部注意事項

数学及び理科

- 1) 数学選修及び理科選修の前期日程において、「理科」で同一名称を含む科目同士を選択した場合は、「理科①2科目の合計得点」と「理科②1科目の得点」のうち高得点科目の成績のみが有効となるため、「数学」を2科目選択する必要があります。
- 2) 数学選修及び理科選修の前期日程において、「数学」及び「理科」で各選修が指定する科目数を超えて選択した際の成績は以下のとおり利用します。

受験者が選択した科目数			合否判定に利用する成績
数学	理科①	理科②	
2	—	2	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の高得点科目の成績 ・理科②の第1解答科目の成績 ・数学の低得点科目と理科②の第2解答科目のうち高得点の成績
2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の高得点科目の成績 ・理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち、高得点の成績 ・数学の低得点科目と理科の低得点の成績のうち、高得点の成績 ※ 理科において同一名称を含む科目同士を選択した場合、成績は以下のとおり利用します。 <ul style="list-style-type: none"> ・数学2科目の成績 ・理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち、高得点科目の成績

- 3) 理科選修の後期日程において、「理科」で同一名称を含む科目同士を選択することはできません。
- 4) 数学選修の前期日程及び理科選修の前期・後期日程以外の課程・コース・選修の前期日程及び後期日程において、「理科」で指定された科目数を超えて選択した際の成績は以下のとおり利用します。

受験者が選択した科目数		合否判定に利用する成績
理科①	理科②	
2	1	理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち、高得点の成績
—	2	理科②の第1解答科目の成績

外国語

全課程・コース・選修の前期日程及び後期日程において、「外国語」の「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」及び「韓国語」のいずれかを受験した場合の配点は、筆記の200点のみを課程・コース等が指定する配点に換算します。

○理学部注意事項

理科

全コースの前期日程及び後期日程において、「理科」で同一名称を含む科目同士を選択することはできません。

外国語

全コースの前期日程及び後期日程において、「外国語」の「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」及び「韓国語」のいずれかを受験した場合の配点は、筆記の200点のみを学科・コース等が指定する配点に換算します。

○工学部注意事項

地理歴史, 公民

全学科の前期日程及び後期日程において、「地理歴史, 公民」で2科目を選択する場合は「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」のいずれかを“第1解答科目”として選択していないと出願することはできません。

理科

- 1) 全学科の前期日程及び後期日程において、「理科」で「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」を選択することはできません。
- 2) 機械システム工学科, 電気電子システム工学科, 都市システム工学科は、「理科」で理科②の「物理」を選択していないと出願することはできません。

○農学部注意事項

地域総合農学科地域共生コースのパターン①は文系選択科目, パターン②は理系選択科目を表し, いずれかを出願時に選択します。

地理歴史, 公民

食生命科学科, 地域総合農学科農業科学コース及び地域共生コース(パターン②)で出願する者「地理歴史, 公民」で2科目を選択する場合は「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」のいずれかを“第1解答科目”として選択していないと出願することはできません。

理科

地域総合農学科地域共生コース(パターン①)で出願する者「理科」で指定された科目数を超過して選択した際の成績は以下のとおり利用します。

受験者が選択した科目数		合否判定に利用する成績
理科①	理科②	
2	1	理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち, 高得点の成績
—	2	理科②の第1解答科目の成績

○地域未来共創学環注意事項

地理歴史, 公民及び理科

前期日程及び後期日程において、「地理歴史, 公民」と「理科」をそれぞれ1科目以上(理科①は2科目で1科目として扱う), 合計3科目の成績を利用します。3科目を超過して選択した際の成績は以下のとおり利用します。

受験者が選択した科目数			合否判定に利用する成績
地理歴史, 公民	理科①	理科②	
2	—	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「地理歴史, 公民」の第1解答科目の成績 ・理科②の第1解答科目の成績 ・「地理歴史, 公民」と理科②の第2解答科目のうち, 高得点の成績
2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「地理歴史, 公民」の第1解答科目の成績 ・「地理歴史, 公民」の第2解答科目, 理科①2科目, 理科②1科目のうち, 高得点の2つの成績 <p>※ 理科において同一名称を含む科目同士を選択した場合, 成績は以下のとおり利用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地理歴史, 公民」2科目の成績 ・理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち, 高得点科目の成績

【個別学力検査等について】

各学部, 学科・課程等が課す個別学力検査等の出題意図等については, p.19~25に示します。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		科目名	科目数	科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	小論文	主体性	配点合計	
人文社会科学部	現代社会科学科	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	ただし, 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bのうち, 少なくとも1科目を含むこと。	外国語	英語	大学入学共通テスト	300	300 (《200》+100) ※2	100	150※4	150※4	300			1050		
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から2											200			250	
		公民	理社, 倫, 政経, 倫, 政経												500			1300	
		数	①数I, 数II, 数A ②数II, 数I・数B	から1	[数①から1]かつ[理①から2, 理②から1] [数①から1]かつ[理②から2] [数①から2]かつ[理①から2] [数①から2]かつ[理②から1]	その他	英語 (ミニカン・ジョ)英語I, ミニカン・ジョ)英語II, 英語表現I) 主体性	個別学力検査 計	300	300	300	150	150	100	200				
		理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地																
	外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																
	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	[5教科7科目又は8科目] 又は [6教科7科目又は8科目]	外国語	英語	大学入学共通テスト	200	200	200	100	100	100※5	100※5	200			800	
	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1	(2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します)											300			350	
	公民	理社, 倫, 政経, 倫, 政経													500			1150	
	数	①数I, 数II, 数A ②数II, 数I・数B	から1												200				
理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地		[理①から2]又は[理②から1]																
外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																	
国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	[5教科5科目又は6科目]	外国語	英語	大学入学共通テスト	300	300 (《200》+100) ※3	300	150	150	150	150	300			1050		
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1	ただし, 世B, 日B, 地理B, 倫・政経のうち, 少なくとも1科目を含むこと。											200			250		
公民	理社, 倫, 政経, 倫, 政経													500			1300		
数	①数I, 数II, 数A ②数II, 数I・数B	から1	[数①から1]かつ[理①から2, 理②から1] [数①から1]かつ[理②から2] [数①から2]かつ[理①から2] [数①から2]かつ[理②から1]	その他	英語 (ミニカン・ジョ)英語I, ミニカン・ジョ)英語II, 英語表現I) 主体性	個別学力検査 計	300	300	300	150	150	150	100	200					
理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地																		
外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																	
国	世B, 日B, 地理B	1	[6教科7科目又は8科目]	外国語	英語	大学入学共通テスト	300	300	300	100	100	100※5	100※5	300			1100		
公民	理社, 倫, 政経, 倫, 政経	から1	(2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します※1)											300			350		
数	①数I, 数II, 数A ②数II, 数I・数B	から1												600			1450		
理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地		[理①から2]又は[理②から1]																
外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																	

※1 人文社会科学部法律経済学科(後期日程)において大学入学共通テストで課す「地理歴史, 公民」で2科目を受験した場合は, 「第1解答科目」として受験した科目の成績を利用するため, 「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理, 政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していただくと出願することはありません。

※2 配点は, 2科目のうちいずれか高い得点を2倍して, 合計300(200+100)点とします。

※3 配点は, 次のとおりとします。また, 「理科」で同一名称を含む科目同士を選択した場合は, 「理科①2科目の合計得点」と「理科②1科目の得点」のうち高得点科目の成績のみが有効となるため, 「数学」を2科目選択する必要があります。

※4 配点は, 数学から1科目かつ理科①から2科目及び理科②から1科目選択の場合: 150(50+50+25+25)点
[教科3科目(数学から1科目と理科②から2科目又は数学から2科目かつ理科②から1科目)選択の場合]: 150(50+50+50)点
[教科4科目(数学から1科目かつ理科①から2科目及び理科②から1科目)選択の場合]: 150(50+25+25+50)点
[教科4科目(数学から2科目かつ理科①から2科目)選択の場合]: 150(50+50+25+25)点

※5 配点は, 理科①から2科目選択の場合は100(50+50)点, 理科②から1科目選択の場合は100点とします。

p. 3~5の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	科目名	科目等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	小論文	主体性	配点合計		
人文社会科学部	人間文化学科	前期	国	1	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	英語	英語	英語	英語	大学入学共通テスト	300	300(《200》+100) ※2	50	50	100※3	300	1100	
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から2	ただし, 世B, 日B, 地理Bのうち, 少なくとも1科目を含むこと。	(コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	300	300	300	100	100	200	200	50	50	250	
			公民	理社, 倫, 政経, 倫, 政経	から1		計2科目	その他	300						500	50	50	1350
			数	①数Ⅰ・数A ②数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報	から1		[理①から2]又は[理②から1]											
			理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	から1													
			外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1													
		後期	国	1	[5教科7科目又は8科目] 又は [6教科7科目又は8科目]	英語	英語	英語	英語	英語	大学入学共通テスト	200	200	100	100	100※3	300	900
			地歴	世B, 日B, 地理B	から1	(2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します※1)	小論文	200										
			公民	理社, 倫, 政経, 倫, 政経	から1		その他											
			数	①数Ⅰ・数A ②数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報	から1													
			理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	から1													
			外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1													

※1 人文社会科学部人間文化学科(後期日程)において大学入学共通テストで課す「地理歴史, 公民」で2科目を受験した場合は, “第1解答科目”として受験した科目の成績を利用するため, 「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理・政治・経済」のいずれかを “第1解答科目”として選択しないと出願することはできません。

※2 配点は, 2科目のうちいずれか高い得点を2倍して, 合計300(200+100)点とします。

※3 配点は, 理科①から2科目選択の場合は100(50+50)点, 理科②から1科目選択の場合は100点とします。

p. 3～5の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

II. 一般選抜

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										配点合計						
		科目名	科目名	科目名	科目名	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	小論文 試験等		面接 試験等	アビリティ 試験等	運動特長に 関する調査	集団 活動		
教育学部	教育実践コース 教育実践コース 教育実践コース 教育実践コース 教育実践コース 教育実践コース 教育実践コース 教育実践コース 教育実践コース 教育実践コース	前期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	[6教科6科目又は7科目] [5教科6科目又は7科目]	大学入学共通テスト	200	50	50	100	100	100	200							700	
		前期	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1		個別学力検査	200							200	200	100				300	
		後期	数	①数I・数A ②数II, 数B, 薄・会, 情報	から1		面接	200							200	200	200					700
		後期	理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 七, 生, 地	[理①から2]又は[理②から1]		面接	200							200	200	200					900
		前期	外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1		小論文 面接	200	100	100	100	100	100	100	100	200	300	100				800
		後期	国語選修					面接	200							200	300	100				400
		後期	英語選修					面接	200							200	300	100				800
		前期	言語・社会選修					小論文 面接	200	100	100	100	100	100	100	200	200	100				900
		後期	英語選修					小論文 面接	200	100	100	100	100	100	100	200	200	100				800
		教育学部	学校教育学系 教育学部 教育学部 教育学部 教育学部 教育学部 教育学部 教育学部 教育学部 教育学部	前期	国		世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	[5教科6科目又は7科目]	大学入学共通テスト	200	100	100	100	100	100	200					
前期	公民			現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1	個別学力検査	200								200	200	200				200	
前期	数			①数I・数A ②数II, 数B, 薄・会, 情報	[数から1]かつ[理①から2] [数から1]かつ[理②から2] [数から2]かつ[理①から2] [数から2]かつ[理②から1]	面接	200								200	200	200					1100
前期	理			①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 七, 生, 地	[数から2]かつ[理②から1]	面接	200								200	200	200					1000
前期	外			英, 独, 仏, 中, 韓	から1	面接	200	100		100	100	100	100	100	100	200	200	200				200
後期	国語選修						面接	200								200	200	200				900
後期	英語選修						面接	200								200	200	200				1000
前期	言語・社会選修						数学※1 その他	200		100	100	100	100	100	100	200	300	100				200
後期	英語選修						数学※1 その他	200		100	100	100	100	100	100	200	300	100				200
教育学部	教育学部 教育学部 教育学部 教育学部 教育学部 教育学部 教育学部 教育学部 教育学部 教育学部			前期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	[5教科6科目又は7科目]		大学入学共通テスト	200	100	100	100	100	100	200					
		前期	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1	個別学力検査	200								200	200	200				400	
		前期	数	①数I・数A ②数II, 数B, 薄・会, 情報	[数から1]かつ[理①から2] [数から1]かつ[理②から2] [数から2]かつ[理①から2] [数から2]かつ[理②から1]	面接	200								200	200	200					1200
		前期	理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 七, 生, 地	[理①から2] 又は [理②から1]	面接	200								200	200	200					1000
		前期	外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	面接	200		100	100	100	100	100	100	100	200	200	200				200
		後期	国語選修				面接		200							200	200	200				900
		後期	英語選修				面接		200							200	200	200				1000
		前期	言語・社会選修				数学※1 その他		200	100	100	100	100	100	100	200	300	100				200
		後期	英語選修				数学※1 その他		200	100	100	100	100	100	100	200	300	100				200

※1 教育学部教育学系選修(前期課程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容を指定します。【数B(数列, ベクトル)】

※2 配点は、理科①から2科目選択の場合は100(50+50)点、理科②から1科目選択の場合は100点とします。

※3 配点は、次のとおりとします。また、「理科」で同一名称を含む科目同士を選択した場合は、「理科①2科目の合計得点」と「理科②1科目の得点」のうち高得点科目の成績のみが有効となるため、「数学」を2科目選択する必要があります。

[2教科3科目(数学から1科目かつ理科②から2科目又は数学から2科目かつ理科②から1科目)選択の場合] : 300(100+100+100)点

[2教科4科目(数学から1科目かつ理科①から2科目及び理科②から1科目)選択の場合] : 300(100+50+50+100)点

[2教科4科目(数学から2科目かつ理科①から2科目)選択の場合] : 300(100+100+50+50)点

p. 3~5の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

II. 一般選抜

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
		日	教料	科目名	科目名等	試験の区分	国語	歴史	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	小論文	面接	面接/面接員	アプレベンション	運動特技に関する調査	集団活動	配点合計		
教育学部	学校教育学員養成課程 生活科学系 家庭選択コース 特別支援教育コース 児童教育員養成課程	前期	国	1	1	その他	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	200	100	100	100	100	200	200	100						800		
		後期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1	小論文	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	200	100	100	100	100	100	200	200	100						300	
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1	面接		200	100	100	100	100	100	200	200	100						1100	
		後期	数	①教I・数A	から1	その他	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	200	100	100	100	100	100	200	200	100						800	
			理	②教II・数B, 簿・会, 情報 ①教II・数B, 簿・会, 情報 ①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	[理①から2]又は[理②から1]			200	100	100	100	100	100	100	200	200	100						100
		後期	外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	その他	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	200	100	100	100	100	100	200	200	100							900
		教育学部	特別支援教育コース	前期			その他	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	200	50	50	100	100	100	200								700
				後期			集団活動	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	200	50	50	100	100	100	200							200	200
		教育学部	児童教育員養成課程	前期			その他	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	200	50	50	100	100	100	200								700
後期					面接	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	200	50	50	100	100	100	200			200					200	200	
教育学部	養護教諭養成課程	前期			その他	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	200	50	50	100	100	200	200								800		
		後期			小論文 プレゼンテーション	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	200	50	50	100	100	200	200	200				200			400		
教育学部	養護教諭養成課程	前期			その他	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	200	100	100	100	100	200	200								900		
		後期			面接	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	200	100	100	100	100	200	200			300					300		
							200	100	100	100	200	200			300						1200		

※1 配点は、理科①から2科目選択の場合は100(50+50)点、理科②から1科目選択の場合は100点とします。
 ※2 配点は、理科①から2科目選択の場合は200(100+100)点、理科②から1科目選択の場合は200点とします。

p. 3～5の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部・ 学科・ 課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							
	科目名	科目名	科目名	科目名	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	主体性
理学部 理学学科	数学 前期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	数学※1	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B 主体性	大学入学共通テスト	200	100	100	100	200※4	200	250	950	
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1				公民	500	550						
	情報 後期	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	1	その他	主体性	個別学力検査	200	100	700	200	200※4	200	250	1500	
		数	①数Ⅰ・数A ②数Ⅱ・数B	計2科目				100	100	200※4	200	200	750			
	数 後期	理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	[理①から2] かつ [理②から1] [理②から2]	数学※1 その他	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B 主体性	個別学力検査	100	50	800	200	200※4	200	200	850	
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1				100	1000	200	200	1600				
	物理 前期	物理	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	[5教科7科目又は8科目]	数学※1 理科※2 その他	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B 物(物理基礎, 物理) 主体性	大学入学共通テスト	200	100	100	100	200※4	250	950	
									計	500	1000	200	550			
	物理 後期	物理	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	[5教科7科目又は8科目]	理科※2 その他	物(物理基礎, 物理) 主体性	個別学力検査	200	100	400	500	300	250	1500	
									計	1000	200	850				
化学 前期	化学	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	[5教科7科目又は8科目]	理科※2 その他	化(化学基礎, 化学) 主体性	大学入学共通テスト	200	100	100	100	200※4	250	950		
								計	500	1000	200	550				
化学 後期	化学	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	[5教科7科目又は8科目]	理科※2 その他	化(化学基礎, 化学) 主体性	個別学力検査	200	100	200	500	300	250	1300		
								計	1000	200	850					
生物 前期	生物	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	[5教科7科目又は8科目]	理科※2 その他	物(物理基礎, 物理) 化(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 主体性	大学入学共通テスト	200	100	100	100	200※4	250	950		
								計	500	1000	200	550				
生物 後期	生物	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	[5教科7科目又は8科目]	理科※2 その他	物(物理基礎, 物理) 化(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 主体性	個別学力検査	200	100	200	800	300※5	200	1400		
								計	1000	200	850					

※1 理学部理学学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の教科Bについては、次のとおり内容を指定します。【数B(数列, ベクトル)】

※2 理学部理学学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。
 【物理】：物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とします。【化学】：化学基礎, 化学の問題と数学の問題を出題し, 出題範囲については、次のとおりとします。
 【物理】：物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とします。【物理】：物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とします。
 【数学】：数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B(数列, ベクトル)を出題範囲とします。【物理】：物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とします。

※3 配点は、3科目(理科①から2科目かつ理科②から1科目)選択の場合は200(50+50+100)点, 2科目(理科②から2科目)選択の場合は200(100+100)点とします。なお、同一名称を含む科目同士を選択することはできません。

※4 配点は、3科目(理科①から1科目かつ理科②から1科目)選択の場合は300(75+75+150)点, 2科目(理科②から2科目)選択の場合は300(150+150)点とします。なお、同一名称を含む科目同士を選択することはできません。

※5 配点は、3科目(理科①から2科目かつ理科②から1科目)選択の場合は300(75+75+150)点, 2科目(理科②から2科目)選択の場合は300(150+150)点とします。なお、同一名称を含む科目同士を選択することはできません。

※6 この配点区分は、個別学力検査で総合問題以外を選択する場合があります。総合問題を指定する場合は物理コース(後期日程)と同じ配点区分になります。

p. 3~5の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等					配点合計
		科目名	科目名	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	
理学部	地球環境科学コース	前期	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経	1	本学が課す科目数及び科目選択の方法等 (2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します)	物(物理基礎, 物理) 化(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 地(地学基礎, 地学)	大学入学共通テスト	200	100	100	200※3	250	950
		後期	数 ①数I・数A ②数II・数B 理 ①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地 外 英, 独, 仏, 中, 韓	1 1 1	[理①から2] かつ [理②から1] [理②から2]	物(物理基礎, 物理) 化(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 地(地学基礎, 地学)	個別学力検査	200	100	200	500	500	250
理学部	学際理工学コース	前期	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経	1	本学が課す科目数及び科目選択の方法等 (5教科7科目又は8科目)	物(物理基礎, 物理) 化(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 地(地学基礎, 地学)	大学入学共通テスト	200	100	100	200※3	250	950
		後期	数 ①数I・数A ②数II・数B 理 ①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地 外 英, 独, 仏, 中, 韓	1 1	[理①から2] かつ [理②から1] [理②から2]	物(物理基礎, 物理) 化(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 地(地学基礎, 地学)	個別学力検査	200	100	200	500	500	250

※1 理学部理学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については, 次のとおりとします。

【物理】: 物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とします。【化学】: 化学基礎, 化学の全内容を出題範囲とします。【生物】: 生物基礎, 生物の全内容を出題範囲とします。【物理】: 物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とします。

※2 理学部理学科(後期日程)の個別学力検査で課す「総合問題(物理, 数学)」は物理の問題と数学の問題を出題し, 出題範囲とします。【物理】: 物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とします。【数学】: 数I, 数II, 数A, 数B(数列, ベクトル)を出題範囲とします。

【数学】: 数I, 数II, 数A, 数B(数列, ベクトル)を出題範囲とします。【物理】: 物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とします。【理科】: 理科①から2科目かつ理科②から1科目選択の場合は200(50+50+100)点, 2科目(理科①から2科目)選択の場合は300(75+75+150)点, 2科目(理科①から1科目)かつ理科②から2科目選択の場合は300(150+150)点とします。なお, 同一名称を含む科目同士を選択することはできません。

※3 配点は, 3科目(理科①から2科目かつ理科②から1科目)選択の場合は300(75+75+150)点, 2科目(理科①から2科目)選択の場合は300(150+150)点とします。なお, 同一名称を含む科目同士を選択することはできません。

※4 配点は, 3科目(理科①から2科目かつ理科②から1科目)選択の場合は300(75+75+150)点, 2科目(理科①から1科目)かつ理科②から2科目選択の場合は300(150+150)点とします。なお, 同一名称を含む科目同士を選択することはできません。

※5 この配点区分は, 個別学力検査で総合問題以外を選択する場合があります。総合問題を選択する場合は物理学コース(後期日程)と同じ配点区分になります。

p.3~5の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等						
		科目名	科目名	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	主体性	配点合計
工学部	機械システム工学科	国 1 地歴 世B, 日B, 地理B 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数 ①数I・数A ②数II・数B 理 ②物, 化, 生, 地 外 英 [5教科7科目]	1	(2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します※1) 計2科目 [物] かつ [物以外から1] (計2科目)	数学※2	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	1250		
			から1		数A, 数B	個別学力検査				300(《200》+100)※7	100	450		
			1		英語	計	200	100		1000	350	1700		
			1		その他	数I, 数II, 数III, 数A, 数B 英語 (物理基礎, 物理) 英語 (コミュニケーション/英語 I, コミュニケーション/英語 II, 英語表現 I) 主体性	大学入学共通テスト	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	1250
					数I, 数II, 数III, 数A, 数B			300		100	450			
					英語 (コミュニケーション/英語 I, コミュニケーション/英語 II, 英語表現 I) 主体性	200	100		600	400	350	1700		
					その他	200	100							
					数学※2	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	1250		
					数A, 数B				300(《200》+100)※7	100	450			
					理科※3	200	100		1000		350	1700		
					外国語※4	計								
					その他	大学入学共通テスト	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	1250	
					数I, 数II, 数III, 数A, 数B				300(《200》+100)※7	100	450			
					理科※3	200	100		1000		350	1700		
					外国語※4	計								
					その他	大学入学共通テスト	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	1250	
					数I, 数II, 数III, 数A, 数B				300(《200》+100)※7	100	450			
					英語 (物理基礎, 物理) 英語 (コミュニケーション/英語 I, コミュニケーション/英語 II, 英語表現 I) 主体性	200	100		600	400	350	1700		
					数学※2	200	100							
					数A, 数B				300		100	450		
					理科※3	200	100		1000		350	1700		
					外国語※4	計								
					その他	大学入学共通テスト	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	1250	
					数I, 数II, 数III, 数A, 数B				300(《200》+100)※7	100	450			
					英語 (物理基礎, 物理) 英語 (コミュニケーション/英語 I, コミュニケーション/英語 II, 英語表現 I) 主体性	200	100		600	400	350	1700		

※1 工学部機械システム工学科, 電気電子システム工学科 (前・後期日程) において大学入学共通テストで課す「地理歴史, 公民」で2科目受験した場合は, “第1解答科目”として受験した科目の成績を利用するため,

「世界史B」「日本史B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理」「政治・経済」のいずれかを“第1解答科目”として選択しないことと出願することはできません。

※2 工学部機械システム工学科, 電気電子システム工学科 (前・後期日程) の個別学力検査で課す「数学」の教Bについては, 次のとおり内容を指定します。【教B (数列, ベクトル)】

※3 工学部機械システム工学科, 電気電子システム工学科 (前期日程) の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については, 次のとおりとします。

【物理】: 物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とします。

※4 工学部 (前・後期日程) の個別学力検査で課す「外国語」の英語は, 個別学力検査の点数と英語資格・検定試験のみなし得点の点数を総合して評価します。(評価方法の詳細については, p. 29を参照してください)

ただし, 工学部 (前・後期日程) を受験する者は, 英語資格・検定試験のみなし得点を利用する場合でも, 個別学力検査の「外国語 (英語)」は必ず受験してください。

※5 工学部機械システム工学科, 電気電子システム工学科 (前・後期日程) の配点は, 大学入学共通テストの「数学①」と「数学②」のいずれが高い得点を2倍して, 合計300点とします。

※6 工学部機械システム工学科, 電気電子システム工学科 (前・後期日程) の配点は, 大学入学共通テストの「理科②」の高得点科目の得点を3倍して, 合計400点とします。

※7 工学部機械システム工学科, 電気電子システム工学科 (前期日程) の配点は, 個別学力検査の「数学」と「理科」のいずれが高い得点を2倍して, 合計300点とします。

p. 3～5の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等			個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等					
		教科	科目名	科目数	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語
工学部	物質科学工学科	国	1		数学※2 理科※3 外国語※4 その他	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B 物(物理基礎, 物理) 化(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) から1科目選択 英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	200	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	250	1250
		地歴	1	から1				200	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	250	1250
		公民	1					200	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	250	1250
		数	1					200	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	250	1250
		前期	1	から2				200	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	250	1250
		後期	1					200	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	250	1250
工学部	情報工学科	国	1		数学※2 理科※3 外国語※4 その他	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B 物(物理基礎, 物理) 化(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) から1科目選択 英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	200	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	250	1250
		地歴	1	から1				200	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	250	1250
		公民	1					200	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	250	1250
		数	1					200	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	250	1250
		前期	1	から2				200	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	250	1250
		後期	1					200	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	250	1250

※1 工学部物質科学工学科, 情報工学科 (前・後期日程)において大学入学共通テストで課す「地理歴史, 公民」で2科目受験した場合は、「第1解答科目」として受験した科目の成績を利用するため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理」「政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していないと出願することはできません。

※2 工学部物質科学工学科, 情報工学科 (前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容を指定します。【数B(数列, ベクトル)】

※3 工学部物質科学工学科, 情報工学科 (前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。

【物理】: 物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とします。【生物】: 生物基礎, 生物の全内容を出題範囲とします。

※4 工学部 (前・後期日程)の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、個別学力検査の点数と英語資格・検定試験のみなし得点の点数を総合して評価します。《評価方法の詳細については、p.29を参照してください》

ただし、工学部 (前期・後期日程)を受験する者は、英語資格・検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。

※5 工学部物質科学工学科, 情報工学科 (前・後期日程)の配点は、大学入学共通テストの「数学①」と「数学②」のいずれかが高い得点を2倍して、合計300点とします。

※6 工学部物質科学工学科, 情報工学科 (前・後期日程)の配点は、大学入学共通テストの「理科①」と「理科②」のいずれかが高い得点を3倍して、合計400点とします。

※7 工学部物質科学工学科, 情報工学科 (前期日程)の配点は、個別学力検査の「数学」と「理科」のいずれかが高い得点を2倍して、合計300点とします。

p.3~5の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							
		科目名	科目数	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	主体性	配点合計	
工学部	都市システム工学科	国	1	数学※2 理科※3 外国語※4 その他 数学※2 外国語※4 その他 [5教科7科目]	大学入学共通テスト	200	100	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	1250			
		地歴	世B, 日B, 地理B		から1	個別学力検査									
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経			(2科目受験した場合, 第1解答科目を利用します※1)									
		数	①数I・数A		1	計2科目									
		理	②数II・数B		1	[物] かつ [物以外から1] (計2科目)		200	100	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※7	350	1700	
		外	英		1										
		後期													
		国					大学入学共通テスト	200	100	100	300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	1250	
		個別学力検査													
		計						200	100	100	600	400	350	1700	

※1 工学部都市システム工学科(前・後期日程)において大学入学共通テストで課す「地理歴史, 公民」で2科目受験した場合は, 「第1解答科目」として受験した科目の成績を利用するため, 「世界史B」「日本史B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理」「政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択しないと出願することはできません。

※2 工学部都市システム工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては, 次のとおり内容を指定します。【数B(数列, ベクトル)】

※3 工学部都市システム工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については, 次のとおりとします。

【物理】: 物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とします。

※4 工学部(前・後期日程)の個別学力検査で課す「外国語」の英語は, 個別学力検査の点数と英語資格・検定試験のみなし得点の点数を総合して評価します。(評価方法の詳細については, p.29を参照してください)

ただし, 工学部(前・後期日程)を受験する者は, 英語資格・検定試験のみなし得点を利用する場合でも, 個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。

※5 工学部都市システム工学科(前・後期日程)の配点は, 大学入学共通テストの「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して, 合計300点とします。

※6 工学部都市システム工学科(前・後期日程)の配点は, 大学入学共通テストの「理科」の「理科」の得点を3倍して, 合計400点とします。

※7 工学部都市システム工学科(前期日程)の配点は, 個別学力検査の「数学」と「理科」のいずれか高い得点を2倍して, 合計300点とします。

p.3~5の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等					配点合計		
		科目名	科目数	科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	歴史	公民	数学①	数学②	理科①	理科②		外国語	主体性
食生命科学科	バイオサイエンスコース 国際食産業科学コース	国	1		外国語	英語	大学入学共通テスト	200	100	100	100	200	200	200	200	900	
		地理	世B, 日B, 地理B	から1	(2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します※2)	英語	(コミュニケーション/英語 I, ミニエッセイ/英語 II, 英語表現 I)	個別学力検査	200		200	200	200	200	200	450	
		公民	現社, 倫, 政経, 倫, 政経	から1		理科※3	化 (化学基礎, 化学) 生 (生物基礎, 生物)	計	200	100	200	400	400	400	400	1350	
		数	①数I, 数I・数A ②数II, 数II・数B	から1	計2科目	その他	主体性										
		理	①物, 化, 生, 地	から1	[理②から2]												
		外	英	1	[5教科7科目]												
		後期															
		前期															
		前期															
		前期															
地域総合農学科	農業科学コース	国	1		外国語	英語	大学入学共通テスト	200	100	100	100	200	200	200	900		
		地理	世B, 日B, 地理B	から1	(2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します※2)	英語	(コミュニケーション/英語 I, ミニエッセイ/英語 II, 英語表現 I)	個別学力検査	200		200	200	200	200	450		
		公民	現社, 倫, 政経, 倫, 政経	から1		理科※3	物 (物理基礎, 物理) 化 (化学基礎, 化学) 生 (生物基礎, 生物)	計	200	100	200	400	400	400	1350		
		数	①数I, 数I・数A ②数II, 数II・数B	から1	計2科目	その他	主体性										
		理	①物, 化, 生, 地	から1	[理②から2]												
		外	英	1	[5教科7科目]												
		後期															
		前期															
		前期															
		前期															
地域総合農学科	地域共生コース	国	1		外国語	英語	大学入学共通テスト	200	200	100	100	100	100	200	900		
		地理	世B, 日B, 地理B	から2		英語	(コミュニケーション/英語 I, ミニエッセイ/英語 II, 英語表現 I)	個別学力検査	200		200	200	200	200	450		
		公民	現社, 倫, 政経, 倫, 政経	から1		理科※3	物 (物理基礎, 物理) 化 (化学基礎, 化学) 生 (生物基礎, 生物)	計	200	200	200	300	400	400	1350		
		数	①数I, 数I・数A ②数II, 数II・数B	から1	計2科目	その他	主体性										
		理	①物, 化, 生, 地	から1	[理①から2]又は[理②から1]												
		外	英	1	[5教科7科目又は8科目]又は[6教科7科目又は8科目]												
		後期															
		前期															
		前期															
		前期															

※1 農学部地域総合農学科地域共生コース(前期日程)のパターン①は文系選択科目, パターン②は理系選択科目を表し, いずれかを出願時に選択します。

※2 農学部食生命科学科(前・後期日程)並びに地域総合農学科農業科学コース及び地域共生コース「パターン②」(前期日程)において大学入学共通テストで課す「地理歴史, 公民」で2科目受験した場合は「第1解答科目」として受験した科目の成績を利用するため, 「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理, 政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していただき出願できません。

※3 「物理」: 物理基礎, 物理の全内容を出願範囲とします。「化学」: 化学基礎, 化学の全内容を出願範囲とします。[生物]: 生物基礎, 生物の全内容を出願範囲とします。

※4 農学部食生命科学科後期日程の配点においては, 大学入学共通テストの「数学①と数学②の合計点」と「理科②2科目の合計点」のいずれか高い得点を2倍して400点とし, 大学入学共通テスト合計を850点とします。

※5 配点は, 2科目(理科①から2科目)選択の場合は100(50+50)点, 1科目(理科②から1科目)選択の場合は100点とします。

p.3~5の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等					配点合計																	
		科目名	科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	歴史	公民	数学①	数学②	理科①		理科②	外国語	主体性														
農学部	農業科学コース	国	1	(2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します※2) 計2科目 [理②から2] [5教科7科目]	外国語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	大学入学共通テスト	100	50	200 (400)※3	200 (400)※3	200 (400)※3	100	100	850															
		地理	から1		[5教科7科目]	その他	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	個別学力検査	200 (350)※4	50	200 (400)※3	200 (400)※3	200 (400)※3	200	50	250														
		公民	から1																											
		数	から1																											
		理	から1																											
		外	1																											
		国	1														[5教科7科目]又は[6教科7科目又は8科目]	外国語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	大学入学共通テスト	200 (350)※4	200 (350)※4	50	200 (400)※3	100※5	100	100	850		
		地理	から2															[5教科7科目]	その他	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	個別学力検査	200 (350)※4	200 (350)※4	100	200 (400)※3	100	200 (400)※3	200	50	250
		公民	から1																											
		数	から1																											
理	[理①から2]又は[理②から1]																													
外	1																													
国	1	[5教科7科目]又は[6教科7科目又は8科目]	外国語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	大学入学共通テスト	100	50	200 (400)※3	200 (400)※3	200 (400)※3	100	100	850																	
地理	から1		[5教科7科目]	その他	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	個別学力検査	100	50	200 (400)※3	200 (400)※3	200 (400)※3	200	50	250																
公民	から1																													
数	から1																													
理	[理②から2]																													
外	1																													

※1 農学部地域総合農学科学コース(後期日程)のバターン①は文系選択科目、バターン②は理系選択科目を専し、いずれかを出願時に選択します。

※2 農学部地域総合農学科学コース及び地域共生コース「バターン②」(後期日程)において大学入学共通テストで課す「地理歴史、公民」で2科目受験した場合は、「第1解答科目」として受験した科目の成績を利用するため、「第1解答科目」として受験していないと出願できません。

※3 「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理・政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していただき、大学入学共通テスト合計を850点とします。

※4 配点は、大学入学共通テストの「数学①と数学②の合計点」と「理科②2科目の合計点」のいずれか高い得点を2倍して400点とし、大学入学共通テスト合計を850点とします。

※5 配点は、大学入学共通テストの「国語」と「地理歴史、公民2科目の合計点」のいずれか高い得点を1.75倍して350点とし、大学入学共通テスト合計を850点とします。

p.3～5の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

II. 一般選抜

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
		科目名	科目数	科目名等	試験の区分	国語	数学①	数学②	外国語	地歴	公民	理科①	理科②	面接
地域未来共創学環	前期	国	1	数学※3 外国語	教I, 教II, 数A, 数B 英語 (コミュニケーション英語I, コミュニケーション英語II, 英語表現I)	200	100	100	200	300※5	300	100	100	900
		数	1			200※4	200							
		英, 独, 仏, 中, 韓	から1	その他	200	600	100	200	300	100	300	100	1200	
地域未来共創学環	後期	地理	から1又は2	その他	面接	200	100	100	200	300※5	300	300	300	900
		公民	から1又は2			200	600	100	200					
		理	から1又は2 ※1	〔5教科7科目又は8科目〕又は〔6教科7科目又は8科目〕	200	200	200	200	200	300	300	1200		

※1 地域未来共創学環（前・後期日程）において大学入学共通テストで課す「理科」で同一名称を含む科目同士を選択した場合、「理科①2科目の合計得点」と「理科②1科目の得点」のうち高得点科目の成績のみが有効となるため、

「地理歴史、公民」を2科目選択する必要があります。理科①は2科目で1科目として扱い、配点は100（50+50）点とします。理科②の配点は1科目100点とします。

※2 地域未来共創学環（前・後期日程）において大学入学共通テストで課す「地理歴史、公民」と「理科」をそれぞれ1科目以上（理科①は2科目で1科目として扱う）、合計3科目の成績を利用します。

※3 地域未来共創学環（前期日程）の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容が指定されます。【数B（数別、ペクトル）】

※4 配点は、個別学力検査の「数学」または「外国語」から選択した1教科を200点とします。

※5 配点は、次のとおりとします。

【地理歴史、公民から1科目かつ理科から2科目を選択の場合】：300(100+200)点
 【地理歴史、公民から2科目かつ理科から1科目を選択の場合】：300(200+100)点

p.3～5の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

(2) 個別学力検査等の各教科・科目及び小論文等の出題意図

○前期日程

学部	学科・課程等	個別学力検査等	出題意図	
人文社会科学部	現代社会科学 法律経済学科 人間文化学科	外国語(英語) ※1	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。	
教育学部	教育実践科学コース	小論文 ※2	教育学部で学ぶのに必要な日本語の基礎的能力(読解力, 表記能力, 表現力など)及び論理的思考力をみることを主眼とします。併せて教育に関する興味, 関心, 姿勢などについて論述させます。字数は800字程度です。	
		面接	集団面接(1グループ30分程度)で課題についての討論と質疑を行います。高等学校等までの学習で理解できる現代の教育問題に関するテーマを課し, 本コースで学ぶために必要な能力(分析力, 判断力, 論理構成力, 表現力及びコミュニケーション能力等)をみることを主眼とします。集団面接は10名程度で行います。ただし, 受験者数により変更する場合があります。	
	言語・社会教育系	国語選修	小論文 ※2	教育学部で学ぶのに必要な日本語の基礎的能力(読解力, 表記能力, 表現力など)及び論理的思考力をみることを主眼とします。併せて教育に関する興味, 関心, 姿勢などについて論述させます。字数は800字程度です。
			面接	個人面接(約10分)で行います。志望動機, 教育・国語教育に対する関心, 学習意欲, 表現力などをみることを主眼とします。
		社会選修	小論文 ※3	社会科(地理歴史科・公民科を含む)に関連する資料を提示し, 課題を与えて論述させます。社会選修で学ぶのに必要な能力(教科についての関心とその内容の探究に必要な思考力・判断力・表現力等)をみることを主眼とします。字数は800字程度です。
			面接	個人面接(10分程度)で行います。志望動機, 教育・社会科教育に対する関心, 学習意欲などをみることを主眼とします。なお, 履修した地理歴史科・公民科の学習内容についての質疑応答を含みます。
	教科教育コース	英語選修	面接	集団面接(30分程度)で行います。学習意欲, 日本語及び英語の表現力等をみることを主眼とします。なお, 英語による質疑応答も含み, 解答時には, 黒板等への記述を求める場合があります。集団面接は2~3人程度で行います。ただし, 受験者数により変更する場合があります。
			数学選修	数学 ※4
		面接		個人面接(5分程度)で行います。志望動機, 表現力, 数学教育に対する学習意欲などをみることを主眼とします。
		理数教育系	理科選修 から1科目選択	理科 物理 化学 生物 地学
	面接			個人面接(5分程度)で行います。志望動機, 表現力, 理科及び理数教育に対する知識・関心, 学習意欲などをみることを主眼とします。

- ※1 前期日程における人文社会科学部, 工学部, 農学部及び地域未来共創学環『外国語(英語)選修』の個別学力検査で課す「外国語(英語)」は, 共通の試験問題です。
- ※2 教育学部(前期日程)の個別学力検査で課す「小論文」は, 教育学部内で共通の試験問題です。(社会選修を除く)
- ※3 教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース言語・社会教育系社会選修(前期日程)の個別学力検査で課す「小論文」は, 独自の試験問題です。
- ※4 前期日程における教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース理数教育系数学選修と地域未来共創学環『数学選修』の個別学力検査で課す「数学」は, 共通の試験問題です。

学部	学科・課程等		個別学力検査等	出題意図	
教育学部	教科教育コース 学校教育教員養成課程	音楽教育系	音楽選修	実技検査(音楽)	共通課題を課すとともに、各人の希望する選択課題を課します。課題については、p.27～28に示します。音楽の基礎的能力と表現力をみることを主眼とします。
				面接	個人面接(5～10分程度)で行います。志望動機、意欲、適性、将来性、コミュニケーション能力等をみることを主眼とします。
		美術教育系	美術選修	実技資料検査(美術)	美術の表現力に関わる基礎的資質をみることを主眼とします。課題については、p.28に示します。
				面接	個人面接(15分程度)で行います。志願理由、意欲、適性、将来性、コミュニケーション能力、高等学校等での学習状況をみることを主眼とします。また、実技資料検査作品をもとにした質問を含みます。
		保健体育教育系	保健体育選修	実技検査(体育)	「基礎的身体能力テスト」を実施し、基礎的体力・スキルを総合的に評価します。課題については、p.28に示します。
				面接	個人面接(10分程度)で行います。志望動機、保健体育教育に関する知識、学習意欲等をみることを主眼とします。
				運動特技に関する調書	体育実技の能力あるいは活動の実績をみることを主眼とします。提出方法については、p.28に示します。
		技術教育系	技術選修	面接	個人面接(10分程度)で行います。志望動機、技術教育に対する関心、学習意欲、表現力などについて、自分の考えや取り組んできたことなどを的確に伝えることができるかという点を重視して評価します。
		生活科学教育系	家庭選修	小論文※2	教育学部で学ぶのに必要な日本語の基礎的能力(読解力、表記能力、表現力など)及び論理的思考力をみることを主眼とします。併せて教育に関する興味、関心、姿勢などについて論述させます。字数は800字程度です。
				面接	個人面接(10分程度)で行います。志望動機、家庭科教育に対する関心・学習意欲などをみるとともに、衣食住、家族・子ども、消費生活・環境など家庭科に関する知識について、その内容をどの程度理解しているか、また自分の考えを的確に表現できるかという点を重視して評価します。
		特別支援教育コース		集団活動	1グループ50分程度で課題について集団で活動を行います。高等学校等卒業程度に求められる国内外の様々な事象について課題を課し、本コースで学ぶために必要な能力(分析力、表現力及びコミュニケーション能力)並びに特別支援学校教諭としての適性をみることを主眼とします。集団活動は6～8人程度で行います。ただし、受験者数により変更する場合があります。
		養護教諭養成課程		小論文※2	教育学部で学ぶのに必要な日本語の基礎的能力(読解力、表記能力、表現力など)及び論理的思考力をみることを主眼とします。併せて教育に関する興味、関心、姿勢などについて論述させます。字数は800字程度です。
				プレゼンテーション	課題に対して15分で発表メモを作成し、順番に発表してもらいます。発表時間は3分程度とし、正式な時間は試験当日に指示します。全員の発表を聞いた後に、発表課題に関連した課題を提示し400字程度で記述させます。高等学校等卒業程度に求められる課題を課し、養護教諭に対する強い志向と本課程で学ぶために必要な能力(自己を表現する力、豊かな感性、聞く力、共感的理解力など)を総合的に評価します。

※2 教育学部(前期日程)の個別学力検査で課す「小論文」は、教育学部内で共通の試験問題です。(社会選修を除く)

学部	学科・課程等	個別学力検査等	出題意図
理学部	数学・情報数理コース	数学 ※5	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学Bを出題範囲とし，理学部の専門教育の修得に必要な基礎学力，論理的思考力などを評価する問題を出题します。 また，数学Bに関しては，次のとおり内容を指定します。 【数学B（数列，ベクトル）】
	物理学コース		
	化学コース	理科 (物理)	p.22の《教育学部，理学部，工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。
	生物科学コース	理科 物理 } 化学 } 生物 } から1科目 選択	物理，化学，生物のうち，出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお，各科目の出題意図については，p.22の《教育学部，理学部，工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。
	地球環境科学コース 学際理学コース	理科 物理 } 化学 } 生物 } 地学 } から1科目 選択	物理，化学，生物，地学のうち，出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお，各科目の出題意図については，p.22の《教育学部，理学部，工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。
工学部	機械システム工学科 電気電子システム工学科 都市システム工学科	数学 ※6	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学Bを出題範囲とし，工学部における専門教育の修得に必要な計算力及び論理的思考力を評価する問題を出题します。 また，数学Bに関しては，次のとおり内容を指定します。 【数学B（数列，ベクトル）】
		理科 (物理)	p.22の《教育学部，理学部，工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。
		外国語 (英語) ※1	コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。
	物質科学工学科 情報工学科	数学 ※6	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学Bを出題範囲とし，工学部における専門教育の修得に必要な計算力及び論理的思考力を評価する問題を出题します。 また，数学Bに関しては，次のとおり内容を指定します。 【数学B（数列，ベクトル）】
		理科 物理 } 化学 } 生物 } から1科目 選択	物理，化学，生物のうち，出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお，各科目の出題意図については，p.22の《教育学部，理学部，工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。
	外国語 (英語) ※1	コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。	

※1 前日程における人文社会科学部，工学部，農学部及び地域未来共創学環『外国語（英語）選択』の個別学力検査で課す「外国語（英語）」は，共通の試験問題です。

※5 理学部（前日程）の個別学力検査で課す「数学」は，理学部内で共通の試験問題です。

※6 工学部（前日程）の個別学力検査で課す「数学」は，工学部内で共通の試験問題です。

学部	学科・課程等	個別学力検査等	出題意図	
農学部	食生命科学科	外国語 (英語) ※1	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。	
		理科 化学 生物 から1科目 選択	化学, 生物のうち, 出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお, 各科目の出題意図については, 下記の《教育学部, 理学部, 工学部及び農学部の前期日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。	
	地域総合農学科	農業科学コース	外国語 (英語) ※1	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。
			理科 化学 生物 から1科目 選択	化学, 生物のうち, 出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお, 各科目の出題意図については, 下記の《教育学部, 理学部, 工学部及び農学部の前期日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。
	地域共生コース	外国語 (英語) ※1	外国語 (英語) ※1	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。
			理科 物理 化学 生物 から1科目 選択	物理, 化学, 生物のうち, 出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお, 各科目の出題意図については, 下記の《教育学部, 理学部, 工学部及び農学部の前期日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。
地域未来共創学環		数学 ※4 外国語 (英語) ※1 から1教科 選択	数学, 外国語(英語)のうち, 出願時に届け出た1教科について解答させます。 ・数学 数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学Bを出題範囲とし, 高等学校数学についての基礎的な知識と問題解決力, 論理的思考力, 表現力, 記述力などを評価する問題を出題します。 また, 数学Bに関しては, 次のとおり内容を指定します。 【数学B(数列, ベクトル)】 ・外国語(英語) コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。	
		面接	個人面接(10分程度)で行います。志望動機, 本学環で学ぶことへの学習意欲, 地域課題への関心などをみることを主眼とします。	

※1 前期日程における人文社会学部, 工学部, 農学部及び地域未来共創学環『外国語(英語)選択』の個別学力検査で課す「外国語(英語)」は, 共通の試験問題です。

※4 前期日程における教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース理数教育系数学選択と地域未来共創学環『数学選択』の個別学力検査で課す「数学」は, 共通の試験問題です。

《教育学部, 理学部, 工学部及び農学部の前期日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》
「理科」は, それぞれの科目を課す学部・学科等間で共通の試験問題です。

科目	出題意図
物理	物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とし, 学部の専門教育の修得に必要な基礎学力, 論理的思考力などを評価する問題を 出題します。
化学	化学基礎, 化学の全内容を出題範囲とし, 学部の専門教育の修得に必要な基礎学力, 論理的思考力などを評価する問題を 出題します。
生物	生物基礎, 生物の全内容を出題範囲とし, 学部の専門教育の修得に必要な基礎学力, 論理的思考力などを評価する問題を 出題します。
地学	地学基礎, 地学の全内容を出題範囲とし, 学部の専門教育の修得に必要な基礎学力, 論理的思考力などを評価する問題を 出題します。

○後期日程

学部	学科・課程等		個別学力検査等	出題意図	
人文社会科学部	現代社会学科 法律経済学科		外国語(英語) ※7	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。	
	人間文化学科		小論文	人間文化学科で学ぶために必要な日本語の基礎的能力(読解力, 表記能力, 表現力など)および論理的思考力をみることを主眼とします。 ひろく人文科学に関連するまとまった内容をもつ文章等を示し, それについてのいくつかの設問に解答させます。解答は合計600~800字程度です。	
教育学部	学校教育教員養成課程	教育実践科学コース		面接	個人面接(10分程度)で行います。高等学校等までの学習で理解できる学校教育, 特に学校のあり方や様々な教育問題に関する知識について, その内容をどの程度理解しているか, また自分の考えを的確に表現できるかという点を重視して評価します。
		言語・社会教育系	国語選修	面接	個人面接(約10分)で行います。志望動機, 教育・国語教育に対する関心, 学習意欲, 表現力などをみることを主眼とします。
			社会選修	面接	個人面接(10分程度)で行います。志望動機, 教育・社会科教育に対する関心, 学習意欲などをみることを主眼とします。なお, 履修した地理歴史科・公民科の学習内容についての質疑応答を含みます。
			英語選修	面接	個人面接(15分程度)で行います。学習意欲, 日本語及び英語の表現力などをみることを主眼とします。なお, 英語による質疑応答も含みます。
		理数教育系	数学選修	面接	個人面接(5分程度)で行います。志望動機, 表現力, 数学教育に対する学習意欲などをみることを主眼とします。
			理科選修	面接	個人面接(5分程度)で行います。志望動機, 表現力, 理科及び理科教育に対する知識・関心, 学習意欲などをみることを主眼とします。
		音楽教育系	音楽選修	実技検査(音楽)	共通課題を課すとともに, 各人の希望する選択課題を課します。課題については, p.27~28に示します。音楽の基礎的能力と表現力をみることを主眼とします。
				面接	個人面接(5~10分程度)で行います。志望動機, 意欲, 適性, 将来性, コミュニケーション能力等をみることを主眼とします。
		美術教育系	美術選修	面接	個人面接(15分程度)で行います。志望理由, 意欲, 適性, 将来性, コミュニケーション能力, 高等学校等での学習状況をみることを主眼とします。
		保健体育教育系	保健体育選修	面接	個人面接(10分程度)で行います。志望動機, 学習意欲, 保健体育教育に関わる知識や運動技能を問うとともに, これまで取り組んできた競技経験等について, 的確に伝えることができるかという点を重視して評価します。
運動特技に関する調書	体育実技の能力あるいは活動の実績をみることを主眼とします。提出方法については, p.28に示します。				

※7 人文社会科学部, 工学部及び農学部(後期日程)の個別学力検査で課す「外国語(英語)」は, 3学部共通の試験問題です。

学部	学科・課程等		個別学力検査等	出題意図	
教育学部	学校教育教員養成課程	技術教育系	技術選修	面接	個人面接（10分程度）で行います。志望動機、技術教育に対する関心、学習意欲、表現力などについて、自分の考えや取り組んできたことなどを的確に伝えることができるかという点を重視して評価します。
		生活科学教育系	家庭選修	面接	個人面接（10分程度）で行います。志望動機、家庭科教育に対する関心・学習意欲などをみるとともに、衣食住、家族・子ども、消費生活・環境など家庭科に関する知識について、その内容をどの程度理解しているか、また自分の考えを的確に表現できるかという点を重視して評価します。
		特別支援教育コース		面接	個人面接（10分程度）で行います。志望動機や障害児・者と関わった経験などを中心に質問し、ことばによる表現力や、本コースで学ぶことへの意欲などを評価します。
	養護教諭養成課程		面接	集団面接（1グループ50分程度）で課題についての討論と質疑を行います。高等学校等卒業程度に求められる国内外の自然的、人間的及び社会的諸事象に関する課題を課し、本課程で学ぶのに必要な能力（分析力、判断力、論理構成力、表現力、コミュニケーション能力）及び養護教諭としての適性をみることを主眼とします。集団面接は4～8人程度で行います。ただし、受験者数により変更する場合があります。	
理学部	理学科	数学・情報数理コース		数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bを出題範囲とし、数学・情報数理コースの専門教育の修得に必要な基礎学力、論理的思考力などを評価する問題を出題します。 また、数学Bに関しては、次のとおり内容を指定します。 【数学B（数列、ベクトル）】
		物理学コース		総合問題	下記の《理学部の後期日程で課す個別学力検査「総合問題」及び「理科」の出題意図》に示します。
		化学コース		理科（化学）	下記の《理学部の後期日程で課す個別学力検査「総合問題」及び「理科」の出題意図》に示します。
		生物科学コース		総合問題 理科(化学) 理科(生物) から1科目 選択	総合問題、化学、生物のうち、出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお、各科目の出題意図については、下記の《理学部の後期日程で課す個別学力検査「総合問題」及び「理科」の出題意図》に示します。
		地球環境科学コース 学際理学コース		総合問題 理科(化学) 理科(生物) 理科(地学) から1科目 選択	総合問題、化学、生物、地学のうち、出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお、各科目の出題意図については、下記の《理学部の後期日程で課す個別学力検査「総合問題」及び「理科」の出題意図》に示します。

《理学部の後期日程で課す個別学力検査「総合問題」及び「理科」の出題意図》
「総合問題」及び「理科」は、理学部内で共通の試験問題です。

科目	出題意図
総合問題	数学の問題（計算問題を含む）と物理の問題からなる、理学部の専門教育の修得に必要な基礎学力、論理的思考力などを評価する問題を出題します。 出題範囲は、「数学」：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（数列、ベクトル）とし、「物理」：物理基礎、物理の全内容とします。
化学	化学基礎、化学の全内容を出題範囲とし、理学部の専門教育の修得に必要な基礎学力、論理的思考力などを評価する問題を出題します。
生物	生物基礎、生物の全内容を出題範囲とし、理学部の専門教育の修得に必要な基礎学力、論理的思考力などを評価する問題を出題します。
地学	地学基礎、地学の全内容を出題範囲とし、理学部の専門教育の修得に必要な基礎学力、論理的思考力などを評価する問題を出題します。

学部	学科・課程等		個別学力検査等	出題意図
工学部	機械システム工学科 電気電子システム工学科 物質科学工学科 情報工学科 都市システム工学科		数学 ※8	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学Bを出題範囲とし，工学部における専門教育の修得に必要な計算力及び論理的思考力を評価する問題を出題します。 また，数学Bに関しては，次のとおり内容を指定します。 【数学B（数列，ベクトル）】
			外国語 （英語） ※7	コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。
農学部	食生命科学科		外国語 （英語） ※7	コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。
	地域総合農学科	農業科学コース 地域共生コース		
地域未来共創学環			面接	個人面接（15分程度）で行います。志望動機，本学環で学ぶことへの学習意欲，地域課題への関心などをみることを主眼とします。面接の内容には5分程度の自己PRを含みます。自己PRは口頭のみで実施し，資料等の提出や提示は求めません。

※7 人文社会科学部，工学部及び農学部（後期日程）の個別学力検査で課す「外国語（英語）」は，3学部共通の試験問題です。

※8 工学部（後期日程）の個別学力検査で課す「数学」は，工学部内で共通の試験問題です。

○主体性評価

学力の3要素の一つである「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について、本学ではすべての受験者に対し、次のように評価します。

①面接等を実施しない場合は、受験者の自己申告によるチェックシートを、調査書も参考にして評価し、段階評価で点数化して、その配点は全学共通で50点とします。なお、調査書に記載されていない事項が入力されている場合でも、チェックシートを尊重して評価します。

※出願資格により調査書の提出が不要である者や、事情により調査書の提出ができない者は、チェックシートのみ入力してください。チェックシートのみでの評価により不利になることはありません。

※チェックシートにある「高校（中等教育学校後期課程）時代」について、高校に相当する学校等に在籍していない（していなかった）者又は卒業から相当年数が経過している者等は、出願から遡って3年程度の期間に最も学びに向き合ったものを一つ選んで入力してください。

②面接等を実施する場合は、その中で評価します。

本学では、令和3年度入学者選抜から主体性評価を導入しています。導入の経緯や主体性評価に対する考え方については、本学ホームページ (<https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/2021exam/>) の「主体性評価について」をご覧ください。

令和6年度（2024年度）入学者選抜における主体性評価について

茨城大学では、学生一人ひとりが主体的に学びに向き合い、振り返りによって学びを改善しながら成長する「学びのプロセス」を大変重視しています。このような考え方に基づき、大学入学者選抜の「面接等を課さない一般選抜」では、以下の方法により主体性評価を行います。

受験者には、高校（中等教育学校後期課程）時代に最も熱心に学びに向き合ったものを自己申告により一つだけ選択した上で、その学びに関する振り返り等について、チェックシートを作成し、Web上で提出してもらいます。本学はインターネット出願なので、出願時に提出書類の一つとしてチェックシートを入力してもらいます。同時にポートフォリオ等の提出は求めず、従来から提出してもらっている調査書も参考にして、このチェックシートで主体性を50点満点で段階評価します。なお、調査書に記載されていない事項が入力されている場合でも、チェックシートを尊重して評価しますので、受験者自身の考えに従ってチェックシートに入力してください。

下記の項目 (1) から (4) のすべてについて、自分の判断でチェックをつけて、必要事項を入力してください。

(1) あなたが高校（中等教育学校後期課程）時代に、最も熱心に学びに向き合ったものを一つだけ選んでチェックしてください。さらに下の例にならって、具体的な事項を一つ簡潔に入力してください。

例：学習活動（英語学習）、部活動・ボランティア活動（野球部）、生徒会・学校行事等（文化祭実行委員会）、その他の活動（アメリカ ボストンに4週間留学）、取得した資格・獲得した賞（数学検定2級）

- | | | |
|-----------------|---|---|
| 1. 学習活動 | (|) |
| 2. 部活動・ボランティア活動 | (|) |
| 3. 生徒会・学校行事等 | (|) |
| 4. その他の活動 | (|) |
| 5. 取得した資格・獲得した賞 | (|) |

(2) (1) で選択した学びに対して、単に向き合うだけでなく「振り返り」を行うことができましたか。一つ選んでチェックしてください。

1. 大いにできた 2. 少しできた 3. 全くできなかった

(3) [(2) の回答が1か2の場合] 振り返りによって、その学びを改善することができましたか。一つ選んでチェックしてください。

1. 大いにできた 2. 少しできた 3. 全くできなかった

(4) その学び全体をとおして、主体性を高め、成長することができましたか。一つ選んでチェックしてください。

1. 大いにできた 2. 少しできた 3. 全くできなかった

注：「振り返り」とは

自分が行った学びについて省みることにより、問題点や改善の方法等について考えること。

○教育学部実技検査等の課題

① 音楽

- ◇ 学校教育教員養成課程（教科教育コース 音楽教育系 音楽選修）＜前期日程・後期日程＞
音楽の基礎的能力と表現力をみることを主眼とします。
課題は以下のとおりとします。

1. 共通課題（全員受験すること。楽譜を見て演奏してもよい）																															
1) ソルフェージュ	ア) 聴音 8小節の単旋律を書き取らせる。 イ) コールユーブンゲン第1巻原書番号48番から71番中、当日1曲を指定する。 ただし、数字譜及び音階練習は除く。唱法は、移動ド唱法又は固定ド唱法とする。																														
2) 声楽・ピアノ練習曲	<p>〈声楽練習曲〉</p> <p>ア) 声楽練習曲1（「2. 選択課題」からA, C, D, Eを選んだ者） 「コンコーネ50番練習曲 作品9」より 3, 7, 10番の3曲中、1曲を当日指定する。ただし、母音ア又はオで歌うこと。中、低声用のいずれでもよい。 伴奏は本学で用意する。</p> <p>イ) 声楽練習曲2（「2. 選択課題」からBを選んだ者） 「コンコーネ50番練習曲 作品9」より 20, 23番の2曲中、1曲を当日指定する。ただし、母音ア又はオで歌うこと。中、低声用のいずれでもよい。 伴奏は本学で用意する。</p> <p>〈ピアノ練習曲〉</p> <p>ア) ピアノ練習曲1（「2. 選択課題」からB, C, D, Eを選んだ者） 「ツェルニー30番練習曲 作品849」より19番変ロ長調、20番ハ長調の2曲中、任意の1曲を演奏する。</p> <p>イ) ピアノ練習曲2（「2. 選択課題」からAを選んだ者） 「クラマー=ビューロー60練習曲」より35番ホ短調、42番変ロ長調の2曲中、任意の1曲を演奏する。</p>																														
2. 選択課題（次のA, B, C, D, Eのいずれか一つを選択し、暗譜で演奏する）																															
A. ピアノ	<table border="0"> <tr> <td>ハイドン 作曲</td> <td>ソナタ</td> <td>嬰ハ短調</td> <td>Hob. XVI-36</td> <td>第1楽章</td> </tr> <tr> <td>モーツァルト 作曲</td> <td>ソナタ</td> <td>ハ長調</td> <td>K. 309</td> <td>第1楽章</td> </tr> <tr> <td>ベートーヴェン 作曲</td> <td>ソナタ</td> <td>ハ長調</td> <td>Op. 10-2</td> <td>第1楽章</td> </tr> <tr> <td>ベートーヴェン 作曲</td> <td>ソナタ</td> <td>変ホ長調</td> <td>Op. 31-3</td> <td>第1楽章</td> </tr> <tr> <td>ベートーヴェン 作曲</td> <td>ソナタ</td> <td>ハ長調</td> <td>Op. 54</td> <td>第1楽章</td> </tr> <tr> <td>ベートーヴェン 作曲</td> <td>ソナタ</td> <td>嬰ハ長調</td> <td>Op. 78</td> <td>第1楽章</td> </tr> </table> <p>以上6曲中、任意の1曲を演奏する。</p>	ハイドン 作曲	ソナタ	嬰ハ短調	Hob. XVI-36	第1楽章	モーツァルト 作曲	ソナタ	ハ長調	K. 309	第1楽章	ベートーヴェン 作曲	ソナタ	ハ長調	Op. 10-2	第1楽章	ベートーヴェン 作曲	ソナタ	変ホ長調	Op. 31-3	第1楽章	ベートーヴェン 作曲	ソナタ	ハ長調	Op. 54	第1楽章	ベートーヴェン 作曲	ソナタ	嬰ハ長調	Op. 78	第1楽章
ハイドン 作曲	ソナタ	嬰ハ短調	Hob. XVI-36	第1楽章																											
モーツァルト 作曲	ソナタ	ハ長調	K. 309	第1楽章																											
ベートーヴェン 作曲	ソナタ	ハ長調	Op. 10-2	第1楽章																											
ベートーヴェン 作曲	ソナタ	変ホ長調	Op. 31-3	第1楽章																											
ベートーヴェン 作曲	ソナタ	ハ長調	Op. 54	第1楽章																											
ベートーヴェン 作曲	ソナタ	嬰ハ長調	Op. 78	第1楽章																											
B. 声楽	<p>A. スカルラッチェ 作曲 Se tu della mia morte ハ短調</p> <p>山田 耕筰 作曲 鐘がなります ト長調</p> <p>中山 晋平 作曲 ゴンドラの唄 ハ長調（1, 2番のみ）</p> <p>以上3曲中、任意の1曲を歌うこと。ただし、調子は指定のものとし、歌詞は原語とする。伴奏は本学で用意する。</p>																														
C. 管楽器	<p>楽器はフルート、オーボエ、クラリネット、サキソフォーン、ファゴット、トランペット、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバの中より、一つを選択すること。</p> <p>5分程度の任意の楽曲を1曲演奏する。伴奏はつけない。</p> <p>※ 楽器は当日各自持参すること。楽譜（パート譜が望ましい）は、氏名及び楽器名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を<u>出願書類と併せて提出</u>すること。</p>																														
D. 弦楽器	<p>楽器はヴァイオリン又はチェロのいずれかを選択すること。</p> <p>5分程度の任意の楽曲を1曲演奏する。伴奏はつけない。</p> <p>※ 楽器は当日各自持参すること。楽譜（パート譜が望ましい）は、氏名及び楽器名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を<u>出願書類と併せて提出</u>すること。</p>																														

E. 打楽器	楽器はマリンバとする。 5分程度の任意の楽曲を1曲演奏する。伴奏はつけない。 ※ マリンバ（F～Fの5オクターヴ）は本学で用意するが、マレットは当日各自持参すること。楽譜は、氏名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を出願書類と併せて提出すること。
--------	---

- (注意) 1. 共通課題及び選択課題は、曲の一部の省略を求めることがあります。
 なお、繰り返しは省略します。
 2. 入学後、選択課題と同一の研究分野を引き続き履修できるとは限りません。

② 美術

◇ 学校教育教員養成課程（教科教育コース 美術教育系 美術選修）＜前期日程＞

実技資料3点（デッサン作品2点、美術作品1点）を出願時に提出してください。

デッサン作品は、モチーフ等の描画対象は問いません。また、作品サイズや紙・描画材等は指定しませんが、梱包して送付、移動が可能なものに限りません。

美術作品は絵画、彫刻、工芸、デザインのいずれかの領域に属する成果物とします。また、作品の大きさや重さ及び素材の制限はありません。ただし、梱包して送付、移動が可能なものとします。

※美術作品についての特例事項

送付、移動が困難な作品の場合は、A4サイズの写真で提出してください。

平面作品の場合は、全体と部分（ディテール）の2枚、立体作品の場合は、全体3方向（正面と他の2方向）と部分（ディテール）の4枚を提出してください。

その他、送付、移動の際に破損の恐れのある作品の場合、また、安全管理及び保健衛生上支障のある作品の場合は、大きさを問わず写真で提出してください。

③ 体育

◇ 学校教育教員養成課程（教科教育コース 保健体育教育系 保健体育選修）＜前期日程・後期日程＞

＜運動特技に関する調書＞

「運動特技に関する調書」を出願時に提出してください。なお、「運動特技に関する調書」は、志願者の運動特技について出身学校の担当者（保健体育主任又は担当顧問教員等の指導的な立場にある者）が責任をもって記入してください。ただし、やむをえず出身学校の担当者に調書を記入してもらえない場合は、志願者が調書に記入してもかまいません。その場合、志願者本人が出身学校の担当者に調書を記入してもらえない理由を明記した書類（任意様式）を作成の上、添付してください。

また、競技経験等のうち競技成績を裏付ける客観的な資料を添付してください。ここでの運動特技は志願者本人のプレーヤーとしての競技実績（*）を指し、マネージャーやアシスタントコーチといったサポートスタッフ等としての貢献は運動特技に含みません。

（*）団体競技などチームで行う活動の場合は、チームの競技実績に加え、チーム内における志願者本人の役割・実績等を具体的に記入してください。

◇ 学校教育教員養成課程（教科教育コース 保健体育教育系 保健体育選修）＜前期日程＞

＜基礎的身体能力テスト＞

以下の領域をすべて受験してください。

領域	課題
体づくり運動	〈立幅跳〉両足を揃えた状態から水平に跳躍した距離を測定する。 〈往復走〉20m区間を3分間で往復した回数を測定する。
器械運動	開脚前転と伸膝後転の2種目を実施する。
ボール運動	卓球ボールを、口径約6.5cm、長さ約38.5cmの筒（バドミントンのシャトルケース）でキャッチする。バレーボールのネットを越えて飛んできたボールを、右手で4回、左手で4回キャッチする。受験者は筒の中央を持つこととする。
表現運動	約60秒のリズムダンスを行う。受験者は当日に課題を与えられ、10分の練習の後に試験を実施する。

- (注意) 1. 運動に適した服装で来場してください。なお、学校名や氏名がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
 2. 必ず屋内用の運動靴を持参してください。

○工学部の個別学力検査の外国語（英語）における英語資格・検定試験のみなし得点

工学部一般選抜（前期日程及び後期日程）の個別学力検査の外国語（英語）において、本学が指定する英語資格・検定試験を受験している場合には、その成績をみなし得点に換算して、本学で実施する個別学力検査の外国語（英語）の点数と総合して評価します。具体的には下記の2つを比較して高い方の点数を外国語（英語）の得点とします。

- ①（【みなし得点の点数】＋【本学で実施する個別学力検査の外国語（英語）の点数】）÷2
- ②【本学で実施する個別学力検査の外国語（英語）の点数】

ただし、みなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の外国語（英語）を受験しなかった者は欠席者となり、合否判定の対象とはなりませんので、個別学力検査の外国語（英語）を必ず受験してください。
英語資格・検定試験のみなし得点換算表は、以下のとおりです。

《英語資格・検定試験のみなし得点換算表（工学部一般選抜）》

みなし得点	CEFR	ケンブリッジ英語検定（※1）	実用英語技能検定（※2）	GTEC（※3）	IELTS（※4）	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT（※5）	TOEIC L&R / TOEIC S&W（※6）（※7）
100点	C2 C1 B2	160以上	2300以上	1180以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	1560以上
90点	B1	140以上	1950以上	930以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上
70点	A2-3	130以上	1825以上	820以上	—	180以上	328以上	—	888以上
60点	A2-2	125以上	1763以上	755以上	—	158以上	281以上	—	756以上
50点	A2-1	120以上	1700以上	680以上	—	135以上	235以上	—	625以上
30点	A1-2	110以上	1550以上	470以上	—	—	—	—	473以上
10点	A1-1	100以上	1400以上	260以上	—	—	—	—	320以上

以上の全ての英語資格・検定試験については、令和3年度（2021年度）以降に受験した成績で、かつ、出願期間最終日に有効なオフィシャルスコアに限ります。また、出願時にスコア証明書等の写しの提出を求めます。複数の英語資格・検定試験の成績を有している場合は、換算後の得点が最も高くなる1つを提出してください。

- （※1）ケンブリッジ英語検定では、「リングスキル（4技能CBT）」の受験成績は利用できません。
- （※2）実用英語技能検定については、従来型の「英検」（本会場実施、準会場実施）に加え、「英検S-CBT」の成績も利用できます。
- （※3）GTEC（Core／Basic／Advancedタイプ及びCBTタイプ）の成績は、オフィシャルスコアのみを認めます（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。
- （※4）IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。
- （※5）TOEFL iBTにおいて、「My Best スコア」は利用できません。
- （※6）TOEIC（L&R/S&W）は、「公開テスト」を受験した成績に限ります。
- （※7）TOEIC L&R（990点満点）/TOEIC S&W（400点満点）については、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを利用します。なお、TOEIC L&RとTOEIC S&Wのうち、1つのみを受験し表中の得点を取得している場合も利用できることとします。

(3) 成績評価及び合否判定

「(1) 入学者選抜の実施教科・科目及び配点等」(p. 3～18)により、大学入学共通テスト及び一般選抜前期・後期日程の個別学力検査等の成績を総合して評価します。

本学の各学部、学科・課程等が課す個別学力検査等のうち一つでも受験しなかった者は、合否判定の対象とはなりません。

- 個別学力検査等は、p. 19～25の「出題意図」に基づき評価します。
- 同点者は同順位とし、特定科目の成績を重視したり、特定科目に最低点(いわゆる足きり点)を設けたりすることはありません。
- 前期日程の「理科」で選択科目を課す学科、選修において、科目間で著しい平均点差が生じた場合には、得点を調整することがあります。
- 後期日程の理学部理学科(物理学コース/化学コース/生物科学コース/地球環境科学コース/学際理学コース)において、科目間で著しい平均点差が生じた場合には、得点を調整することがあります。
- 後期日程の農学部地域総合農学科は、コース別ではなく学科全体で合否判定を行います。

(4) 理学部(後期日程)及び工学部(後期日程)の第2志望制について

1) 理学部の第2志望制

① 出願に関する留意事項

ア) 後期日程の理学部(数学・情報数理コースを除く)への出願にあたっては、第1志望とするコースの他に第2志望のコースを選択し出願することができます。

ただし、下表の組み合わせのとおり、**第1志望・第2志望のどちらかは学際理学コースを選択している必要があります。**

・第1志望コースと第2志望コースの組み合わせ

○の組み合わせのみ出願することができます。×の組み合わせで出願することはできません。

第1志望コース \ 第2志望コース	数学・情報数理コース	物理学コース	化学コース	生物科学コース	地球環境科学コース	学際理学コース
数学・情報数理コース		×	×	×	×	×
物理学コース	×		×	×	×	○
化学コース	×	×		×	×	○
生物科学コース	×	×	×		×	○
地球環境科学コース	×	×	×	×		○
学際理学コース	×	○	○	○	○	

イ) 第2志望まで選択する場合は、**第1志望・第2志望の両方のコースにおいて、出願要件を満たす必要があります。**

(注) 個別学力検査の受験科目に関して、下表のとおり、第1志望・第2志望の両方のコースの出願要件を満たす科目を選択しなければ出願することはできません。

・第2志望コースまで選択する場合における個別学力検査の選択科目

第1・第2志望コースの組み合わせ	個別学力検査の選択科目
「物理学コース」と「学際理学コース」	総合問題
「化学コース」と「学際理学コース」	化学
「生物科学コース」と「学際理学コース」	総合問題, 化学, 生物のいずれか
「地球環境科学コース」と「学際理学コース」	総合問題, 化学, 生物, 地学のいずれか

ウ) 第2志望のコースを選択しないこともできます(選択しない場合でも不利益等が生じることはありません)。

② 合否判定の方法について

理学部(数学・情報数理コースを除く)の受験者全員を成績順に並べ、成績上位者から順に各コースの予定合格者数を充たすまで合格者を選考します。

受験者の順位が第1志望とするコースの予定合格者数の範囲内の場合、受験者は当該コースに合格となります。また、第1志望とするコースの予定合格者数がすでに充たされており、かつ、第2志望とするコースの予定合格者数が充たされていない場合、受験者は第2志望としたコースでの合格となります。

③ 第2志望コースに合格した者への注意事項

第2志望コースに合格した者は、入学手続期間終了時において第1志望コースの入学手続完了者が募集人員に満たなかった場合でも、入学するコースを第1志望コースに変更することはできません。

2) 工学部の第2志望制

① 出願に関する留意事項

- ア) 後期日程の工学部へのお出願にあたっては、同学部内において第1志望とする学科の他に第2志望の学科を選択し出願することができます。
- イ) 第2志望の学科を選択する場合でも、出願資格の判断は第1志望の学科の要件で行います。
(注) 大学入学共通テストの受験教科・科目に関しては、第1志望の学科において指定する出願要件を満たしていれば、第2志望の学科における出願要件を満たしていない場合でも、当該第2志望の学科を選択することができます。
- ウ) 第2志望の学科を選択しないこともできます(選択しない場合でも不利益等が生じることはありません)。

② 合否判定の方法について

工学部受験者の成績は、第1志望とした学科における成績をそのまま利用します。
受験者全員を成績順に並べ、成績上位者から順に各学科の予定合格者数を充たすまで合格者を選考します。
受験者の順位が第1志望とする学科の予定合格者数の範囲内の場合、受験者は当該学科に合格となります。
また、第1志望とする学科の予定合格者数がすでに充たされており、かつ、第2志望とする学科の予定合格者数が充たされていない場合、受験者は第2志望とした学科での合格となります。

③ 第2志望学科に合格した者への注意事項

第2志望学科に合格した者は、入学手続期間終了時において第1志望学科の入学手続完了者が募集人員に満たなかった場合でも、入学する学科を第1志望学科に変更することはできません。

(5) 追加合格及び欠員補充第2次募集

入学手続完了者が入学定員に満たない等の場合は、追加合格又は欠員補充第2次募集を実施することがあります。

(6) 「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しています。

1. 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります(必ず使用するとは限りません)。
2. 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、本学ホームページで公表します。
3. 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、「入試過去問題活用宣言」のホームページ【<https://www.nyushikakomon.jp/>】にて公表しています。

Ⅲ. 学校推薦型選抜（一般推薦，専門高校推薦）

1. 選抜日程

次の日程で試験を実施します。

出願期間	令和5年11月1日（水）から11月6日（月）まで
試験期日	令和5年11月25日（土）
合格者発表日	令和5年12月8日（金）

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、合格した場合に必ず入学することを確約できる者としてします。

- ① 高等学校（中等教育学校を含む）を令和6年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を令和6年3月修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を、令和5年4月から令和6年3月までに修了又は修了見込みの者

※ただし、以下の学部・学科等については、

- ①、②にあつては令和5年3月以降に卒業又は修了した者
 - ③にあつては令和4年4月から令和5年3月までに修了した者
- を含めます。

- ・人文社会科学部（全学科）
- ・農学部（全学科）

※専門高校推薦の出願資格については、p.46～50の「出願要件」欄に示します。

3. 出願要件・選抜方法等

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、次のとおり行います。

本学の各学部、学科・課程等が課す小論文、面接、プレゼンテーション及び実技検査等の結果を総合して評価します。

なお、本学の各学部、学科・課程等が課す小論文、面接、プレゼンテーション及び実技検査等のうち一つでも受験しなかった者は、合否判定の対象とはなりません。

(1) 一般推薦

1) 人文社会科学部

①出願要件

学部	学科	出願要件
人文社会科学部	現代社会科学科	<p>学力、人物ともに優れ、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、現代社会科学科の教育研究分野を真摯に学習する意欲があり、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数は、1校につき3人までとします。</p> <p>※ 英語資格・検定試験及びその他の資格・検定試験（p.34参照）は出願要件ではありませんので、それらの成績を取得していなくても出願することができます。</p>
	法律経済学科	<p>学力、人物ともに優れ、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、法律経済学科の教育研究分野を真摯に学習する意欲があり、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数に制限はありません。</p> <p>※ 英語資格・検定試験及びその他の資格・検定試験（p.34参照）は出願要件ではありませんので、それらの成績を取得していなくても出願することができます。</p>
	人間文化学科	<p>学力、人物ともに優れ、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、人間文化学科の教育研究分野を真摯に学習する意欲があり、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数は、1校につき3人までとします。</p> <p>※ 英語資格・検定試験（p.34参照）は出願要件ではありませんので、それらの成績を取得していなくても出願することができます。</p>

②選抜方法

学部	学科	選抜方法等
人文社会科学部	現代社会学科	<p>調査書，小論文及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈調査書〉 調査書全体の内容を評価します（資格・検定試験を含む）。</p> <p>※ 現代社会学科で評価する資格・検定試験の詳細は，次ページの別表を参照してください。</p> <p>〈小論文〉（※1） 現代社会学科で学ぶために必要な基礎的能力（読解力，表記能力，論理的思考力，表現力など）をみるために，ひろく社会科学に関連するまとまった内容をもつ英文を示し，それについてのいくつかの日本語による設問に日本語で解答させます。解答は合計600字から800字程度です。</p> <p>〈面接〉 個人面接とし，1人あたり10～15分間程度を予定しています。調査書・志願理由書をもとに，高等学校等での授業外の活動経験（※2），志望動機，現代社会学科の教育研究分野への学習意欲・適性等をみます。さらに，これらに関する表現力もみます。</p>
	法律経済学科	<p>調査書，小論文及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈調査書〉 調査書全体の内容を評価します（資格・検定試験を含む）。</p> <p>※ 法律経済学科で評価する資格・検定試験の詳細は，次ページの別表を参照してください。</p> <p>〈小論文〉（※1） 法律経済学科で学ぶために必要な基礎的能力（読解力，表記能力，論理的思考力，表現力など）をみるために，ひろく社会科学に関連するまとまった内容をもつ英文を示し，それについてのいくつかの日本語による設問に日本語で解答させます。解答は合計600字から800字程度です。</p> <p>〈面接〉 個人面接とし，1人あたり10～15分間程度を予定しています。調査書・志願理由書をもとに，高等学校等での授業外の活動経験（※2），志望動機，法律経済学科の教育研究分野への学習意欲・適性等をみます。さらに，これらに関する表現力もみます。</p>
	人間文化学科	<p>調査書，小論文及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈調査書〉 調査書全体の内容を評価します（資格・検定試験を含む）。</p> <p>※ 人間文化学科で評価する資格・検定試験の詳細は，次ページの別表を参照してください。</p> <p>〈小論文〉 人間文化学科で学ぶために必要な基礎的能力（読解力，表記能力，論理的思考力，表現力など）をみるために，ひろく人文科学に関連するまとまった内容をもつ文章等を示し，それについてのいくつかの設問に解答させます。解答は合計600字程度です。</p> <p>〈面接〉 個人面接とし，1人あたり10～15分間程度を予定しています。調査書・志願理由書をもとに，高等学校等での授業外の活動経験（※2），志望動機，人間文化学科の教育研究分野への学習意欲・適性等をみます。さらに，これらに関する表現力もみます。</p>

（※1）人文社会科学部現代社会学科及び法律経済学科で課す「小論文」は，両学科で共通の試験問題です。

（※2）「授業外の活動経験」には，生徒会役員等としての活動，部活動，ボランティア活動，留学・海外経験等，取得資格・検定等，表彰・顕彰等，その他の記録が該当します。

<別表>

○人文社会科学部 各学科で評価する資格・検定試験の内訳

評価する資格・検定試験の成績は，高等学校等入学以降，出願時点までに受験した成績に限ります。また，出願時に，スコア証明書等の写しの提出を求めます。

学科	英語資格・検定試験	その他の資格・検定試験	摘要
現代社会学科	○	○	「英語資格・検定試験」，「その他の資格・検定試験」それぞれを評価します。
法律経済学科	○		「英語資格・検定試験」，「その他の資格・検定試験」の内，1つを評価します。
人間文化学科	○	×	「英語資格・検定試験」のみを評価します。

評価する資格・検定試験の成績は以下のとおりです。

[英語資格・検定試験]

<全学科共通>

CEFR	ケンブリッジ英語検定(※1)	実用英語技能検定(※2)	GTEC(※3)	IELTS(※4)	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT(※5)	TOEIC L&R / TOEIC S&W(※6) (※7)
B1以上	140以上	1950以上	930以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上

- (※1) ケンブリッジ英語検定では，「リングスキル（4技能CBT）」の受験成績は利用できません。
- (※2) 実用英語技能検定については，従来型の「英検」（本会場実施，準会場実施）に加え，「英検S-CBT」「英検CBT」「英検2020 1day S-CBT」「英検2020 2days S-Interview」の成績も利用できます。
- (※3) GTEC（Core/Basic/Advancedタイプ及びCBTタイプ）の成績は，オフィシャルスコアのみを認めます（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。
- (※4) IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え，「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。
- (※5) TOEFL iBTにおいて，「My Best スコア」は利用できません。
- (※6) TOEIC（L&R/S&W）は，「公開テスト」を受験した成績に限ります。
- (※7) TOEIC L&R（990点満点）/TOEIC S&W（400点満点）については，TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを利用します。

[その他の資格・検定試験]

<現代社会学科>

- ・日本漢字能力検定試験（CBTを含む）・・・2級以上
- ・実用数学技能検定試験・・・準1級以上
- ・統計検定試験・・・3級以上（CBTを含む），統計調査士，専門統計調査士のいずれか
- ・基本情報技術者試験
- ・ITパスポート試験
- ・国際バカロレア資格（ディプロマ・プログラム）

<法律経済学科>

- ・日商簿記検定試験・・・2級以上
- ・全商簿記実務検定試験・・・1級
- ・基本情報技術者試験
- ・ITパスポート試験
- ・全商情報処理検定試験・・・1級

2) 教育学部

①出願要件

学部	課程・コース等	出願要件	
教育学部	<p>次の各課程・コース等の固有の要件を全て満たし、学業成績が優秀と認められ、かつ、教職を目指す意欲があり、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数は、以下の表に示す各募集単位（課程，コース又は選修）とも1校につき2人までとします。</p>		
	教育実践科学コース	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上	
	言語・社会教育系	国語選修	① 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上 ② 調査書の国語の学習成績の状況が4.0以上
		社会選修	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上
		英語選修	① 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上 ② 調査書の英語の学習成績の状況が4.0以上 ③ 次ページの別表に示す英語資格・検定試験のいずれかで基準（CEFRのB1以上）を満たす者
	理数教育系	数学選修	① 調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上 ② 調査書の数学の学習成績の状況が4.5以上
		理科選修	① 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上 ② 調査書の理科及び数学の各教科の学習成績の状況がともに4.3以上
	音楽教育系	音楽選修	① 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上 ② 音楽の分野において優秀と認められる者
	美術教育系	美術選修	① 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上 ② 美術の分野において優秀と認められる者
	保健体育教育系	保健体育選修	① 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上 ② 保健体育の分野において優秀と認められ、かつ、運動実技で全国大会に出場又はそれに準ずる成績を有する者（※1）
	技術教育系	技術選修	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上
	生活科学教育系	家庭選修	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上
特別支援教育コース		調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上	
養護教諭養成課程		調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上	

(※1) 学校教育教員養成課程教科教育コース保健体育教育系保健体育選修の出願要件でいう「全国大会」とは、インターハイや国体等、各競技団体等主催の全国大会を指しますが、全国規模での選抜チーム代表としての試合出場も対象とします。また、「準ずる成績」とは、ブロック大会（関東大会，東北大会など）やブロック又は県選抜チーム代表としての成績も含まれます。出願書類と併せて特技とする運動種目の成績・記録を証明できる資料等を必要とします。なお、ここでの運動特技は志願者本人のプレーヤーとしての競技実績を指し、マネージャーやアシスタントコーチといったサポートスタッフ等としての貢献は運動特技に含みません。令和6年度入学者選抜では、新型コロナウイルス感染症の発生により中止・延期等となった大会等に参加できなかった場合においても、競技活動に対する努力のプロセス等から、上記の出場成績等を有する者に相当すると学校長が判断できる者については、出願要件を満たすものとします。

<別表>

○教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース言語・社会教育系英語選修の出願要件

英語資格・検定試験の成績は，高等学校等入学以降，出願時点までに受験した成績に限ります。また，出願時に，スコア証明書等の写しの提出を求めます。

CEFR	ケンブリッジ 英語検定 (※1)	実用英語 技能検定 (※2)	GTEC (※3)	IELTS (※4)	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT (※5)	TOEIC L&R/ TOEIC S&W (※6) (※7)
B1以上	140以上	1950以上	930以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上

- (※1) ケンブリッジ英語検定では，「リングスキル（4技能CBT）」の受験成績は利用できません。
- (※2) 実用英語技能検定については，従来型の「英検」（本会場実施，準会場実施）に加え，「英検S-CBT」の成績も利用できます。
- (※3) GTEC（Core／Basic／Advancedタイプ及びCBTタイプ）の成績は，オフィシャルスコアのみを認めます（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。
- (※4) IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え，「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。
- (※5) TOEFL iBTにおいて，「My Best スコア」は利用できません。
- (※6) TOEIC（L&R/S&W）は，「公開テスト」を受験した成績に限ります。
- (※7) TOEIC L&R（990点満点）/TOEIC S&W（400点満点）については，TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを利用します。

②選抜方法

学部	課程・コース等	選抜方法等	
教育学部 学校教育教員養成課程	教育実践科学コース	調査書及びプレゼンテーションの結果を総合して評価します。 〈プレゼンテーション〉 高等学校等までの学習で理解できる現代の教育問題について、「プレゼンテーション資料」に基づいてプレゼンテーション（8分程度）を行い、その内容について質疑応答をします。質疑応答を含めた試験時間は15分程度とします。本コースで学ぶために必要な能力（分析力，判断力，論理構成力，表現力等）をみることを主眼とします。 「プレゼンテーション資料」は出願時に提出を求めます。出願後は一切返却しませんので，必ずコピーを取っておき，試験当日に持参（※1）してください。なお，試験当日は黒板等に板書しても構いませんが，電子機器類の使用は認めません。 （「プレゼンテーション資料」の詳細はp. 54に示します）	
	言語・社会系 教育系	国語選修	調査書，小論文及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈小論文〉 本選修で学ぶのに必要な能力（論理構成力，表現力等）をみることを主眼とします。課題を与えて論述させます。字数は800字程度です。 〈面接〉 個人面接（約10分）。志望動機，教育・国語教育に対する関心，学習意欲，表現力などをみることを主眼とします。
		社会選修	調査書，小論文及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈小論文〉 社会選修で学ぶのに必要な能力（教科についての関心とその内容の探究に必要な思考力・判断力・表現力等）をみることを主眼とします。課題を与えて論述させます。字数は800字程度です。 〈面接〉 個人面接（10分程度）。履修した地理歴史科・公民科の学習内容及び「調査・研究活動に関する報告書」についての質問を含みます。志望動機，教育・社会科教育に対する関心，学習意欲などをみることを主眼とします。 （「調査・研究活動に関する報告書」の詳細はp. 52に示します）
		英語選修	調査書及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈面接〉 個人面接（15分程度）。学習意欲，日本語及び英語の表現力などをみることを主眼とします。 なお，英語による質疑応答を含みます。
	理数教育系	数学選修	調査書及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈面接〉 個人面接（10～15分程度）。数学の基本的事項に関する知識，理解力，数学教育に対する学習意欲，自己表現力等をみることを主眼とします。 口頭試問の解答時には，黒板等への記述を求める場合があります。
		理科選修	調査書及び面接の結果を総合して評価します。 〈面接〉 個人面接（5分程度）。志望動機，表現力，理科及び理科教育に対する知識・関心，学習意欲などをみることを主眼とします。
	音楽教育系	音楽選修	調査書，実技検査（音楽）及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈面接〉 個人面接（5～10分程度）。学習意欲と自己表現力，専門に関わる基礎的学力，コミュニケーション能力等をみることを主眼とします。 〈実技検査（音楽）〉 課題はp. 51に示します。

（※1） 学校教育教員養成課程教育実践科学コースのプレゼンテーションで受験者が当日使用できる資料は，出願時に提出した「プレゼンテーション資料」のコピーのみとなります。

学部	課程・コース等		選抜方法等
教育学部 学校教育教員養成課程	教科教育コース	美術教育系 美術選修	調査書，「ポートフォリオ，付属資料1点」及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈面接〉個人面接（20分程度）。提出された「ポートフォリオ」，「付属資料1点」を参考にして本選修志願理由，意欲，適性，将来性，コミュニケーション能力，高等学校等での学習状況をみることを主眼とします。 （「ポートフォリオ，付属資料1点」の詳細はp.53に示します）
		保健体育教育系 保健体育選修	調査書，「運動特技に関する調書」及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈面接〉個人面接（10～15分程度）。志望動機，学習意欲，教員としての資質・能力・適性及び高等学校等卒業までの学習状況等を評価します。 （「運動特技に関する調書」の詳細はp.52に示します）
		技術教育系 技術選修	調査書及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈面接〉個人面接（20～30分程度）。中学校技術科の教員を目指す意欲，教員としての資質・能力・適性等の素養をみます。同時に口頭試問では，高等学校等で履修した範囲で，数学・理科・英語の基礎学力について問います。口頭試問の解答時には，黒板等への記述を求める場合があります。
		生活科学教育系 家庭選修	調査書及びプレゼンテーションの結果を総合して評価します。 〈プレゼンテーション〉高等学校等までの学習で理解できる生活にかかわる問題について，「プレゼンテーション資料」に基づいてプレゼンテーション（5分程度）を行い，その内容について質疑応答をします。質疑応答を含めた試験時間は10～15分程度とします。本選修で学ぶために必要な能力（分析力，判断力，論理的構成力，表現力等）をみることを主眼とします。 「プレゼンテーション資料」は出願時に提出を求めます。出願後は一切返却しませんので，必ずコピーを取っておき，試験当日に持参（※1）してください。なお，当日は黒板等に板書しても構いませんが，電子機器類の使用は認めません。 （「プレゼンテーション資料」の詳細はp.54に示します）
	特別支援教育コース	調査書及びプレゼンテーションの結果を総合して評価します。 〈プレゼンテーション〉「活動報告・資料」に基づいて，プレゼンテーション（5分程度）を行い，その内容について質疑応答をします。質疑応答を含めた試験時間は10～15分程度とします。志願者の意欲と適性，自己表現力，高等学校等在籍時の活動内容について評価します。 「活動報告・資料」は出願時に提出を求めます。出願後は一切返却しませんので，必ずコピーを取っておいてください。 なお，試験当日は「活動報告・資料」のコピー及び「その他の資料」（※2）を持参し，使用しても構いません。ただし，電子機器類の使用は認めません。 （「活動報告・資料」の詳細はp.52に示します）	
養護教諭養成課程	調査書及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈面接〉集団面接（1グループ50分程度）で課題についての討論と質疑を行います。高等学校等卒業程度に求められる国内外の自然的，人間的及び社会的諸事象への関心とそれらへの分析力，判断力及び養護教諭としての適性について評価します。その際，提出された「活動報告・資料」を参考とします。新聞やテレビ・ラジオなどのニュースで話題となる事象を中心とします。集団面接は4～8人程度で行います。ただし，受験者数により変更する場合があります。 （「活動報告・資料」の詳細はp.52～53に示します）		

(※1) 学校教育教員養成課程教科教育コース生活科学教育系家庭選修のプレゼンテーションで受験者が当日使用できる資料は，出願時に提出した「プレゼンテーション資料」のコピーのみとなります。

(※2) 学校教育教員養成課程特別支援教育コースのプレゼンテーションにおいて使用することができる「活動報告・資料」のコピー以外の「その他の資料」について，ポスターなどを掲示する場合には2，3メートル離れた位置にいる面接員に見えるように配慮してください。また，面接員への配付物がある場合には5部用意してください。

3) 理学部

①出願要件

学部	学科・コース	出願要件
理学部	理学科 数学・情報 数理コース	<p>次の①又は②のいずれか一つを満たし、学習意欲、人物ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者で、下記の別表に示す英語資格・検定試験のうちいずれか1つを高等学校等在学中に受験していること（点数等の条件はありません）。</p> <p>① 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、かつ、数学の学習成績の状況が4.4以上の者</p> <p>② 自然科学の分野において特記すべき経験を有する者（スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業による教育を受けて所定の単位を修得し、特記すべき経験を有する者を含む）</p> <p>※ 出願要件②で出願する者は、その事実を証明できる書類等の写しを出願時に添付してください。</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>
	物 理 学 コ ー ス	<p>次の①又は②のいずれか一つを満たし、学習意欲、人物ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者で、下記の別表に示す英語資格・検定試験のうちいずれか1つを高等学校等在学中に受験していること（点数等の条件はありません）。</p> <p>① 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、かつ、数学又は理科の学習成績の状況が4.2以上の者</p> <p>② 自然科学の分野において特記すべき経験を有する者（スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業による教育を受けて所定の単位を修得し、特記すべき経験を有する者を含む）</p> <p>※ 出願要件②で出願する者は、その事実を証明できる書類等の写しを出願時に添付してください。</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>

<別表>

○理学部理学科数学・情報数理コース及び物理学コースの出願要件

英語資格・検定試験の成績は、高等学校等入学以降、出願時点までに受験した成績に限ります（点数等の条件はありません）。また、出願時に、スコア証明書等の写しの提出を求めます。

ケンブリッジ 英語検定 (※1)	実用英語 技能検定 (※2)	GTEC (※3)	IELTS (※4)	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT (※5)	TOEIC L&R/ TOEIC S&W (※6)
------------------------	----------------------	--------------	---------------	------	-------------	----------------------	---------------------------------

- (※1) ケンブリッジ英語検定では、「リンガスキル（4技能CBT）」の受験成績は利用できません。
- (※2) 実用英語技能検定については、従来型の「英検」（本会場実施，準会場実施）に加え、「英検S-CBT」の成績も利用できます。
- (※3) GTEC（Core／Basic／Advancedタイプ及びCBTタイプ）の成績は、オフィシャルスコアのみを認めず（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。
- (※4) IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。
- (※5) TOEFL iBTにおいて、「My Best スコア」は利用できません。
- (※6) TOEIC（L&R/S&W）は、「公開テスト」を受験した成績に限ります。なお、TOEIC L&RとTOEIC S&Wのうち、1つのみを受験している場合も出願要件を満たしていることとします。

②選抜方法

学部	学科・コース	選抜方法等
理学部	数学・情報 数理コース	<p>調査書，小論文及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉 数学の基礎学力，論理的思考力，表現力などをみるために，数学の基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，ベクトル）とします。</p> <p>〈面接〉 個人面接で，面接時間は10分程度で行います。志望動機，志望コースに対する関心の深さ（授業以外の自然科学に関する活動状況等を含む），学習意欲，コミュニケーション能力等の資質をみます。</p>
	物理学	<p>調査書及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。</p> <p>〈面接〉 個人面接形式で行います。面接の約30分前に準備室に移動して，20分程度で口頭試問の質問用紙を見て解答方針メモを作成します。続いて面接室での面接を口頭試問を含めて20分程度で行います。まず口頭試問として，数学と理科（物理）の出題に対する解答及び解答方針を問い，基礎学力，論理的思考力及び判断力を確認します。解答時には，先に作成した解答方針メモを使用することができ，黒板等への記述を求めます。続いて，志望動機，志望コースに対する関心の深さ（授業以外の自然科学に関する活動状況等を含む），学習意欲，コミュニケーション能力等の資質をみます。</p> <p>口頭試問の質問用紙では，数学の問題と理科（物理）の問題を出題します。出題範囲は以下のとおりです。</p> <p>数学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，ベクトル）</p> <p>理科：物理基礎，物理</p>

4) 工学部
① 出願要件

学部	学科	出願要件
工学部	機械システム工学科	<p>次の要件を全て満たし、学業成績・学習意欲・人物がともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 数学の教科で「数学Ⅲ」，「理数数学Ⅱ」のうち1科目を履修した者又は履修している者</p> <p>② 理科の教科で「物理」，「理数物理」のうち1科目を履修した者又は履修している者</p> <p>③ 調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>④ p.44の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>
	電気電子システム工学科	<p>次の要件を全て満たし、学業成績・学習意欲・人物がともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 数学の教科で「数学Ⅲ」，「理数数学Ⅱ」のうち1科目を履修した者又は履修している者</p> <p>② 理科の教科で「物理」，「理数物理」のうち1科目を履修した者又は履修している者</p> <p>③ 調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>④ p.44の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>
	物質科学工学科	<p>次の要件を全て満たし、学業成績・学習意欲・人物がともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 数学の教科で「数学Ⅲ」，「理数数学Ⅱ」のうち1科目を履修した者又は履修している者</p> <p>② 理科の教科で「物理」，「化学」，「生物」のうち1科目以上、あるいは「理数物理」，「理数化学」，「理数生物」のうち1科目以上を履修した者又は履修している者</p> <p>③ 調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>④ p.44の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>
	情報工学科	<p>次の要件を全て満たし、学業成績・学習意欲・人物がともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 数学の教科で「数学Ⅲ」，「理数数学Ⅱ」のうち1科目を履修した者又は履修している者</p> <p>② 理科の教科で「物理」，「理数物理」のうち1科目を履修した者又は履修している者</p> <p>③ 調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>④ p.44の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>

学部	学科	出願要件
工学部	都市システム工学科	<p>次の要件を全て満たし，社会基盤デザインプログラムでの勉学を強く志望し（*），基礎学力を有し，安全で快適な社会環境づくりに情熱があり，リーダーシップを発揮できる資質があると出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 数学の教科で「数学Ⅲ」，「理数数学Ⅱ」のうち1科目を履修した者又は履修している者</p> <p>② 理科の教科で「物理」，「理数物理」のうち1科目を履修した者又は履修している者</p> <p>③ 調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>④ p.44の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>

（*）学校推薦型選抜の合格者は，入学後，2年次のプログラム選択において優先的に社会基盤デザインプログラムを選択できます。
 都市システム工学科の学校推薦型選抜では社会基盤デザインプログラムでの勉学を志望する者を募集しています。建築デザインプログラムでの勉学を志望する者は，総合型選抜で都市システム工学科に出願してください。なお，一般選抜（前期日程・後期日程）には，社会基盤デザインプログラム，建築デザインプログラムのどちらを志望する者でも出願することができます。

【参考】都市システム工学科の学校推薦型選抜・総合型選抜における志望について

	社会基盤デザインプログラムでの勉学を志望する者	建築デザインプログラムでの勉学を志望する者
学校推薦型選抜	○	-
総合型選抜	-	○

②選抜方法

学部	学科	選抜方法等
工学部	機械システム工学科	<p>調査書，小論文，英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力，思考力，判断力，表現力などをみるために，数学及び理科の基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，ベクトル））と理科（物理基礎，物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い，機械システム工学に対する知的関心，意欲，適性を評価し，また，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
	電気電子システム工学	<p>調査書，小論文，英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力，思考力，判断力，表現力などをみるために，数学及び理科の基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，ベクトル））と理科（物理基礎，物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い，電気電子システム工学に対する知的関心，意欲，適性を評価し，また，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
	物質科学工学科	<p>調査書，小論文，英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力，思考力，判断力，表現力などをみるために，数学及び理科の基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，ベクトル））と理科（物理基礎，化学基礎，生物基礎）とします。理科については列記した3分野から2つを選択することとします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い，物質科学工学に対する知的関心，意欲，適性を評価し，また，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
	情報工学科	<p>調査書，小論文，英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力，思考力，判断力，表現力などをみるために，数学及び理科の基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，ベクトル））と理科（物理基礎，物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い，情報工学に対する知的関心，意欲，適性を評価し，また，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
	都市システム工学科	<p>調査書，小論文，英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力，思考力，判断力，表現力などをみるために，数学及び理科の基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，ベクトル））と理科（物理基礎，物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い，安全で快適な社会環境づくりに対する知的関心，意欲，適性を評価し，また，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>

<別表>

○工学部の英語資格・検定試験得点換算表

令和3年度（2021年度）以降に受験した成績で、かつ、出願期間最終日に有効なオフィシャルスコアに限ります。また、出願時にスコア証明書等の写しの提出を求めます。複数の英語資格・検定試験の成績を有している場合は、換算後の得点が最も高くなる1つを提出してください。

得点	CEFR	ケンブリッジ 英語検定 (※1)	実用英語 技能検定 (※2)	GTEC (※3)	IELTS (※4)	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT (※5)	TOEIC L&R/ TOEIC S&W (※6) (※7)
100点	C2 C1 B2	160以上	2300以上	1180以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	1560以上
90点	B1	140以上	1950以上	930以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上
70点	A2-3	130以上	1825以上	820以上	—	180以上	328以上	—	888以上
60点	A2-2	125以上	1763以上	755以上	—	158以上	281以上	—	756以上
50点	A2-1	120以上	1700以上	680以上	—	135以上	235以上	—	625以上

- (※1) ケンブリッジ英語検定では、「リングスキル（4技能CBT）」の受験成績は利用できません。
- (※2) 実用英語技能検定については、従来型の「英検」（本会場実施，準会場実施）に加え、「英検S-CBT」の成績も利用できます。
- (※3) GTEC（Core／Basic／Advancedタイプ及びCBTタイプ）の成績は、オフィシャルスコアのみを認めます（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。
- (※4) IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。
- (※5) TOEFL iBTにおいて、「My Best スコア」は利用できません。
- (※6) TOEIC（L&R/S&W）は、「公開テスト」を受験した成績に限ります。
- (※7) TOEIC L&R（990点満点）/TOEIC S&W（400点満点）については、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを利用します。なお、TOEIC L&RとTOEIC S&Wのうち、1つのみを受験し表中の得点を取得している場合も出願要件を満たしていることとします。

5) 農学部

①出願要件

学部	学科・コース	出願要件
農学部	食 生 命 科 学 科	次の①，②の要件を両方とも満たし，学業成績及び人物がともに優れ，出身学校長が責任をもって推薦できる者 ① 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 ② 下記の別表に示す英語資格・検定試験のいずれかで基準（CEFRのB1以上）を満たす者 ※ 学校長が推薦できる人数に制限はありません。 ※ <u>高等学校又は中等教育学校の農業に関する学科又は総合学科（農業に関する科目を20単位以上修得した者又は修得見込みの者）を卒業した者又は卒業見込みの者は，学校推薦型選抜（一般推薦）での出願はできません。</u>
	地域総合農学科 農 業 科 学 コー ス	
	地 域 共 生 コー ス	

<別表>

○農学部全学科の出願要件

英語資格・検定試験の成績は，令和3年度（2021年度）以降に受験した成績で，かつ，出願期間最終日に有効なオフィシャルスコアに限ります。また，出願時にスコア証明書等の写しの提出を求めます。

CEFR	ケンブリッジ 英語検定 (※1)	実用英語 技能検定 (※2)	GTEC (※3)	IELTS (※4)	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT (※5)	TOEIC L&R/ TOEIC S&W (※6) (※7)
B1以上	140以上	1950以上	930以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上

- (※1) ケンブリッジ英語検定では，「リングスキル（4技能CBT）」の受験成績は利用できません。
- (※2) 実用英語技能検定については，従来型の「英検」（本会場実施，準会場実施）に加え，「英検S-CBT」の成績も利用できます。
- (※3) GTEC（Core/Basic/Advancedタイプ及びCBTタイプ）の成績は，オフィシャルスコアのみを認めます（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。
- (※4) IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え，「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。
- (※5) TOEFL iBTにおいて，「My Best スコア」は利用できません。
- (※6) TOEIC（L&R/S&W）は，「公開テスト」を受験した成績に限ります。
- (※7) TOEIC L&R（990点満点）/TOEIC S&W（400点満点）については，TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを利用します。

②選抜方法

学部	学科・コース	選抜方法等
農学部	食 生 命 科 学 科	小論文及び面接の結果を総合して評価します。 〈小論文〉生物と化学の基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は「生物基礎，生物」，「化学基礎，化学」とします。 〈面接〉個人面接で，志望学科に対する関心と適性，学習意欲と質疑応答力などの資質を10分程度でみます。
	地域総合農学科 農 業 科 学 コー ス	小論文及び面接の結果を総合して評価します。 〈小論文〉生物の基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は「生物基礎，生物」とします。 〈面接〉個人面接で，志望学科に対する関心と適性，学習意欲と質疑応答力などの資質を10分程度でみます。
	地 域 共 生 コー ス	小論文及び面接の結果を総合して評価します。 〈小論文〉物理，化学，生物のうち，出願時に届け出た1科目について，基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は「物理基礎，物理」，「化学基礎，化学」，「生物基礎，生物」とします。 〈面接〉個人面接で，志望学科に対する関心と適性，学習意欲と質疑応答力などの資質を10分程度でみます。

(2) 専門高校推薦

1) 教育学部

① 出願要件

学部	課程・コース等			出願要件
教育学部	学校教育教員養成課程	教科教育コース	技術教育系 技術選修	<p>高等学校又は中等教育学校の農業，工業，商業，水産，情報に関する学科又は総合学科（農業，工業，商業，水産，情報に関する科目から合計して20単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和6年3月卒業見込みの者で，調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者とし，学業成績が優秀と認められ，かつ，教職を目指す意欲があり，出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数は1校につき2人までとします。</p>

② 選抜方法

学部	課程・コース等			選抜方法等
教育学部	学校教育教員養成課程	教科教育コース	技術教育系 技術選修	<p>調査書及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。</p> <p>〈面接〉 個人面接（20～30分程度）。中学校技術科又は高等学校工業科の教員を目指す意欲，教員としての資質・能力・適性等の素養をみます。同時に口頭試問では，高等学校等で履修した範囲で，数学・理科・英語の基礎学力について問います。口頭試問の解答時には，黒板等への記述を求める場合があります。</p>

2) 工学部

① 出願要件

学部	学科	出願要件
工学部	機械システム工学科	<p>高等学校又は中等教育学校の工業に関する学科又は総合学科（工業に関する科目を25単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和6年3月に卒業見込みの者</p> <p>次の要件を全て満たし，学業成績・学習意欲・人物がともに優れ，出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 数学の教科で「数学Ⅲ」，「理数数学Ⅱ」のうち1科目を履修した者又は履修している者</p> <p>② 調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>③ p. 44の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数は1校につき1人とします。</p>
	電気電子システム工学科	<p>高等学校又は中等教育学校の工業に関する学科又は総合学科（工業に関する科目を25単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和6年3月に卒業見込みの者</p> <p>次の要件を全て満たし，学業成績・学習意欲・人物がともに優れ，出身学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>① 数学の教科で「数学Ⅲ」，「理数数学Ⅱ」のうち1科目を履修した者又は履修している者</p> <p>② 調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>③ p. 44の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数は1校につき1人とします。</p>

学部	学科	出願要件
工学部	物質科学工学科	<p>高等学校又は中等教育学校の工業に関する学科又は総合学科（工業に関する科目を25単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和6年3月に卒業見込みの者 次の要件を全て満たし，学業成績・学習意欲・人物がともに優れ，出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 数学の教科で「数学Ⅲ」，「理数数学Ⅱ」のうち1科目を履修した者又は履修している者 ② 調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 ③ p.44の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数は1校につき1人とします。</p>
	情報工学科	<p>高等学校又は中等教育学校の工業に関する学科又は総合学科（工業に関する科目を25単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和6年3月に卒業見込みの者 次の要件を全て満たし，学業成績・学習意欲・人物がともに優れ，出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 数学の教科で「数学Ⅲ」，「理数数学Ⅱ」のうち1科目を履修した者又は履修している者 ② 調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 ③ p.44の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数は1校につき1人とします。</p>
	都市システム工学科	<p>高等学校又は中等教育学校の工業に関する学科又は総合学科（工業に関する科目を25単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和6年3月に卒業見込みの者 次の要件を全て満たし，<u>社会基盤デザインプログラムでの勉学を強く志望し（*），基礎学力を有し，安全で快適な社会環境づくりに情熱があり，リーダーシップを発揮できる資質があると</u>出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>① 数学の教科で「数学Ⅲ」，「理数数学Ⅱ」のうち1科目を履修した者又は履修している者 ② 調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 ③ p.44の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること</p> <p>※ 学校長が推薦できる人数は1校につき1人とします。</p>

（*）学校推薦型選抜の合格者は，入学後，2年次のプログラム選択において優先的に社会基盤デザインプログラムを選択できます。

都市システム工学科の学校推薦型選抜では社会基盤デザインプログラムでの勉学を志望する者を募集しています。建築デザインプログラムでの勉学を志望する者は，総合型選抜で都市システム工学科に出願してください。なお，一般選抜（前期日程・後期日程）には，社会基盤デザインプログラム，建築デザインプログラムのどちらを志望する者でも出願することができます。

【参考】都市システム工学科の学校推薦型選抜・総合型選抜における志望について

	社会基盤デザインプログラムでの勉学を志望する者	建築デザインプログラムでの勉学を志望する者
学校推薦型選抜	○	—
総合型選抜	—	○

②選抜方法

学部	学科	選抜方法等
工学部	機械システム工学科	<p>調査書，小論文，英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力，思考力，判断力，表現力などをみるために，数学及び理科の基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，ベクトル））と理科（物理基礎，物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い，機械システム工学に対する知的関心，意欲，適性を評価し，また，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
	電気電子システム工学科	<p>調査書，小論文，英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力，思考力，判断力，表現力などをみるために，数学及び理科の基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，ベクトル））と理科（物理基礎，物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い，電気電子システム工学に対する知的関心，意欲，適性を評価し，また，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
	物質科学工学科	<p>調査書，小論文，英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力，思考力，判断力，表現力などをみるために，数学及び理科の基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，ベクトル））と理科（物理基礎，化学基礎，生物基礎）とします。理科については列記した3分野から2つを選択することとします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い，物質科学工学に対する知的関心，意欲，適性を評価し，また，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
	情報工学科	<p>調査書，小論文，英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力，思考力，判断力，表現力などをみるために，数学及び理科の基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，ベクトル））と理科（物理基礎，物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い，情報工学に対する知的関心，意欲，適性を評価し，また，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
	都市システム工学科	<p>調査書，小論文，英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力，思考力，判断力，表現力などをみるために，数学及び理科の基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，ベクトル））と理科（物理基礎，物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い，安全で快適な社会環境づくりに対する知的関心，意欲，適性を評価し，また，思考力，判断力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>

3) 農学部
① 出願要件

学部	学科・コース	出願要件
農学部	食 生 命 科 学 科	次の①から③の要件を全て満たし、学業成績及び人物がともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者 ① 高等学校又は中等教育学校の農業に関する学科又は総合学科（農業に関する科目を20単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和5年3月以降に卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者 ② 調査書の学習成績概評が(A)の者（*） ③ p.45の別表に示す英語資格・検定試験のいずれかで基準（CEFRのB1以上）を満たす者 ※ 学校長が推薦できる人数に制限はありません。
	地域総合農学科 農業科学コース 地域共生コース	次の①から③の要件を全て満たし、学業成績及び人物がともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者 ① 高等学校又は中等教育学校の農業に関する学科又は総合学科（農業に関する科目を20単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和5年3月以降に卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者 ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者 ③ 下記の別表に示す英語資格・検定試験のうちいずれか1つを受験している者 ※ 学校長が推薦できる人数に制限はありません。

（*）出願要件の「調査書の学習成績概評が(A)の者」とは、学習成績概評Aに属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者のことで、出願の際は、その根拠を調査書の「備考」の欄に明示してください。

<別表>

○英語資格・検定試験得点換算表（農学部地域総合農学科（専門高校推薦のみ））

令和3年度（2021年度）以降に受験した成績で、かつ、出願期間最終日に有効なオフィシャルスコアに限ります。また、出願時にスコア証明書等の写しの提出を求めます。複数の英語資格・検定試験の成績を有している場合は、換算後の得点が最も高くなる1つを提出してください。

得点	CEFR	ケンブリッジ 英語検定 (※1)	実用英語 技能検定 (※2)	GTEC (※3)	IELTS (※4)	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT (※5)	TOEIC L&R/ TOEIC S&W (※6) (※7)
100点	C2 C1 B2	160以上	2300以上	1180以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	1560以上
90点	B1	140以上	1950以上	930以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上
70点	A2-3	130以上	1825以上	820以上	—	180以上	328以上	—	888以上
60点	A2-2	125以上	1763以上	755以上	—	158以上	281以上	—	756以上
50点	A2-1	120以上	1700以上	680以上	—	135以上	235以上	—	625以上
30点	A1-2	110以上	1550以上	470以上	—	—	—	—	473以上
10点	A1-1	100以上	1400以上	260以上	—	—	—	—	320以上

（※1）ケンブリッジ英語検定では、「リングスキル（4技能CBT）」の受験成績は利用できません。

（※2）実用英語技能検定については、従来型の「英検」（本会場実施，準会場実施）に加え、「英検S-CBT」の成績も利用できます。

（※3）GTEC（Core/Basic/Advancedタイプ及びCBTタイプ）の成績は、オフィシャルスコアのみを認めます（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。

（※4）IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。

（※5）TOEFL iBTにおいて、「My Best スコア」は利用できません。

（※6）TOEIC（L&R/S&W）は、「公開テスト」を受験した成績に限ります。

（※7）TOEIC L&R（990点満点）/TOEIC S&W（400点満点）については、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを利用します。なお、TOEIC L&RとTOEIC S&Wのうち、1つのみを受験している場合も出願要件を満たしていることとします。

②選抜方法

学部	学科・コース	選抜方法等	
農学部	食 生 命 科 学 科	<p>小論文及び面接の結果を総合して評価します。 〈小論文〉生物及び化学のうち，出願時に届け出た1科目について，基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は「生物基礎，生物」，「化学基礎，化学」とします。 〈面接〉個人面接で，志望学科に対する関心と適性，学習意欲と質疑応答力などの資質を10分程度でみます。</p>	
	地域総合農学科	農 業 科 学 コース	<p>小論文，面接及び英語資格・検定試験の結果を総合して評価します。 〈小論文〉生物の基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は「生物基礎，生物」とします。 〈面接〉個人面接で，志望学科に対する関心と適性，学習意欲と質疑応答力などの資質を10分程度でみます。</p>
		地 域 共 生 コース	<p>小論文，面接及び英語資格・検定試験の結果を総合して評価します。 〈小論文〉物理，化学，生物のうち，出願時に届け出た1科目について，基礎的な問題を出題し，論述的に解答させます。出題範囲は「物理基礎，物理」，「化学基礎，化学」，「生物基礎，生物」とします。 〈面接〉個人面接で，志望学科に対する関心と適性，学習意欲と質疑応答力などの資質を10分程度でみます。</p>

○ 教育学部実技検査等の課題

① <実技検査（音楽）>

◇ 学校教育教員養成課程（教科教育コース 音楽教育系 音楽選修）

音楽の基礎的能力と表現力をみることを主眼とします。課題は以下のとおりとします。

1. 共通課題（全員受験すること。楽譜を見て演奏してもよい）	
1) ソルフェージュ	ア) 聴音 8小節の単旋律を書き取らせる。 イ) コールユーブンゲン第1巻原書番号73番から85番中、当日1曲を指定する。 ただし、数字譜及び音階練習は除く。唱法は、移動ド唱法又は固定ド唱法とする。
2) 声楽・ピアノ練習曲	<p>〈声楽練習曲〉</p> <p>ア) 声楽練習曲1（「2. 選択課題」からA, C, D, Eを選んだ者） 「コンコーネ50番練習曲 作品9」より8番 ただし、母音ア又はオで歌うこと。中、低声用のいずれでもよい。 伴奏は本学で用意する。</p> <p>イ) 声楽練習曲2（「2. 選択課題」からBを選んだ者） 「コンコーネ50番練習曲 作品9」より13番 ただし、母音ア又はオで歌うこと。中、低声用のいずれでもよい。 伴奏は本学で用意する。</p> <p>〈ピアノ練習曲〉</p> <p>ア) ピアノ練習曲1（「2. 選択課題」からB, C, D, Eを選んだ者） J. S. バッハ 作曲「二声インヴェンション」より任意の1曲を演奏する。</p> <p>イ) ピアノ練習曲2（「2. 選択課題」からAを選んだ者） J. S. バッハ 作曲「三声シンフォニア」より任意の1曲を演奏する。</p>
2. 選択課題（次のA, B, C, D, Eのいずれか一つを選択し、暗譜で演奏する）	
A. ピアノ	<p>ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、ウェーバー、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、シューマン、リスト、ブラームス、フォーレ、ドビュッシー、ラヴェル、スクリャービン、ラフマニノフ、プロコフィエフの作品より10分以内の任意の楽曲を1曲演奏する。</p> <p>※ 楽譜は、氏名及び作曲者名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を出願書類と併せて提出すること。</p>
B. 声楽	<p>任意の声楽曲を1曲演奏する。伴奏は本学で用意する。</p> <p>※ 伴奏用楽譜は、氏名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を出願書類と併せて提出すること。</p>
C. 管楽器	<p>楽器はフルート、オーボエ、クラリネット、サキソフォーン、ファゴット、トランペット、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバの中より、一つを選択すること。</p> <p>5分程度の任意の楽曲を1曲演奏する。伴奏はつけない。</p> <p>※ 楽器は当日各自持参すること。楽譜（パート譜が望ましい）は、氏名及び楽器名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を出願書類と併せて提出すること。</p>
D. 弦楽器	<p>楽器はヴァイオリン又はチェロのいずれかを選択すること。</p> <p>5分程度の任意の楽曲を1曲演奏する。伴奏はつけない。</p> <p>※ 楽器は当日各自持参すること。楽譜（パート譜が望ましい）は、氏名及び楽器名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を出願書類と併せて提出すること。</p>
E. 打楽器	<p>楽器はマリンバとする。</p> <p>5分程度の任意の楽曲を1曲演奏する。伴奏はつけない。</p> <p>※ マリンバ（F～Fの5オクターヴ）は本学で用意するが、マレットは当日各自持参すること。楽譜は、氏名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を出願書類と併せて提出すること。</p>

（注意）1. 共通課題及び選択課題は、曲の一部の省略を求めることがあります。

なお、繰り返しは省略します。

2. 入学後、選択課題と同一の研究分野を引き続き履修できるとは限りません。

② <運動特技に関する調書>

◇学校教育教員養成課程（教科教育コース 保健体育教育系 保健体育選修）

学校教育教員養成課程教科教育コース保健体育教育系保健体育選修では，出願時に「運動特技に関する調書」の提出を求めます。

「運動特技に関する調書」は，志願者の運動特技について出身学校の担当者（保健体育主任又は担当顧問教員等の指導的な立場にある者）が責任をもって記入してください。

また，競技経験等のうち競技成績を裏付ける客観的な資料を添付してください。なお，ここでの運動特技は志願者本人のプレーヤーとしての競技実績（*）を指し，マネージャーやアシスタントコーチといったサポートスタッフ等としての貢献は運動特技に含みません。

（*）団体競技などチームで行う活動の場合は，チームの競技実績に加え，チーム内における志願者本人の役割・実績等を具体的に記入してください。

③ <調査・研究活動に関する報告書>

◇学校教育教員養成課程（教科教育コース 言語・社会教育系 社会選修）

学校教育教員養成課程教科教育コース言語・社会教育系社会選修では，出願時に「調査・研究活動に関する報告書」の提出を求めます。

「調査・研究活動に関する報告書」とは，志願者による社会科あるいは地理歴史科及び公民科の内容に関わる調査や研究等の活動をまとめたものです。A4サイズ3ページ以内に自由な形式でまとめてください。文章が中心となる場合には1ページ1,000字程度を基準としてください。

なお，表紙，目次の作成は任意ですが，作成した場合は，ページ数に含みます。

※上記「調査・研究活動」とは，志願者の高等学校在学時における高等学校内外（授業等を含む）での諸活動を指します。社会的事象に関連する調査・研究活動であれば，志願者個人で自主的に取り組んだ活動のほか，授業や夏休みの課題などで取り組んだ活動でも構いません。ただし，グループや組織による活動の場合は，志願者個人が果たした役割・成果等を具体的に記入してください。

④ <活動報告・資料>

◇学校教育教員養成課程（特別支援教育コース）

学校教育教員養成課程特別支援教育コースでは，出願時に「活動報告・資料」の提出を求めます。

「活動報告・資料」とは，志願者の高等学校等在籍時の活動をまとめたファイルのことです。資料（原本が提出不可能な場合はコピーでも可）を含めて，A4サイズ8ページ以内に自由な形式でまとめてください。文章が中心となる場合には1ページ1,000字程度を基準としてください。

なお，表紙，目次の作成は任意ですが，作成した場合は，ページ数に含みます。

※上記「活動報告・資料」の内容は，障害児・者に関わる具体的な活動・経験あるいは調査・研究などであり，特定の社会的評価や資格等の有無は問いません。ただし，グループや組織で行った活動・経験あるいは調査・研究については，志願者個人が果たした役割・実績等を具体的に記入してください。

※上記「活動報告・資料」以外の「その他の資料」について，ポスターなどを掲示する場合には2，3メートル離れた位置にいる面接員に見えるように配慮してください。また，面接員への配付物がある場合には5部用意してください。

◇養護教諭養成課程

養護教諭養成課程では，出願時に「活動報告・資料」の提出を求めます。

「活動報告・資料」とは，志願者の高等学校等内又は学校外での活動をまとめたファイルのことです。

資料（原本が提出不可能な重要な資料についてはコピーも可）を含めて，A4サイズ3ページ以内に自由な形式でまとめてください。文章が中心となる場合には1ページ1,000字程度を基準としてください。

なお，表紙，目次の作成は任意ですが，作成した場合は，ページ数に含みます。

※上記「活動報告・資料」の内容は，部活動，生徒会活動，その他の学校内外での文化活動，地域活動，ボランティア活動，製作・発表活動等の実績であり，特定の社会的評価や資格等の有無は問いません。ただし，グループや組織による活動の場合は，志願者個人が果たした役割・実績等を具体的に記入してください。

⑤ <ポートフォリオ，付属資料1点>

◇学校教育教員養成課程（教科教育コース 美術教育系 美術選修）

学校教育教員養成課程教科教育コース美術教育系美術選修では，出願時に「ポートフォリオ」及び「付属資料1点」の提出を求めます。

「ポートフォリオ」とは，志願者が高等学校等内又は学校外での学習・美術に関わる活動内容を自ら構成したファイルのことです。これまで自分が取り組んできた学習・美術に関わる活動内容や成果物（作品等）の紹介，それを大学でどのように深め広げて大学の学習・研究活動に活かしていきたいか等を，A4サイズ10ページ以内に自由な形式で分かりやすくまとめ構成してください。

ただし，文章が中心になる場合には，1ページ1,000字程度を基準とします。

なお，表紙，目次の作成は任意ですが，作成した場合は，ページ数に含みます。

※上記「学習・美術に関わる活動内容」とは，主に高校生活又はその周辺での学習活動（生徒会，部活動，美術教育支援，造形活動支援，ボランティア等）や表現活動（美術，芸術，映像，企画運営，作品発表等）であり，特定の社会的評価や資格等の有無は問いません。

「付属資料1点」とは，上記「ポートフォリオ」に記載されている活動内容の中で，志願者のこれまでの活動を代表する作品等の資料のことです。「付属資料1点」については，次のいずれかにより提出してください。

◇作品等の場合

- ・平面，立体を問わず，大きさの制限はありません。ただし，梱包して送付，移動が可能なものに限りまます。
- ・送付，移動が困難な作品の場合は，四つ切り（25.4cm×30.5cm）以内の写真で提出してください。立体作品の場合は，多方向からの撮影により写真が複数枚になっても結構です。
- ・送付，移動の際に破損の恐れのある作品の場合は，大きさを問わず写真で提出してください。
- ・安全管理及び保健衛生上支障のある作品の場合は，大きさを問わず写真で提出してください。

◇映像・音声資料の場合

CD-R，DVD-R，USBメモリ等の媒体に記録され，再生時間5分以内のもの。データファイルとして提出する場合は，できる限り以下のデータ形式で記録してください。

- ・静止画の場合 jpegフォーマット
- ・動画の場合 MPEG4形式
- ・音声の場合 WAV又はAIFF形式

選択した記録媒体及びデータ形式が，市販の再生機器で正常に再生できることを，提出前に確認してください。

※データファイルで提出の場合は，再生環境等について大学から志願者へ問い合わせることがあります。

◇文章主体の資料の場合

- ・企画運営報告書等で冊子としてまとまっている場合は1冊提出してください。
- ・書き下ろしの場合はレポート用紙に8,000字以内で提出してください。

⑥ <プレゼンテーション資料>

◇学校教育教員養成課程（教育実践科学コース）

学校教育教員養成課程教育実践科学コースでは，出願時に「プレゼンテーション資料」の提出を求めます。

「プレゼンテーション資料」は，以下の要領で作成，提出してください。

今回のプレゼンテーションの題目は「令和における日本型学校教育」です。

ア) 「プレゼンテーション資料」は学生募集要項と同時に公表される本学所定の様式を用いて作成し，氏名，出身学校及びプレゼンテーションの要旨を記入してください。

イ) 志願者は，今回の題目に関するプレゼンテーションについて「プレゼンテーションの要旨」欄に直筆で，文字（句読点，括弧等の記号を含む）のみで記入してください。

ウ) 「プレゼンテーション資料」はコピーしておき，試験当日に持参してください。受験時には，この「プレゼンテーション資料」のコピーのみを用いてプレゼンテーションを行ってください。

◇学校教育教員養成課程（教科教育コース 生活科学教育系 家庭選修）

学校教育教員養成課程教科教育コース生活科学教育系家庭選修では，出願時に「プレゼンテーション資料」の提出を求めます。「プレゼンテーション資料」は，以下の要領で作成，提出してください。

ア) テーマは「生活にかかわる問題」についてです。「生活にかかわる問題」とは，現代社会における衣食住，家庭・子ども，高齢者・福祉，消費生活・環境などをめぐり生じている生活問題を指します。「生活にかかわる問題」から1つを取り上げ，志願者の視点から課題を設定し，その問題状況について説明するための「プレゼンテーション資料」を作成してください。「プレゼンテーション資料」は必ず図表などを用いて作成し，内容に応じたタイトルを付けてください。

イ) 「プレゼンテーション資料」は，表紙を含めて，A4サイズ5ページ以内で作成してください。表紙には，テーマ，タイトル，氏名及び学校名を記載してください。

ウ) 「プレゼンテーション資料」はコピーしておき，試験当日に持参してください。受験時には，この「プレゼンテーション資料」のコピーのみを用いてプレゼンテーションを行ってください。

※「運動特技に関する調書」，「調査・研究活動に関する報告書」，「活動報告・資料」，「ポートフォリオ，付属資料1点」及び「プレゼンテーション資料」に関する質問は，茨城大学教育学部入学試験係（電話 029-228-8203）に問い合わせてください。

4. 配点

表中の斜線は、「学力検査等を課さないもの」又は「提出を要しないもの」、◆（クロヒシガタ）は、「出願要件等の確認のために提出を求めるもの」を表します。

（1）一般推薦

学部	学科・コース	調査書	推薦書	志願理由書	英語資格・検定試験等	面接	小論文	合計	
人文社会科学部	現代社会学科	10 (*1)	◆	(*2)	◆※	30	60	100	
	法律経済学科	20 (*1)	◆	(*2)	◆※	20	60	100	
	人間文化学科	20 (*1)	◆	(*2)	◆※	20	60	100	
理学部	数学・情報数理コース	50 (*1)	(*2)	(*2)	◆	50	200	300	
	物理学コース	50 (*1)	(*2)	(*2)	◆	250	/	300	
工学部	機械システム工学科	50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600	
	電気電子システム工学科	50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600	
	物質科学工学科	50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600	
	情報工学科	50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600	
	都市システム工学科	50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600	
農学部	食生命科学科	(*2)	(*2)	(*2)	◆	50	200	250	
	地域総合農学科	農業科学コース	(*2)	(*2)	(*2)	◆	100	200	300
		地域共生コース	(*2)	(*2)	(*2)	◆	100	200	300

(*1) は面接の参考資料としても利用することを表します。

(*2) は面接の参考資料として利用することを表します。

※人文社会科学部では、英語資格・検定試験及びその他の資格・検定試験は出願要件ではありませんので、それらの成績を取得していなくても出願することができます。

Ⅲ. 学校推薦型選抜（一般推薦，専門高校推薦）

学部	課程・コース等		調査書	推薦書	志願理由書	調査・研究活動に関する報告書/活動報告・資料/プレゼンテーション資料/英語資格・検定試験	運動特技に関する調書/ポートフォリオ・付属資料	面接/プレゼンテーション	小論文	実技検査	合計	
教育学部	学校教育員養成課程	教育実践科学コース	20 (*1)	(*2)	(*2)	(*2)		100			120	
		言語・社会教育系	国語選修	20 (*1)	(*2)	(*2)			60	40		120
			社会選修	20 (*1)	(*2)	(*2)	(*2)		60	40		120
			英語選修	20 (*1)	(*2)	(*2)	◆		100			120
		理数教育系	数学選修	20 (*1)	(*2)	(*2)			100			120
			理科選修	20 (*1)	(*2)	(*2)			100			120
		音楽教育系	音楽選修	20 (*1)	(*2)	(*2)			40		60	120
		美術教育系	美術選修	20 (*1)	(*2)	(*2)		20 (*1)	80			120
		保健体育教育系	保健体育選修	20 (*1)	(*2)	(*2)		40	60			120
		技術教育系	技術選修	20 (*1)	(*2)	(*2)			100			120
		生活科学教育系	家庭選修	20 (*1)	(*2)	(*2)	(*2)		100			120
		特別支援教育コース		20 (*1)	(*2)	(*2)	(*2)		100			120
養護教諭養成課程		20 (*1)	(*2)	(*2)	(*2)		100			120		

(*1) は面接又はプレゼンテーションの参考資料としても利用することを表します。

(*2) は面接又はプレゼンテーションの参考資料として利用することを表します。

(2) 専門高校推薦

学部	学科・課程等		調査書	推薦書	志願理由書	英語資格・検定試験	面接	小論文	合計		
教育学部	学校教育員養成課程	教科教育コース	技術教育系	技術選修	20 (*1)	(*2)	(*2)		100		120
工学部	機械システム工学科		50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600		
	電気電子システム工学科		50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600		
	物質科学工学科		50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600		
	情報工学科		50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600		
	都市システム工学科		50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600		
農学部	食生命科学科		(*2)	(*2)	(*2)	◆	50	200	250		
	地域総合農学科	農業科学コース	(*2)	(*2)	(*2)	100	100	200	400		
		地域共生コース	(*2)	(*2)	(*2)	100	100	200	400		

(*1) は面接の参考資料としても利用することを表します。

(*2) は面接の参考資料として利用することを表します。

IV. 総合型選抜

1. 選抜日程

	理学部	工学部	地域未来共創学環
出願期間	令和5年11月1日（水）から11月6日（月）まで		
試験期日	令和5年11月25日（土）	令和5年11月25日（土） 令和5年11月26日（日）	
合格者発表	令和5年12月8日（金）		
第1次選抜結果発表	令和5年12月8日（金）		
大学入学共通テスト	令和6年1月13日（土）・14日（日）		
最終合格者発表	令和6年2月9日（金）		

2. 注意事項

- (1) 本学の総合型選抜に出願した者は、不合格だった場合に備えて、一般選抜（前期日程及び後期日程）に出願することが可能です。その場合、本学の一般選抜への出願は、10月上旬にホームページで公表予定の「令和6年度（2024年度）一般選抜学生募集要項」に従ってください。ただし、総合型選抜に合格した者は、特別の事情により入学辞退を許可された場合を除き、他の国立大学も含めて一般選抜の合格者になりません。
- (2) 本学の理学部の総合型選抜では、大学入学共通テストを課します。また、工学部及び地域未来共創学環の総合型選抜では大学入学共通テストを課しません。
- (3) 各学部、学科等が課す面接、小論文、プレゼンテーション等を一つでも受験しなかった者は、合否判定の対象になりません。

3. 出願資格・出願要件・選抜方法等

理学部 理学科 化学コース，生物科学コース，地球環境科学コース，学際理学コース	
出願資格	高等学校又は中等教育学校を令和5年3月以降に卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
出願要件	<p>次の要件を全て満たし、合格した場合に必ず入学することを確約できる者</p> <p>① 志願分野に対する深い関心を持ち、主体性を持って科学活動に取り組み、自然科学の分野において探究活動経験を有する者（学校外での探究活動経験を含む）。</p> <p>（探究活動経験の例） 授業での「課題探究」に関する取り組み、自然科学系の部活動に参加、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業に参加、インターンシップ、自然科学系博物館・動植物園・研究機関・大学等でのジュニア学芸員活動や講座・観察会・研究体験への参加、自然科学のコンテスト等に参加（入賞かどうかは問わない）など。</p> <p>② 令和6年度大学入学共通テストで本学部が指定した教科・科目を受験し、下記に示す英語資格・検定試験のうちいずれか1つを高等学校等在学中に受験していること（点数等の条件はありません）。出願時にスコア証明書等の写しの提出を求めます。</p>

ケンブリッジ 英語検定 (※1)	実用英語 技能検定 (※2)	GTEC (※3)	IELTS (※4)	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT (※5)	TOEIC L&R/ TOEIC S&W (※6)																						
<p>(※1)ケンブリッジ英語検定では、「リングスキル(4技能CBT)」の受験成績は利用できません。</p> <p>(※2)実用英語技能検定については、従来型の「英検」(本会場実施, 準会場実施)に加え、「英検S-CBT」「英検CBT」「英検2020 1day S-CBT」「英検2020 2days S-Interview」の成績も利用できます。</p> <p>(※3)GTEC(Core/Basic/Advancedタイプ及びCBTタイプ)の成績は、オフィシャルスコアのみを認めます(OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る)。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。</p> <p>(※4)IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。</p> <p>(※5)TOEFL iBTにおいて、「My Best スコア」は利用できません。</p> <p>(※6)TOEIC(L&R/S&W)は、「公開テスト」を受験した成績に限りま。</p> <p>なお、TOEIC L&RとTOEIC S&Wのうち、1つのみを受験している場合も出願要件を満たしていることとします。</p>																													
選抜方法等	<p>【第1次選抜】 調査書及び面接(「活動報告書」を含む)の結果を総合して評価します。</p> <p>〈面接〉 「活動報告書」に基づく活動内容についての説明(5分程度)と、大学で学びたいことについての説明(3分程度)を行ってもらい、その内容及び関連する事項について質疑応答を行います。活動の分野と志望コースの分野が異なっても構いません。</p> <p>質疑応答を含めた試験時間は20分程度とし、志望動機、志望コースに対する関心の深さ、自然科学に関する活動状況、学習意欲、コミュニケーション能力等の資質をみます。</p> <p>試験当日は「活動報告書」及び「追加資料」のコピーを渡しますので、それを見ながら面接を受けることができます。ただし、電子機器類の使用は認めません。なお、「追加資料」自体は採点対象にはしません。</p> <p>また、自然科学の分野における探求活動についての「活動報告書」の提出を出願時に求めます。その際、活動を裏付ける「追加資料」(活動を裏付ける資料でA4版4ページまで)を併せて提出することも可能です。出願後は一切返却しませんので、必ずコピーを取っておいてください。</p> <p>【大学入学共通テスト】 第1次選抜合格者に対して、大学入学共通テストを課します。 最終合格者となるには、大学入学共通テストにおいて本学部が指定する科目を受験する必要がある。指定の配点(国語 200 地歴, 公民 50 数学 150+150 理科 200+200 外国語200)による合計点が満点1150点の概ね5割を満たせば最終合格となります。</p> <table border="1" data-bbox="308 1592 1465 1928"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目名</th> <th>本学部が課す科目数及び科目選択の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>国</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B</td> <td rowspan="2">から1(2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します)</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数学</td> <td>① 数I・数A</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>② 数II・数B</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>① 物基, 化基, 生基, 地基 ② 物, 化, 生, 地</td> <td>[理①から2]かつ[理②から1] [理②から2] } から1</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>英, 独, 仏, 中, 韓</td> <td>から1</td> </tr> </tbody> </table>							教科	科目名	本学部が課す科目数及び科目選択の方法	国語	国	1	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1(2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します)	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	数学	① 数I・数A	1	② 数II・数B	1	理科	① 物基, 化基, 生基, 地基 ② 物, 化, 生, 地	[理①から2]かつ[理②から1] [理②から2] } から1	外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1
教科	科目名	本学部が課す科目数及び科目選択の方法																											
国語	国	1																											
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1(2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します)																											
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																												
数学	① 数I・数A	1																											
	② 数II・数B	1																											
理科	① 物基, 化基, 生基, 地基 ② 物, 化, 生, 地	[理①から2]かつ[理②から1] [理②から2] } から1																											
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																											

配点	第1次選抜の配点		
	面接	調査書	合計
	250	50 (*1)	300

(*1) は面接の参考資料としても利用することを表します。

大学入学共通テストの配点（最終合格基準は、上記選抜方法参照）

大学入学共通テスト教科・科目								合計
国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	
200	50	150	150	200+200 (*1) (*2)	200 (*3)		1150	

(*1) 配点は、3科目(理科①から2科目かつ理科②から1科目)選択の場合は200(50+50+100)点、2科目(理科②から2科目)選択の場合は200(100+100)点とし、それぞれ2倍します。なお、同一名称を含む科目同士を選択することはできません。

(*2) 「理科」において、「同一名称を含む科目同士」とは、以下の組み合わせをいいます。
「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、
「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」

(*3) 「外国語」の「英語」には、その一領域として実施される「リスニング」を含みます。配点は、まず、リーディング(100点)を200点に、リスニング(100点)を50点に換算し(合計250点)、それを200点に換算します。ただし、リスニングを免除された者については、リーディング(100点満点)のみを指定する配点に換算します。

工学部 都市システム工学科										
出願資格	<p>次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者</p> <p>③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p>									
出願要件	<p>次の要件を全て満たし、<u>建築デザインプログラムでの勉学を強く志望し(*)</u>、合格した場合に必ず入学することを確約できる者</p> <p>① 数学の教科で「数学Ⅲ」「理数数学Ⅱ」のうち1科目を履修した者又は履修している者</p> <p>② 理科の教科で「物理」「理数物理」のうち1科目を履修した者又は履修している者</p> <p>③ p. 60に示す英語資格・検定試験の得点換算表の得点で50点以上を有する者</p> <p>(*) 総合型選抜の合格者は、入学後、2年次のプログラム選択において<u>優先的に建築デザインプログラムを選択</u>できます。 都市システム工学科の総合型選抜では建築デザインプログラムでの勉学を志望する者を募集しています。社会基盤デザインプログラムでの勉学を志望する者は、学校推薦型選抜で都市システム工学科に出願してください。なお、一般選抜(前期日程・後期日程)には、社会基盤デザインプログラム、建築デザインプログラムのどちらを志望する者でも出願することができます。</p> <p>【参考】都市システム工学科の学校推薦型選抜・総合型選抜における志望について</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>社会基盤デザインプログラムでの勉学を志望する者</td> <td>建築デザインプログラムでの勉学を志望する者</td> </tr> <tr> <td>学校推薦型選抜</td> <td>○</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>総合型選抜</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> </table>		社会基盤デザインプログラムでの勉学を志望する者	建築デザインプログラムでの勉学を志望する者	学校推薦型選抜	○	-	総合型選抜	-	○
	社会基盤デザインプログラムでの勉学を志望する者	建築デザインプログラムでの勉学を志望する者								
学校推薦型選抜	○	-								
総合型選抜	-	○								

選抜方法等	<p>入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、小論文、英語資格・検定試験、プレゼンテーション及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>なお、小論文、プレゼンテーション、面接のうち一つでも受験しなかった者は、合否判定の対象になりません。</p> <p>〈小論文〉 基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（数列、ベクトル））と理科（物理基礎、物理）とします。</p> <p>〈プレゼンテーション〉 活動報告書に示された建築デザインに関する活動内容を5分程度で発表してもらい、続く5分程度の質疑応答を通して、建築デザインプログラムで学修する熱意、積極性、継続する力を評価します。発表では、紙面による説明資料の持ち込み並びに黒板等の使用を認めます（電子機器類及びその他資料等の持ち込み及び使用は認めません）。紙面による説明資料は、下記の条件をすべて満たすものとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模造紙大（790mm×1090mm）以内の大きさの表面1枚のみ ・文字の大きさは、5m離れた所から読める程度 ・文字、図表、絵等（手書きが望ましい）並びに写真、図面等を用いて構成されたもの <p>※ 持ち込み資料は、試験当日持参し、試験室にて提出してください。試験終了後、資料は返却しますので持ち帰ってください。</p> <p>〈面接〉 志願理由書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い、建築デザインに対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
-------	--

配点	調査書	活動報告書	志願理由書	英語資格・検定試験	プレゼンテーション	面接	小論文	合計
	(*1)	(*2)	(*1)	100	200	100	200	600

(*1) は面接の参考資料として利用することを表します。
(*2) はプレゼンテーションの参考資料として利用することを表します。

活動報告書には、以下のような活動から、1件を選択し活動内容の概要を記載してください。
 ≪建築分野に関連する活動≫ 例えば次のような活動から1件
 ・建築デザイン分野の向学心を示す活動（自由研究、作品制作を含む）
 ・まちづくり・地域づくりに対する向学心を示す活動の経験
 ・芸術（工芸、美術、音楽、書道など）分野の能力又は向学心を示す活動（作品制作含む）の経験
 ・自己アピールできるものと建築との関係をまとめた（自由研究含む）経験

○英語資格・検定試験の得点換算表は以下のとおりです。

得点	CEFR	ケンブリッジ英語検定（※1）	実用英語技能検定（※2）	GTEC（※3）	IELTS（※4）	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT（※5）	TOEIC L&R/TOEIC S&W（※6）（※7）
100点	C2 C1 B2	160以上	2300以上	1180以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	1560以上
90点	B1	140以上	1950以上	930以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上
70点	A2-3	130以上	1825以上	820以上	—	180以上	328以上	—	888以上
60点	A2-2	125以上	1763以上	755以上	—	158以上	281以上	—	756以上
50点	A2-1	120以上	1700以上	680以上	—	135以上	235以上	—	625以上

以上の全ての英語資格・検定試験については、令和3年度（2021年度）以降に受験した成績で、かつ、出願期間最終日に有効なオフィシャルスコアに限ります。また、出願時にスコア証明書等の写しの提出を求めます。複数の英語資格・検定試験の成績を有している場合は、換算後の得点が最も高くなる1つを提出してください。

(※1) ケンブリッジ英語検定では、「リングスキル（4技能CBT）」の受験成績は利用できません。

	<p>(※2) 実用英語技能検定については、従来型の「英検」（本会場実施，準会場実施）に加え「英検S-CBT」の成績も利用できます。</p> <p>(※3) GTEC (Core/Basic/Advancedタイプ及びCBTタイプ) の成績は、オフィシャルスコアのみを認めます (OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る)。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。</p> <p>(※4) IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。</p> <p>(※5) TOEFL iBTにおいて、「My Best スコア」は利用できません。</p> <p>(※6) TOEIC (L&R/S&W) は、「公開テスト」を受験した成績に限りです。</p> <p>(※7) TOEIC L&R(990点満点)/TOEIC S&W(400点満点)については、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを利用します。なお、TOEIC L&RとTOEIC S&Wのうち、1つのみを受験し表中の得点を取得している場合も出願要件を満たしていることとします。</p>
--	---

地域未来共創学環														
出願資格	<p>次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校（中等教育学校を含む）を令和5年3月以降に卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を令和5年3月以降に修了した者及び令和6年3月修了見込みの者</p> <p>③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を、令和4年4月から令和5年3月までに修了した者及び令和5年4月から令和6年3月までに修了又は修了見込みの者</p>													
出願要件	<p>次の要件を全て満たし、地域未来共創学環での勉学を強く志望し、合格した場合に必ず入学することを確約できる者</p> <p>① 社会課題の解決に対する深い関心を持ち、主体性をもって地域と関わる活動経験を有する者（学校の内外を問わない）</p> <p>② 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、かつ、数学の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>③ 数学の教科で以下 (i) , (ii)のうちいずれかを履修した者又は履修している者</p> <p>(i) 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学Bの全ての科目</p> <p>(ii) 理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱの全ての科目</p>													
選抜方法等	<p>集団活動及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈集団活動〉</p> <p>1 グループを5人程度とし、集団活動（60分程度）を実施します。提示された地域課題について議論し、その結果を取りまとめ、グループで発表します。その後、30分間で集団活動を振り返った作文を各自で作成します。</p> <p>〈面接〉</p> <p>個人面接（15分程度）で行います。出願時に提出した「活動報告書」，「志願理由書」，「調査書」と集団活動終了後に作成した「作文」を参考に、志望動機，本学環で学ぶことへの学習意欲，地域課題への関心などをみることを主眼とします。</p>													
配点	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">集団活動</th> <th style="width: 15%;">面接</th> <th style="width: 30%;">出願書類 (活動報告書・志願理由書・調査書)</th> <th style="width: 20%;">作文 (*2)</th> <th style="width: 20%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40</td> <td>60</td> <td>(*1)</td> <td>(*1)</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>(*1) 面接の参考資料として利用することを表します。</p> <p>(*2) 試験当日，集団活動終了後に作成します。</p>				集団活動	面接	出願書類 (活動報告書・志願理由書・調査書)	作文 (*2)	合計	40	60	(*1)	(*1)	100
集団活動	面接	出願書類 (活動報告書・志願理由書・調査書)	作文 (*2)	合計										
40	60	(*1)	(*1)	100										

V. 帰国生徒選抜

1. 選抜日程

	農学部
出願期間	令和6年1月22日（月）から2月2日（金）まで
試験期日	令和6年2月25日（日）
合格者発表日	令和6年3月7日（木）

2. 出願要件

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、外国の教育を受け、次の（1）又は（2）のいずれかに該当する者

（1）外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を令和4（2022）年4月から令和6（2024）年3月までの間に修了した者及び修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

なお、最終学年を含めて、2年以上継続して高等学校相当の課程の正規の学校教育（我が国の学校教育法に基づく課程によるものは含まない）を受けたことを基礎資格とする。

（2）次のいずれか一つの資格を令和4年又は令和5年に外国において取得した者

ア スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格

イ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格

ウ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

3. 選抜方法等

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、次のとおり行います。

なお、農学部の各学科が課す学力検査及び面接のうち一つでも受験しなかった者は、合否判定の対象になりません。

※ 各学科の学力検査で課す外国語（英語）及び理科は、一般選抜（前期日程）の試験問題と同じ問題を使用し、農学部内で共通の試験問題です。

学部	学科	選抜方法等	
農学部	下欄の学力検査等の結果により評価します。		
	食生命科学科	外国語（英語）	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。
		理科 化学 } から1 生物 }	化学、生物のうち、出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお、各科目の出題内容については、p.63の《学力検査「理科」の出題内容》に示します。
		面接	個人面接で、志望学科に対する関心と適性、学習意欲と質疑応答力などの資質を10分程度でみます。
	地域総合農学科	外国語（英語）	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。
		理科 物理 } から1 化学 } 生物 }	物理、化学、生物のうち、出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお、各科目の出題内容については、p.63の《学力検査「理科」の出題内容》に示します。
		面接	個人面接で、志望学科に対する関心と適性、学習意欲と質疑応答力などの資質を10分程度でみます。

《学力検査「理科」の出題内容》

科目	出題内容
物理	物理基礎，物理の全内容を出題範囲とし，農学部の専門教育の修得に必要な基礎学力，論理的思考力などを評価する問題を出題します。
化学	化学基礎，化学の全内容を出題範囲とし，農学部の専門教育の修得に必要な基礎学力，論理的思考力などを評価する問題を出題します。
生物	生物基礎，生物の全内容を出題範囲とし，農学部の専門教育の修得に必要な基礎学力，論理的思考力などを評価する問題を出題します。

4. 配点

学部	学科	学力検査		出身学校 成績 証明書等	面接	合計
		外国語 (英語)	理科			
農学部	食 生 命 科 学 科	200	200	(*)	100	500
	地 域 総 合 農 学 科	200	200	(*)	100	500

(*) は面接の参考資料として利用することを表します。

VI. 私費外国人留学生選抜

1. 選抜日程

出願期間	令和5年9月27日（水）から9月29日（金）まで
試験期日	令和5年10月14日（土）
合格者発表日	令和5年10月26日（木）

2. 出願要件

下記の（1）から（4）までの要件を全て満たす者

- （1）日本国の国籍を有しない者のうち日本国の永住許可を取得していない者
 - ※ 日本国の国籍を有しない者であっても、日本国の高等学校等を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜には出願できません。
- （2）日本国の出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者
- （3）次の①、②のいずれか一つを満たす者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 次のいずれか一つの資格を有する者
 - ア スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - イ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ウ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
- （4）独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（令和4年11月実施回又は令和5年6月実施回。出題言語は日本語とする）及びその他のTOEIC等の試験を受験し、各学部、学科・課程等で設定する基準を次ページの表のとおり満たしている者
 - ※ 本学の各学部、学科・課程等が指定する日本留学試験の教科・科目及びその他の必要な試験を受験しなかった者は出願できません。

表中の○印は受験を要することを示し、×印は受験を要しないことを示します。

学部, 学科・課程等		日本留学試験 (出題言語: 日本語)					その他試験等
		日本語	総合科目	理科	数学	得点要件	
人文社会科学部	現代社会学科					日本語の聴解・聴読解, 読解の合計点, 記述の得点及び総合科目の得点の全てで平均点以上取得していること	○ TOEFL TOEIC IELTS (※2)
	法律経済学科	○	○	×	×		
	人間文化学科						
教育学部	学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語選修	○	×	×	×	日本語の聴解・聴読解, 読解の合計点及び記述の得点をともに平均点以上取得していること	○ TOEFL TOEIC IELTS (※3)
	養護教諭養成課程						×
理学部	理	○	×	○ (※1)	○ (J-2)	日本語 (聴解・聴読解, 読解, 記述の合計点) の得点を300点以上取得していること	○ TOEFL TOEIC IELTS (※2)
	学						
	科						
	数学・情報数理コース						
	物理学コース						
	化学コース						
生物科学コース							
地球環境科学コース							
学際理学コース							
工学部	機械システム工学科	○	×	○ (物理及び化学)	○ (J-2)	日本語 (聴解・聴読解, 読解, 記述の合計点), 理科 (物理及び化学) 及び数学 (J-2) の合計点を550点以上取得していること	○ TOEFL TOEIC (※4)
	電気電子システム工学科						
	都市システム工学科						
	物質科学工学科	○	×	○ (※1)	○ (J-2)	日本語 (聴解・聴読解, 読解, 記述の合計点), 理科 (物理・化学・生物のうち2科目) 及び数学 (J-2) の合計点を550点以上取得していること	
	情報工学科						
農学部	食生命科学科	○	×	○ (※1)	○ (J-1又は2)	-	○ TOEFL TOEIC IELTS (※5)
地域総合農学科							

(※1) 物理・化学・生物から2科目を自由選択する。

(※2) 次のうちいずれかの試験を受験し、基準点以上の点数を取得していること(受験時期を問わない)。

・TOEFL iBT・・・42点以上 (My Best スコアは利用できません)

・TOEIC L&R・・・400点以上

・IELTS(アカデミック・モジュール又はジェネラル・トレーニング・モジュール)・・・4.0点以上

(※3) 出願締切日から遡って2年以内にTOEFL iBT, TOEIC L&R又はIELTS (アカデミック・モジュール又はジェネラル・トレーニング・モジュール)を受験していること。

(※4) 次のうちいずれかの試験を受験し、基準点以上の点数を取得していること(受験時期を問わない)。

・TOEFL iBT・・・42点以上 (My Best スコアは利用できません)

・TOEIC S&Wのスコアを2.5倍してTOEIC L&Rのスコアに足した合計点で625点以上

※TOEIC S&WとTOEIC L&Rのうち1つのみを受験し、625点以上 (TOEIC S&Wの場合は取得したスコアを2.5倍して算出すること) を取得している場合も出願要件を満たしていることとする。

(※5) 次のうちいずれかの試験を受験し、基準点以上の点数を取得していること (スコアは有効期限内に限る)。

・TOEFL iBT・・・42点以上 (My Best スコアは利用できません)

・TOEIC S&Wのスコアを2.5倍してTOEIC L&Rのスコアに足した合計点で1150点以上

・IELTS(アカデミック・モジュール又はジェネラル・トレーニング・モジュール)・・・4.0点以上

3. 選抜方法等

出願要件で指定する日本留学試験の教科・科目の成績及び下記の表に示す学力検査等の結果を総合して評価します。

なお、本学の各学部、学科・課程等が課す面接を受験しなかった者は、合否判定の対象になりません。

学部、学科・課程等		学力検査等	選抜方法等	
人文社会科学部	現代社会科学科	面接	個人面接を10～15分程度で行い、志望動機、志望学科の教育研究分野への学習意欲・適性、表現力をみます。なお、面接の参考とするため、面接の前に日本語で作文を書かせます。	
	法律経済学科			
	人間文化学科			
教育学部	学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語選修	面接	面接は口頭試問を含み、個人面接を10～20分程度で行います。志望動機、教育研究分野への学習意欲・適性、表現力をみるため、日本語及び英語による質疑応答を含みます。	
	養護教諭養成課程		面接は口頭試問を含み、個人面接を10～20分程度で行います。志望動機、教育研究分野への学習意欲・適性、表現力をみるため、日本語による質疑応答を含みます。	
理学部	理学科	面接	面接は口頭試問を含み、個人面接を20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、数学及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求める場合があります。	
			数学・情報数理コース	
			物理学コース	面接は口頭試問を含み、個人面接を20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、数学、物理及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求める場合があります。
			化学コース	面接は口頭試問を含み、個人面接を20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、化学及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求めます。
			生物科学コース	面接は口頭試問を含み、個人面接を20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、生物及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求めます。
			地球環境科学コース	面接は口頭試問を含み、個人面接を20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、地球科学及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求めます。
学際理学コース	面接は口頭試問を含み、個人面接を20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、物理、化学、生物、地球科学のうち出願時に届け出た2科目及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求めます。			

工学部	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	面 接	日本語による個人面接を10分程度で行い、機械システム工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。
	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科		日本語による個人面接を10分程度で行い、電気電子システム工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。
	物 質 科 学 工 学 科		日本語による個人面接を10分程度で行い、物質科学工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。
	情 報 工 学 科		日本語による個人面接を10分程度で行い、情報工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。
	都 市 シ ス テ ム 工 学 科		日本語による個人面接を10分程度で行い、都市システム工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。
農学部	食 生 命 科 学 科	面 接	面接は口頭試問を含み、個人面接を20～30分程度で行い、それぞれの学科で学ぶ目的意識、一般知識及び日本語能力をみます。同時に口頭試問では、理科の基礎学力及び日本語による表現力をみます。
	地 域 総 合 農 学 科		

4. 配点

表中の斜線は、「学力検査等を課さないもの」又は「提出を要しないもの」、◆（クロヒシガタ）は、「出願要件確認のために提出を求めるもの」を表します。*（アスタリスク）は面接の参考資料として利用することを表します。

学部	学 科	日本留学試験				TOEFL TOEIC IELTS	出身学校 成績 証明書等	面 接	合 計
		日 本 語			総 合 科 目				
		聴 解 聴読解	読 解	記 述					
人文社会科学学部	現代社会科学科	200	200	50	200	(◆)	(◆)	200	850
	法律経済学科	200	200	50	200	(◆)	(◆)	100	750
	人間文化学科	200	200	50	200	(◆)	(◆)	100	750

学部	課 程 等	日本留学試験				TOEFL TOEIC IELTS	出身学校 成績 証明書等	面 接	合 計
		日 本 語			総 合 科 目				
		聴 解 聴読解	読 解	記 述					
教育学部	学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語選修	200	200	50	/	(*)	(*)	600	1050
	養護教諭養成課程	200	200	50	/	/	(*)	200	650

学部	学 科 等	日本留学試験							TOEFL TOEIC IELTS	出 学 成 績 証明書等	面 接	合 計
		日 本 語			理 科			数 学				
		聴 解 聴読解	読 解	記 述	物 理	化 学	生 物					
理学部	数学・情報数理コース	200	200	50	200 (100+100)			200	(*)	(*)	300	1150
	物理学コース	200	200	50	200 (100+100)			200	(*)	(*)	300	1150
	化学コース	200	200	50	200 (100+100)			200	(*)	(*)	300	1150
	生物科学コース	200	200	50	200 (100+100)			200	(*)	(*)	300	1150
	地球環境科学コース	200	200	50	200 (100+100)			200	(*)	(*)	300	1150
	学際理学コース	200	200	50	200 (100+100)			200	(*)	(*)	300	1150
工学部	機械システム工学科	200	200	50	100	100	/	200	(*)	(*)	200	1050
	電気電子システム工学科	200	200	50	100	100	/	200	(*)	(*)	200	1050
	物質科学工学科	200	200	50	200 (100+100)			200	(*)	(*)	200	1050
	情報工学科	200	200	50	200 (100+100)			200	(*)	(*)	200	1050
	都市システム工学科	200	200	50	100	100	/	200	(*)	(*)	200	1050
農学部	食生命科学科	200	200	50	200 (100+100)			200	(*)	(*)	200	1050
	地域総合農学科	200	200	50	200 (100+100)			200	(*)	(*)	200	1050

TOEFL, TOEIC, IELTSの欄については、理学部・農学部はTOEFL・TOEIC・IELTSを、工学部はTOEFL・TOEICを対象としています。

Ⅶ. 個別の入学資格審査の申請について

一般選抜の出願資格で、本学における個別の入学資格審査が必要な場合は、以下の方法で資格認定の申請を行ってください。

(1) 申請書類

① 入学資格審査申請書（添付書類含む）

※ 様式は、本学ホームページ【<https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/faculty/individual/>】からダウンロードしてください。

また、提出書類の表記が外国語の場合は、必ず日本語訳を添付してください。

② 返信用封筒（長形3号／120mm×235mm）

※ 申請者の住所・氏名・郵便番号を明記の上、789円分（速達書留料金）の切手を貼り付けてください。ただし、郵便料金の改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。

(2) 申請方法

郵送の場合は、封筒表面に「大学入学資格認定申請書在中」と朱書の上、必ず書留郵便としてください。なお、持参の場合も所定の切手を貼り付けた上で返信用封筒を提出してください。

(3) 申請期間

A. 令和5年8月1日（火）～8月31日（木）〈必着〉

（大学入学共通テストの出願に際して本学を志望する者）

B. 令和6年1月15日（月）～1月18日（木）〈必着〉

（大学入学共通テストの出願に際して他大学の「個別の入学資格審査」を受けた者で本学に志望を変更する者）

(4) 申請書類の提出先及び問い合わせ先

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

茨城大学学務部入学課入学試験グループ

電話 029-228-8064・8066

(5) 審査方法

本学入学資格審査委員会において、提出書類等に基づき適正に審査を行います。

なお、必要に応じて面接を行うことがあります。

(6) 審査結果の通知

本学の定める様式により申請者本人に通知します。

Ⅷ. 災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除について

茨城大学では、災害等で被災した受験者の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜の出願に際し、入学検定料免除の特別措置を実施します。

1. 特別措置の対象となる入学者選抜

令和5年度中に実施する本学の入学者選抜

(一般選抜, 学校推薦型選抜, 総合型選抜, 帰国生徒選抜, 私費外国人留学生選抜)

2. 措置内容

入学検定料の免除

3. 対象者及び対象となる災害

上記1の本学入学者選抜に出願する方で、次のいずれかに該当する者

- (1) 平成23年3月以降に指定された災害救助法適用地域において、地震、台風等の災害により被災した者で、次のいずれかに該当する場合
 - ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が、全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
 - ② 主たる家計支持者が災害により死亡又は行方不明である場合
- (2) 居住地が福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区に指定された者

4. 申請方法

申請希望者は、各選抜の出願受付開始1週間前までに茨城大学学務部入学課(029-228-8064)に連絡し、相談してください。相談の結果、該当すると判断された場合には、「入学検定料免除申請書」(所定の様式)及び下記事由に関する証明書等(写し可)を下記提出先に提出してください。

- (1) 平成23年3月以降に指定された災害救助法適用地域において、地震、台風等の災害により被災
 - ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が、全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
◆地方公共団体が発行する「罹災証明書」
 - ② 主たる家計支持者が災害により死亡又は行方不明である場合
◆主たる家計支持者の「死亡又は行方不明を証明する書類」
- (2) 居住地が福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者
◆地方公共団体が発行する「罹災証明書」又は「被災証明書」等

5. 提出先

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

茨城大学学務部入学課入学試験グループ

電話 029-228-8064・8066

- (注) 1 入学検定料免除申請書については、事前に本学ホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、入学検定料免除のための事由に関する証明書(罹災証明書等)を添付し、提出してください(ダウンロード場所: <https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/exemption/>)。出願時まで、証明書を提出できない方は、出願期間までに入学検定料を納入し、出願手続きを行ってください。後日、入学検定料免除申請書類が揃いましたら、入学検定料相当額を返還いたします。
- 2 入学検定料免除の審査結果は、原則として出願受理後に本学から送付します。

IX. 障害等のある入学志願者の事前相談について

障害等のある者で、受験上又は修学上の配慮を必要とする者は、随時相談に応じますので、茨城大学バリアフリー推進室に相談してください。

相談は、志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

1. 受験上等配慮申請書の提出方法及び提出期限

相談の結果、配慮が必要と判断された場合は、以下の書類を原則各選抜の学生募集要項で定められている期限までに提出してください。なお、期限までに提出できなかった者は、早急に茨城大学バリアフリー推進室まで連絡してください。期限を過ぎて提出した場合でも相談は受け付けますが、相談時期や内容等によっては対応できない場合があります。

- ・受験上等配慮申請書（以下の作成様式を参考に作成してください）
- ・医師の診断書の写し又は障害者手帳の写し
 - ※ 診断書が発行されず、障害者手帳も所持していない場合はその旨を申し出てください。
- ・大学入学共通テストの「受験上の配慮事項決定通知書」の写し（大学入学共通テスト受験者のみ）

2. 受験上等配慮内容の決定

提出された書類により、受験上及び修学上の配慮について志願予定学部（地域未来共創学環を含む）と相談（必要な場合は、本学において、当該志願者又は保護者若しくはその立場を代弁し得る出身学校関係者との面談等を行うことがあります）の上、配慮内容を決定し、受験上等配慮申請者に通知します。

なお、配慮内容等の協議、また配慮を講じるにあたり、本学の関係する教職員等に個人情報通知されることとなりますので、申請にあたってはあらかじめご了承ください。

3. 申請書類の提出先及び問い合わせ先

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1
茨城大学バリアフリー推進室
電話 029-228-8055

作成様式（A4判縦により作成してください）

茨城大学長 殿	令和 年 月 日
	申請者氏名 _____ 印
受 験 上 等 配 慮 申 請 書	
令和6年度茨城大学入学者選抜を受験するにあたり、下記のとおり配慮の申請をします。	
記	
1. 志願者氏名 <small>ふりがな</small> ○○ ○○	年 月 日生（ 歳） 男・女
2. 卒業（見込）学校名	年 月 日卒業（見込）
3. 志願者住所 〒	〒（ ） -
4. 志願予定選抜	一般選抜（前期・後期）、学校推薦型選抜、総合型選抜、帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜
5. 志願予定学部、志望学科・課程（コース・系・選修）等	
6. 受験上で希望する配慮内容及び理由	
7. 修学上で希望する配慮内容及び理由	
8. 出身学校での就学状況（出身学校関係者（教諭等）が具体的に記入）（記入者氏名・印）	
9. 添付書類	

X. 情報提供

1. 入学者選抜個人成績の開示

当該年度の入学者選抜の個人成績を、試験終了後、受験者本人に限って開示します。

- (1) 申請期間等 令和6年5月1日(水)～5月9日(木)
※ 郵送の場合は5月9日(木)消印有効
※ 持参の場合の受付は平日の9時から12時まで及び13時から17時までに限ります。
- (2) 申請者 受験者本人に限ります。
- (3) 申請方法 次の書類を下記(4)の申請先に郵送で提出するか、又は持参してください。
 - ①茨城大学入学者選抜情報開示申請書
本学ホームページに掲載する他、入学課窓口で配布します。
 - ②本学の受験票の写し
 - ③大学入学共通テストの受験票の写し(一般選抜・理学部の総合型選抜受験者のみ)
 - ④本人確認のできる書類の写し(学生証, 免許証, パスポート等)
 - ⑤返信用封筒(長形3号/120mm×235mm)
申請者の住所・氏名・郵便番号を明記の上、444円分(簡易書留料金)の切手を貼り付けてください。ただし、郵便料金の改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。
※ 電話での申し込みは受け付けません。
- (4) 申請先 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1
茨城大学学務部入学課入学試験グループ
電話 029-228-8064・8066
- (5) 開示方法 申請者あてに、簡易書留郵便で6月上旬に発送します。
- (6) 開示内容
 - 一般選抜
 - 【得点】 大学入学共通テストと個別学力検査等のそれぞれの得点の合計及び総得点を開示します。
 - 【評価】 合格者には、A・B・Cのランクにより開示します。
不合格者には、段階別(5段階程度)に区分して開示します。
ただし、不合格者が5人未満の場合は開示しません。
 - 【調査書】 開示しません。
 - 学校推薦型選抜, 総合型選抜, 帰国生徒選抜, 私費外国人留学生選抜
 - 【得点】 開示しません。
 - 【評価】 合格者には、開示しません。
不合格者には、段階別(3段階程度)に区分して開示します。
ただし、不合格者が5人未満の場合は開示しません。
 - 【調査書】 「総合的な学習の時間の内容・評価」, 「指導上参考となる諸事項」及び「備考」欄を除いた調査書の写し(コピー)を開示します。
ただし、調査書を出願書類にしていない選抜を除きます。
- (7) その他 順位についてはいずれの試験区分も開示しません。

2. その他の情報提供について

当該年度の入学者選抜の志願者数, 受験者数及び合格者数等の情報については、本学ホームページ【<https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/situation/>】で随時提供します。

また、前年度の選抜結果及び過去の入試問題, 一般選抜合格者成績情報(合格者の最高点・平均点・最低点)についても、本学ホームページに掲載しています。

XI. 個人情報の取扱いについて

本学は、「個人情報の保護に関する法律」及び本学が定める「国立大学法人茨城大学個人情報の保護及び管理規程」等に基づき、個人情報の適正な管理と保護を行っています。

出願及び入学手続き時に取得する受験者・入学志願者の氏名、生年月日、性別、試験成績その他の個人情報等は次の目的に利用します。

- ・入学者選抜並びに合格者発表及び入学手続きに関する業務
- ・合格者の入学後の教務（学籍管理、修学指導等）、学生支援（健康管理、奨学金、授業料免除、就職支援等）、授業料等に関する業務
- ・入学者選抜方法等の改善や広報のための調査、分析及び研究
- ・個人が特定できない形での統計データへの加工及び利用

また、「個人情報の保護に関する法律」第27条第1項各号に規定された場合を除いて、本人の同意を得ることなく個人情報の第三者への提供は行いません。ただし、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、本学の受験番号、志望学部等の名称、高等学校名、氏名、性別及び生年月日、合否並びに入学手続き等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

XII. 令和7年度（2025年度）入学者選抜について（予告）

「令和7年度（2025年度）入学者選抜の概要について（予告）」については、本学ホームページで公表する予定です。（茨城大学ホームページ【<https://www.ibaraki.ac.jp/>】）

その他、変更がある場合には、上記ホームページにおいて随時お知らせします。

XIII. 試験場

本学の学力検査等を実施する試験場は、志願学部等により下記のとおり異なりますので注意してください。

なお、実際に受験する試験場については、出願受付後に発行される受験票に記載しますので必ず確認してください。

※ 受験票に記載の試験場以外では、いかなる理由があっても受験できませんので注意してください。

実施学部等	試験場	所在地
人文社会科学部	人文社会科学部試験場	茨城県水戸市文京2-1-1 (水戸キャンパス)
教育学部	教育学部試験場	
理学部	理学部試験場	
地域未来共創学環	地域未来共創学環試験場	
工学部	工学部試験場	茨城県日立市中成沢町4-12-1 (日立キャンパス)
農学部	農学部試験場	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1 (阿見キャンパス)

(注意) 1. 志願状況等によっては、試験場を変更又は追加することがあります。

2. 各試験場には駐車場はありません。試験場周辺にも民間の駐車場は大変少なく、受験者の送迎も含め、試験場周辺での駐停車は近隣住民の迷惑になります。試験場にお越しになる際には、公共交通機関を利用してください。

XIV. 不正行為・迷惑行為

カンニングなどの不正行為や他の受験者への迷惑行為を行った場合は、試験の公正・公平性を損なう行為となるため、受験を取りやめさせ、すべての試験の成績を無効とすることがあります。また、悪質な場合は警察に被害届を提出するなど、厳正に対処します。

(このページは空白ページです)

各選抜の学生募集要項等について

出願方法はインターネット出願です（紙媒体の願書の配布は行っていません）。
 学生募集要項は本学ホームページ（<https://www.ibaraki.ac.jp/>）上で閲覧できます。
 【本学ホームページ ⇒ 入試情報 ⇒ 学生募集要項・入学者選抜要項】

I 公表時期等

入学案内（Admission Guide）	公 表 中	大学紹介のパンフレットです。
私費外国人留学生選抜学生募集要項	7 月 上 旬	Web公開のみ。
総合型選抜学生募集要項	9 月 上 旬	Web公開のみ。
学校推薦型選抜学生募集要項	9 月 上 旬	Web公開のみ。
帰国生徒選抜学生募集要項	10 月 上 旬	Web公開のみ。
一般選抜学生募集要項	10 月 上 旬	Web公開のみ。



II 冊子の請求方法

入学案内
入学者選抜要項
各学部案内

- (1) 本学ホームページから「入学案内」，「入学者選抜要項」，「各学部案内」を請求する
 本学のホームページから、テレメール及びモバっちょによる資料請求ができます。出願の際は、
 本学ホームページ上の学生募集要項を参照してインターネット出願してください。
 【本学ホームページ⇒入試情報⇒（学生募集要項・入学者選抜要項）⇒入学案内・入学者選抜要項の請求方法】

(2) テレメールの請求方法

- ① テレメールのサイトにアクセスしてください。

 テレメール	 QRコード	<p>https://telemail.jp</p> <p>※対応する端末で読み取れます。読み取れない場合は、上記アドレスを入力してください。なお、QRコードからアクセスした場合は②資料請求番号の入力不要です。</p>
--	--	---

- ② 資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金 （送料含む）	発送開始日
入学案内のみ	561402	250円	7月下旬
入学者選抜要項＋入学案内	794342	310円	
入学者選抜要項のみ	794332	215円	

- ③ あとはガイダンスに従って登録してください。

※ 発送開始日までの請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日から3～5日ほどで資料が届きます。
 ※ 料金等は、送付された資料に同封されている支払方法に従いお支払いください（支払いに際して手数料が必要になります）。また、料金は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(3) 以下の窓口で直接受け取る

- ① 茨城大学学務部入学課（水戸キャンパス）
- ② 茨城大学工学部学務グループ（日立キャンパス）
- ③ 茨城大学農学部学務グループ（阿見キャンパス）

◆ 受付時間：平日 9:00 ～ 17:00（年末年始を除く土、日、祝日は守衛所で配付します）

入学者選抜に関する問い合わせ先

○ 茨城大学学務部 入学課入学試験グループ

電話 029-228-8064・8066
〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

その他の問い合わせ先

- | | | |
|------------------|----|--------------|
| ○ 学費の減免・徴収猶予について | 電話 | 029-228-8067 |
| ○ 奨学金について | 電話 | 029-228-8059 |
| ○ 学生寮について | 電話 | 029-228-8060 |
| ○ 入学手続について | 電話 | 029-228-8414 |
| ○ 教育学部実技検査等について | 電話 | 029-228-8203 |
| ○ 工学部（日立キャンパス） | 電話 | 0294-38-5223 |
| ○ 農学部（阿見キャンパス） | 電話 | 029-888-8519 |

茨城大学ホームページ

<https://www.ibaraki.ac.jp/>

パソコン・スマートフォンからご覧いただけます。

【QRコード】



茨城大学携帯電話サイト

<https://daigakujc.jp/ibaraki/>

パソコン・携帯電話・スマートフォンからご覧いただけます。

両サイトとも、資料請求方法・出願状況速報等の各種選抜情報が閲覧できます。

(注) 問い合わせは志願者本人が行ってください。

受付時間：9時00分～17時00分（12時00分～13時00分，土・日曜日及び祝日を除く）